(明治四十八年十二月十五日 第三種郵便物認可)

夕刊

滿洲日報

十二月廿八日

發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

國防安全を保障し得ば英米より劣勢にても可

廿七日午後英國に到着した若槻全權の第一聲

【サザムプトン二十七日發電】ロンドン會議日本全權一行四十二名はオリムピツク號にて本日午後當地に着いた、埠頭には先着せる一行の事務總長松平(?)佐藤尚武公使及びロンドン大使館附參事官等一行を出迎へサザムプトン市長も一行を迎へて懇篤な挨拶を交換した、若槻全權は各新聞記者に向つて英國皇帝陛下がロンドン會議開會式に親臨あらせらるることに對し多大の滿足を示し左の如く語つた

予等は渡英の途中アメリカ當局者と會見して意見交換することを得たことを喜ぶ右意見交換の結果は最も有益であつた、日本は此際イギリスやアメリカに比し劣勢な海軍力でも滿足するであらう只日本の切望する所は國防の安全を保障し外國から侵略される脅威を受けぬことである

わが全權一行倫敦到着

【ロンドン廿七日發電】若槻財部兩全權一行はサザムプトンに上陸してより列車にて本日午後六時當地ウオーターロー停車場に到着無事英京入を爲した、外相ヘンダーソン氏代理サー、ロナルド、リンゼー氏、松平大使以下官民在留邦人代表者等多數全權一行を停車場に出迎へた

佛首相英首相と會見か

【パリ二十七日發電】フランス國務總理タルデュー氏は四國海軍縮小會議開始前イギリス首相マクドナルド氏と會見し若干主要問題に關し英、佛相互の軍縮に對し意見融和に努めるであらうと傳へられてゐる

勞農代表一行昨夜着奉

支那代表と驛頭で固き握手

【奉天特電二十七日發】張學良氏に敬意を表する爲め蔡運升氏の東道で來奉の

勞農代表

シマノフスキー新東鐵局長ルデイ、副局長デニソフ、理事イズマイロフ四氏の乘れる列車は定刻より十分遲れて廿七日夜十時三十五分奉天驛に到着した、勞農總領事館員及び赤系露人數名と支那側代表十名ばかりは入時頃より驛に詰めかけ兩國全權が列車を降りるや之を圍繞して握手を交換しシマノフスキー氏は白髮皺顏に喜色を泛べ、極めて打解けた狀景を呈したが露支兩國關係の

新轉機を

作る人を迎へるには寧ろ寂しい程靜かなものであつた、兩國全權一行は共に伴れ立つて自動車四臺でヤマトホテルに入つた、露國側一行の日程については尚不明であるが三十日東鐵哈爾賓に歸還する模樣である

全印度會議提出の決議案

【カルカツタ二十七日發電】ラホールにて近く全印度會議開催されるため右議事日錄を作成中の委員は印度自治運動の先鋒ガンヂー氏提出の決議案を無修正で可決した

右は印度自治が印度の完全なる獨立を達成する根本義であると云ふ定義を下してゐるものである、なほ同委員は其他若干の決議案を採用したが、右は印度の獨立實現のためには兵力に頼らぬ反抗をなすこと、租税を支拂はぬこと、ボイコツトをなすことを阻止せざるべき法律を制定することを主張せるものである

議長事務引繼と各派交渉會

滿鐵線の牽制に懸命の北寧鐵路

改進委員會を設け對策研究

北寧鐵道(京奉)當局は奉天派の高紀毅氏を局長に迎へて以來鐵道業務の改善を圖りつゝある一方遠大なる滿鐵牽制策を樹て前きに東北省より關内へ輸送さるゝ糧食運賃の二割五分減を實行して一般沿線商民に努めて滿鐵を利用すること勿れとの勸告を發した。

×

更に十二月十六日より二十日まで五日間「北寧鐵路商務會議」なるものを開催し沿線各地の商業團體代表を招待し種々之に關して協議したが結局滿鐵と競爭するに就ては

一、沿線各地に於ける捐税の減免並に軍事附加税の免除
二、一般運賃の値下
三、運輸方法の大改善
四、大連港に匹敵する輸出貿易港の築造を實現せしめざるべからず

と言ふに一致したが、取敢ず鐵道當局は奉天財政廳へ土産出省税の取消、山海關監督に軍事附加税の取消、河北財政廳へ關内統捐の二分五厘減等を請願し其に就ては全て改進委員會を設け徐ろに討議具體化せしむることに決定して散會した。

◇

而して奉天當局は之に對して極力援助を與へあるものゝ如く過般孫科氏より、張學良氏へ向けて中央政府の財政難を訴へ北寧鐵道の收入より幾何の軍費を協助されたしとの要求があつたのに對し張學良氏は目下に該鐵道の收入は修理並に改善費に當て東北の對露軍事費にさへ融通せず況んや內爭の軍費に於ておやと一蹴した事實あり今後高局長は滿鐵に倣つて相當の時機に運賃の値下と運輸狀態の大改善を行ひ更に進んで張學良氏をして前記捐税の減免をも斷行せしむべき方針に在りと傳へらる而して最も注目さるゝは大連港に對抗すべき輸出貿易港の築造である

が之に就て北寧鐵路改進委員會譚耀宗氏は大要次の如く語つてゐる

東 北省に於ける支那鐵道は約二千八百六十哩なるが滿鐵は僅に一千百七十哩、而して前者の全部の收入は毎年五千萬元に達せずして後者は一億二千萬元に及ぶ支那鐵道の線路は滿鐵に二倍するも收入はその三分の一とは實に痛心の至りである

東 北省の輸出貨物は年一千六百餘萬噸(內譯大豆三百萬噸、各種糧食二百萬噸、其他木材藥品毛皮等四百萬噸)之を輸出港別にせば大連七百萬噸、營口一百餘萬噸、安東同上、浦鹽、滿洲里七百餘萬噸で更に之を貿易額から見ると日本一億三千萬兩、歐洲各國一千八百萬兩、米國八百萬兩、本國各地九千五百萬兩である、斯くの如き貿易があつて支那鐵道の利益不振なるは一切の設備が滿鐵に劣り競爭の地位に立つことが出來ないからである

若 し夫れ聞くが如く滿鐵が電氣に改用した場合は競爭不可能と思ふ、故に現在の應急策としては速に捐税の輕減、鐵道業務の改善、輸出貿易港の築港を實現せしむるに在り而して輸出貿易港として當局は營口、葫蘆島、秦皇島の三案を有つてゐる

營 口は凍港であり且つ滿鐵は河南に完全なる設備を有つてゐるので競爭には不便であるが一大埠頭を築造する必要がある胡蘆島は距離からいつても最適の候補地だが工事が大變であるから短時間では完成を見ない併し當局には目下具體的計畫を進めてゐる

斯 くて卽今利用すべきは秦皇島でこれを奉天大連間の距離に比較せば僅に四十七哩の差であり且つ天然の不凍港として開灤の夙に利用せる所であれば我國は速に此所に工事を施すべきである然らば運賃の値下に因りて東三省の貨物は秦皇島に集收され更に熱河一帶の貨物を輸出することが出來る之に就て鐵道局は詳細なる計畫を進めつゝある(天津特信)

正式會議に關する具體案につき協議

勞農代表張氏と會見

【奉天特電二十八日發】露支交涉全權シマノフスキー、ルデイ、デニソフ、イズマロフ、蔡運升、李紹庚諸氏は隨員を從へ今朝九時ヤマトホテルを出で北陵別莊に張學良氏を訪問し兩國全權より交々交涉の經過を報告し更に正式交涉開始に關し具體的に協議する處あつた模樣である

昭和三年度の歳出入決算

檢査確定內閣に報告

【東京二十八日發電】憲法第七十二條に依る昭和三年度歳入歳出決算檢査確定につき二十七日附湯淺會計檢査院長より內閣に報告して來た、其要領左の如くである

歳入決算額	二、〇〇五、五九一、一〇五、〇五七	圓
歳出決算額	一、八一四、八五五、〇一一、九一三	

右決算額は
歳入に於て 六、四六二、七三四、四一〇
歳出に於て 二、五八〇、七〇一、九〇〇

を除く外之を檢査確定したるものにして其未濟なると犯罪事件に關しなほ審査を要するものあるに因る、內閣は直に右の書類を大藏省に廻附した

鐵道建設計畫の原案を可決

廿七日鐵道會議にて

【東京二十八日發電】鐵道會議は二十七日午後二時半より首相官邸に開催、江木鐵相以下正議員三十八名、臨時議員十九名參集、江木鐵相議長席に着き開會の挨拶を述べ直ちに會議に入り五年度以降の

建設計畫

案、生産線外二線の豫算削除に關する件の二項を諮問事項として附議し質疑應答に移り若宮貞夫、元田肇、內田嘉吉、馬場鍈一、江木鐵相、青木次官等の問答あり質問を打切り五時四十分討論に入り馬場氏の答申案を動議として提出

財政緊縮の必要上鐵道線路の建設計畫に變更を來す事は已むを得ざるべきも既に鐵道會議の議決を經て豫算に計上したる建設線に只財源不足の理由に依り削除又は繰延べる事は愼重なる考慮を要す、然るに政府は鐵道建設のためにする公債發行額を半減する計畫を定め昭和五年以降の豫算の編成を爲したる今日に於て各線路に對する當否を査覈するは到底其の餘日なきを以て此諮詢案は之を承認す然りと雖も昭和六年度の豫算編成に當りては宜しく鐵道會議及び貴衆兩院の議決を愼重し財政の緩急、自動車交通網等の關係を考慮し且つ本諮詢案に掲げる削除線路繰延べ線路に就ても重ねて充分なる考究を遂げ更に適當なる計畫を樹立せられん事を望む、而して爾今鐵道會議に附議する場合に於ては豫算編成前充分なる餘日ある事を希望す右及答申候也

之に對し若宮氏の反對、大河內正敏子の答申に贊成あり、元田氏更に本諮問案に反對なりと述べ討論を打切り直ちに

採決に入

り馬場氏の答申案を採決多數で可決續いて諮問案を採決せるに之亦政友系議員反對したが多數を以て可決され斯くて五年度以降の建設計畫案は鐵道省の原案通り成立午後六時十分散會した

法權の一方的態度愈よ宣言に決す

昨日南京政治會議で

【上海特電二十八日發】かねて明年一月一日より領事裁判權の一方的撤廢を宣言すべく聲明してゐた國民政府は果して一月一日より撤廢を宣言するや否やにつき本年も押詰ると共に多大の注目を惹はれてゐたが、右に關し政府の採るべき方法を決定すべく二十七日、特に開會された臨時中央政治會議において熟議の結果、左の如く豫定通り發表聲明すべく決定直ちに政府をして宣言せしむることに決定した

一、民國十九年一月一日より中國に居住し現に領事裁判權を享有する外國人民は一律に中國中央政府および地方政府の發布したる法規を遵守せしむ
二、外國人民を管轄する辦法は國民政府速かに之を公布施行す

連絡運輸會議で決定の主要事項

滿鐵は大體鐵道省案支持

竹森滿鐵涉外課員歸來談

鐵道省主催の第六回連絡運輸會議に滿鐵を代表して出席中であつた鐵道部涉外課の竹森愷男氏は廿八日入港の香港丸で歸連したが、船中語る

今度の會議は十日十一日に亘り東京丸の內鐵道協會において開催され出席者は滿鐵は勿論、朝鮮、臺灣各植民地の諸鐵道、及び內地公私鐵道並に船會社等二百五十餘の連絡運輸機關が集つたもので、主として協議された

主要項目

は鐵道運輸規定及び旅客運送規則、貨物運送規則、連帶運輸規則の改正案に對する打合せで主として明春四月一日より實施さるゝ鐵道省提案のメートル法採用、引渡責任期間の制定、要償額表示に關する規制定、船車連絡運送に關する規定については議論百出の有樣で殊に郵船會社大阪商船、外三船會社が頑強に此提案に反對し同意を保留したが、之に對し我滿鐵としては、あらかじめ朝鮮、臺灣當事者と下交涉の結果我が植民地を代表して此案に對する動議を提出し大體においては

鐵道省案

を支持するとし但し植民地としては已むを得ない場合があるとの條件付で贊意を表しておいた、從つて喧しかつたメートル法も愈々四月一日より行ふが臺灣朝鮮は細則までも總て內地鐵道同樣に行ふが滿鐵のみは單にマイルをキロに改めるといふ程度で、今後研究の上鐵道省案に從ふ豫定になつてゐる

訓導教諭の異動

新小學校公學堂開校に伴ふ

昭和五年度より開校される沙河口秋月公學堂及び下藤小學校の堂長校長任命に伴ふ訓導教諭の異動及び公學堂職員の異動は二十七日附で次の如く發表された

命大連下藤尋常小學校長兼務　訓導(日本橋)　古川純義
命大連下藤尋常小學校開校事務取扱(口頭)　訓導(大廣場)　小林貞重
命大連日本橋尋常小學校勤務　訓導(旅二)　小川興市
命旅順第二尋常高等小學校勤務　訓導(松林)　中川亥三郎
命大連松林小學校勤務　訓導(朝日)　坂本信一
任關東州公學堂教諭補大連沙河口公學堂長　視學　谷口林右衛門
任關東州公學堂教諭　公學堂教諭　小林宗之助
任關東廳視學補旅順民政署勤務　視學　原駿吉
命大連民政署勤務　教諭(金州)　中山右三郎
任關東廳視學兼子窩民政署勤務　訓導(旅師)　中田正藏
任關東州公學堂教諭命秋月公學堂長兼務　教諭(西崗子)　白石寛
命大連秋月公學堂開校事務取扱

加藤大將に旭日大綬章賜ふ

【東京二十八日發電】天皇陛下は二十八日午前十一時半鳳凰間に出御濱口首相、下條賞勳局總裁侍立の上左の如く加藤軍令部長に旭日大綬章御親授遊ばされた

海軍大將從三位勳一等功三級　加藤寛治
授旭日大綬章

金解禁の前後に更に節約の運動

滿洲公私經濟委員會を主體に

內務、大藏兩省では明年一月十一日より愈々本邦多年の懸案たりし金解禁が斷行することゝなつたのでこの國民經濟更正の第一步たる時期に際し一層公私經濟の緊縮をはかり財政經濟の基礎を鞏固にするの必要があるので最近の第三回中央公私經濟委員會に於て左記各項を議決し內地は素より各植民地も中央地方相呼應して之に對する適切なる方法を講ずる樣各地に訓令したが關東廳でも廿七日右訓令に接したので金解禁前後に於ては滿洲公私經濟委員會を主體とし大々的の緊縮節約運動をなすことゝなつた

一、金解禁後に於ても尙國民精神の緊張を持續し消費節約、勤儉力行の實を收むるに努むべき旨地方に徹底せしむる樣適切なる方法を講ずること
一、金解禁後に於ける國民の覺悟に關し簡易平明なるパンフレツトを作製頒布すること
一、國產愛用の氣風を旺んにし內地產業の振興を圖ると共に國際貸借の改善に資すること

木彫の首相

濱口さん大喜び

【東京廿九日發電】福島縣選出民政黨代議士栗山博氏外福島縣有志は廿八日早朝首相官邸に羽織袴に威儀を正した濱口首相の木彫を持込んだ寄贈を受けた首相もおのれの風丰に感心して喜んだが此木彫は高さ三尺にて福島縣の三木宗作氏彫塑にかゝるものである

上野萬世橋間地下鐵開通

【東京二十八日發電】東洋一を誇る淺草、上野間地下鐵道の第二期延長線上野、萬世橋間一哩二分は最近工事完成し東京市は二十八日正式に認可の指令を發したので三十日試乘式を行ひ三十一日午前六時の始發から開通することゝなつた、停留場は上野廣小路、末廣町、萬世橋の三ケ所が新に設けられ廣小路停留所からは松屋坂地下室と連絡し交通機關と百貨店の連絡も東洋に於ける初めての試みがされてゐる、なほ同線は第三期線として萬世橋、神田驛間の工事に着手の筈

大阪商船

との間の了解を得る必要があつたので特に同社の岡田東洋課長と懇談の末滿鐵の意向を容れて貰ふ事に交涉して引揚て來た、尙、償額表示に關しては最初百圓に對し三錢の割合であつたが保險會社側からの反對で百圓に對し四錢の割合と云ふ事に取極めて來た

てゐる、そんな工合で船會社との間が巧く行かなかつた關係で朝鮮經由は兎も角として滿鐵としては

人事

▲竹森愷男氏(滿鐵々道部涉外課員)廿八日入港香港丸にて歸連
▲厚東貞子氏(厚東要塞司令官令孃)同上
▲玉置周介氏(醫師)同上
▲井本義亮氏(會社員)同上
▲大內佐藏氏(新任小崗子警察署長)三十日午後八時三十分着列車にて着任の豫定
▲小林貞一氏(關東廳警務課勤務)轉任挨拶のため二十八日市內各方面歷訪

大觀小觀

若槻全權、堂々とロンドンに乘り込み、最も率直に、日本の立場主張を開陳してゐる。

◇

脅威なき國防の保障が可能である以上、最少限度の縮小撤廢に異存はない筈。

◇

すでに日本は對英米七割を保持せんとす、些の侵略、積極の意圖なきは明々白々ではないか。

◇

緊縮節約の藥が利き、年末の經濟界、すこぶる順調に越年せんとす。

◇

獨り經濟界のみならず、一般社會の差所向きも內容すこぶる充實し居るもの、如きは同慶の至り。

天豫氣報

各地の温度

二十九日北東の風(曇時々晴)

	十二時	昨日最低
大連	零下 七、二	零下 九、二
旅順	同 五、三	同 九、四
營口	同 一一、三	同 一五、九
奉天	同 一一、六	同 一六、五
長春	同 一二、二	同 二三、〇

大阪市住吉區住吉町南門前 日東タイムス社 ニツトータイムス 一月號廿五日發行

大邱の大陰謀が爆彈事件から發覺
鮮銀支店前で重傷者を出す けふ記事解禁

【京城二十八日發電】昭和二年十月十八日午前十一時四十五分大邱府十二間道路(南町四ツ角)朝鮮銀行大邱支店前に於て爆彈が炸裂し多數の重傷者を出した事件があつた、大邱地方法院では直ちに記事の掲載を禁止し捜査の結果慶北道廳、鮮銀、殖銀支店の如き大邱の重なる官廳、銀行會社の爆破の陰謀を企て更に第二次計畫として軍隊警察署を破壞せんとする恐るべき陰謀を企てゝゐる事發覺、昭和四年二月中旬慶北警察部高等課の手に依り事件發生後一年五ケ月振りに逮捕され爾來審理中の處今二十八日正午新聞記事の解除をなすに至つた

鮮銀支店長への贈物 それが恐しい爆彈
門外に持ち出したのを蹴り 大音響と共に爆發

昭和二年十月十八日午前十一時半頃鮮銀大邱支店の受付に一見二十歳位の客引風の朝鮮人が白い包みを「朝鮮銀行支店長御中」と記入した一つの包みを差出し無言のまゝ佇んで居るのを國庫係の福地興三氏が發見し隣席の庶務係主任吉村謙氏に注意した、吉村主任が用件を聞くと蜂蜜の見本を持つて來たとの事で一應品物を見ようと言ふことになり吉村主任は福地氏と共に包を解き小箱の蓋を開けて見ると何となく

火藥臭い 香がする不審に思つて上に被さつた新聞紙をめくると中から現はれたのは疑いもない爆彈、しかもその兩側に差込んだ鑛爐灰が燃え時に導火線に燃え移らんとしてゐるので大騷ぎとなり件の青年を引捕へると共にこの旨警察署に急報し一方吉村主任は鋏で導火線を切り小使を呼んで殘る三個の包と共に之を門外に持出させた、大邱署では時を移さず十數名の警官隊を現場に急派した、この時門外に持出された包の中には煙をあげて居るものもあつた、その正體を確めるため一人の警官がその一個を蹴飛ばした

途端轟然 たる一大音響と共に爆發し一發また一發と爆發した、その刹那現場は極度に混亂し血煙をあげて倒れるもの右往左往に逃げ惑ふもの色を失ひ顛倒するものなど忽ちにして阿鼻叫喚の巷と化し宛らの生地獄を展開した、三發の爆音を耳にした大邱署では直ちに署員の總動員を行ひ警察部憲兵隊からも多數の巡査憲兵を繰出して全市に非常警戒網を張り道廳、法院をはじめ主なる官公署又は銀行會社には武裝警官を配置し一流富豪の家庭には私服巡査を

潜伏させ 旅館、飲食店は勿論普通の民家に至る迄虱殺しに取調べを行ひ鼠一匹も逃さじと大活動を續けた結果同日夕刻までに容疑者として朝鮮人四名支那人一名を檢擧した

胃散の空罐に火藥を裝塡
各首腦者に宛て、蜂蜜の見本を裝ふ

鮮銀支店に爆彈を持參した客引風の怪青年は取調の結果、原籍全羅南道羅州郡鳳凰面掛村里現住所大邱府前町四番地德興旅館こと金秉旭方の客引朴晉宣(二〇)といふもので同日朝十一時頃年齡三十歳位の

朝鮮服を 着た一人の青年が來て朴を呼び蜂蜜の見本と稱して四つの包を出し鮮銀支店、道廳、殖銀支店に配達する樣依賴し使賃として四十錢を與れたと申し立てゝゐる、四つの爆彈は須藤知事、石本警察部長、坂井鮮銀支店長及び山本殖銀支店長に宛たものである

爆彈は太田胃散の大型の空罐に火藥を詰めこれに鑄鐵の破片を混じてダイナマイト用の雷管を通じ兩側に鑛爐灰を取りつけ更に之れに導火線を結びつけ朝鮮紙で密封し新聞紙で二重三重に包み小箱に納めたものを更に

密封し 表面を白紙に包んだ上毛筆で「蜂蜜五百瓦入り代金三圓五十錢也、大邱府南山町三九吉岡商店出」と認め兩銀行宛てのものには「若し不用の場合は支配人に渡して貰ひ度い」と云ふ意味の添書きがしてあつた

負傷者は大邱署刑事部長[illegible]、田子部長、長野部長鮮銀の給仕石井公正及び通行人三名である

內地人も加り一味十五名
三名は檢擧前に自殺

事件に關係あるものは十五名であるが中三名は事件の發覺を恐れて檢擧前自殺を企て十二名は一網打盡的に逮捕されたが關係者中には內地人二名も加はつてゐた

慶北漆谷郡仁同面玉溪洞三五二 主犯賣藥商 張鎭弘(三四)
慶北永川郡永川面倉邱洞一三一 旅人宿業用事 金明淑(四九)
慶北善山郡海平面 無職 黃國瑞(四二)
同 上 無職 朴觀永(二八)
慶北永川郡永川面門外里 土木建築業 小林篠治(四九)
同 上二 飲食店 李鼎稹(四二)
大邱府達城町三〇四ノ一 牛車夫 金商論(四五)
慶北漆谷郡仁洞面玉溪洞 朴文善(五二)
慶北[illegible]郡生れ 時計商 張以煥(三一)
京畿道安城生れ 鄭芳洛(三九)
全南羅州郡鳳凰面德林里 客引 朴晉宣(二三)

▲自殺した一味
慶北漆谷郡仁同面眞坪洞 基督教人 李乃成(二七)
同 上 賣藥商 張容熙(二三)
大邱府七星町 堀切茂三郎(四九)

右の中李乃成は昭和二年十二月十三日京城で張容熙は三年五月十七日河陽で自殺し堀切は二年十月二十二日大邱七星町[illegible]川方で爆藥で自殺した

泰東日報の發行權確認
阿部氏の勝訴

泰東日報社長阿部眞言氏を相手取り金子雪齋翁の遺子金子亭氏が提起した同新聞發行權確認の民事々件は第一審に於て原告敗訴の判決があつたが、阿部氏の控訴により旅順高等法院覆審部にて審理中のところ二十七日辯論の結果、第一審の判決を[illegible]し原告敗訴の判決が下された

草人の歡迎會

【東京二十八日發電】二十七日午後六時から東京會館で上山草人歡迎會が開かれた、出席者は正宗白鳥、久米正雄夫妻、佐藤春夫、中村吉藏、鈴木傳明、栗島澄子、水谷八重子其の他文壇劇壇映畫界多數の外櫻井忠溫、土居通彥、藤原義江氏等約二百名で盛會であつた

少年諸君に快報

少年倶樂部新年號には日記と繪卷とかるたの三大附錄つき、トテモステキ!早く買はぬと賣切れます

常盤座開館
一般の公開は卅一日から

連鎖商店內映畫常設館常盤座は既報の如く電動機及び原動機使用認可の關係上年內の問題は危ぶまれて居つたが、廿八日附けを以て關東廳にて許可になつた旨所轄小崗子署に通報があつたので愈々明二十九日より二日間各關係者を招待し三十一日より華々しく開館することに決定したが、上映々畫は既報の如く「ヴオルガ」及び「大利根の殺陣」で正月第一週は「豫定を變更し東亞の「貝殼一平」とマキノ作品「母校の名譽」を上映する

ロシヤ大使が左團次を招待

【東京二十八日發電】ロシヤ大使トロヤノフスキー氏は昨年夏露都モスクワに始めて日本歌舞伎劇を紹介した市川左團次に對し藝術交換の勞を犒ふために二十七日午後七時半露國大使館に招待して一夕の演を催し、左團次等主客十三名歡談を重ねた

假裝舞踊會
大連クラブで

大連クラブの年中行事のうち最も華やかなクリスマスとニユー、イヤー、イヴを兼ねた假裝舞踊會が今夜九時から開催されるが、男女とも假裝優勝者にはそれ〴〵賞品を出す等餘興で賑ふと

警笛で馬が狂奔
苦力の群に飛込み大騷ぎ

市內北崗子十九番地荷馬車夫田軍(二九)は廿七日午後五時五十分ごろ埠頭より歸途市內美濃町派出所附近を通行中同所を通り合せた自動車の警笛に田の補助馬が驚き鎖を切斷して自宅に向つて逸走し十三番地附近にて苦力の群に飛込み逃げ後れた同二十番地居住の王增令(二三)及び武德功(六〇)は路上に滑つて全治まで二週間を要する負傷をなし他の氏名不詳の老人一名は腦震盪を起して人事不省に陷り目下宏濟善堂に入院治療中であるが、何れも見舞金として小洋二元を出して示談解決した

正月用品を滿載した
香港丸入港

鰹魚に、松竹梅の鉢植に、蜜柑に昆布にお正月の香ひが高い貨物を滿載して內地定期船香港丸が入港した、內地よりの入港船はあと一船あるがお正月用品は殆ど今日の入港船がさらつて持つて來た形お客さんもお正月をお父さんやお母さんのところで過ごす書生

バス運轉時間
暮れて延長

滿鐵では歲末多忙のため一般市民の便宜を圖る目的で市內バスの運轉時間を左の如く延長することゝなつた

▲日本橋線 二十九、三十日兩日は午後十時まで、三十一日は同じく十二時まで
▲聖德街線 二十九、三十の兩日は午後八時まで三十一日は同十二時まで

門松を盜伐

沙河口管內西山會魏家屯廿一番戶荷馬車業魏義發(二七)は去る廿六日午後一時卅分ごろ使用人運全[illegible]と共に魏家屯北方私有林內に於て門松にて一儲けせんと松樹(樹生十三年生)を約五十本伐採して居るのを同所監視人に發見され沙河口署へ突き出された

沙疊燈臺消燈

天津海關より當地海關への情報によると白河附近にある沙疊燈臺は故障の爲め消燈したが同箇所は頗る危險箇所である關係から直に當地海務局に屆出づるところあり海務局においては更に大連無電局に依賴して早速航行中船舶に對し右事情を放送注意を促すところあつた

藤根家不幸

滿鐵理事藤根壽吉氏次女安子孃(一[illegible])は大連醫院に於て病氣加療中のところ二十七日午後八時七分死去告別式は二十九日午後二時より譚家屯產靈教會にて執行すると

入院患者へ

二十八日大連署では救濟基金の內より慈惠病院入院患者へ歲末贈品として石鹸三十八個、塵紙三十八〆、タオル三十八枚、現金七十六圓を贈つた

台所メモ

品名	百匁
にんじん	七二
ごぼう	七三
れんこん	一〇七
せうが	八六
じやが芋	四三
さと芋	七五
やま芋	一〇七
かぶら菜	四二
白菜	三二
ほうれん草	七四
みつば	一五八
ねぎ	五四
大根	四二
みかん	八六
水菜	八五

續々と豐富な水源が州內で發見される
金州驛附近に次ぎ三十里堡で 有望な水源の調査

滿鐵では過去數年來曾達工業試驗所、農事會社の水田乃至近くは昭和製鋼所問題等と關聯して關東州內に於ける水源調査に大童となつて居り關東廳土木課でも飲料水並工業用水脈の發見に懸命の調査を行つて來たが最近金州驛前附近に湧水量一日約五、六千噸の水源を發見し更に又滿鐵土木課が昨年六ケ所本年三ケ所鑿井して悉く失敗した三十里堡の大連農事會社所有地內の水田灌漑用鑿井工事も最近に至り一ケ所湧水量極めて豐富な水脈に掘當てたるものゝ如く現在では約三千噸內外に過ぎないが工事の進行に伴れ同所は三十里堡附近より金州にかけての大斷層中に位し一日約一萬噸(大連市上水道の平均一日供給量)にも達する見込確實となつたので關東廳側では俄に活氣づき同所の今後の工事は內務局土木課で引受けて續行することゝなり滿鐵側に交涉、諒解を得たが從來各地共湧水量極めて貧弱と斷定されてゐた州內に於て續々豐富な水源が發見されんとしつゝあることは產業上其他の見地から頗る注目されてゐる

日鮮學生騷ぐ
檢束者の釋放陳情で

【東京二十八日發電】廿七日午後七時頃神田神保町附近で日鮮人學生百數十名が集團騷ぎ居るを鎭、西神田署に鮮人勞働者金某(二[illegible])外百餘名、日本學生數名を檢擧取調べを行つたが、原因は某植民地共產黨事件で現に約二百餘名檢束留置され居るので即時釋放を文部省に陳情に行かんとしたが、夜の事でもあり中止を命じたが、聞き入れぬ爲めである、結局首謀者十餘名を留置し他は釋放した

在滿邦人の献金を大藏省で正式に受け付ける
國債償還資金の献納金として

關東廳では過般來陸續として集まる在滿同胞の献金取扱に關し豫て主務省へ照會中であつたが、今般拓務、大藏兩省協議の結果內地に於ける献金同樣各植民地同胞の献納金は之を國債償還資金献納金として大藏省の一般會計歲入として受入れる旨の正式回答あり同時に關東州及び滿洲に對しては西山關東廳財務部長を歲入徵收官とし各民政署長支署長警察署長を當分掌官に任命して献金の正式受入れをなすことゝなつたが、過般來任意關東廳に献納保存中のものは奉天、大石橋、本溪湖、安東、四平街の分で四千七百八十一圓四十九錢及公債勸業債券、復興債券七百五十圓で旅大其他の分を合すれば既に數萬圓にも達してゐるであらう尙献金は原則として現金を受入れるもので債券は之を現金に代る事となるので之に就ては一々本人に照會その諒解を得たる上適宜賣却する由

重臣を召し御賜饌
けふ豐明殿で

【東京二十八日發電】天皇陛下は歲末に際し元勳優遇の御思召から西園寺、東鄕、山本三大勳位、濱口首相以下國務大臣、倉富、平沼樞府正副議長以下顧問官、高橋、淸浦二前官禮遇等親任官以上四十六名に對し特に御慰勞御陪食の御沙汰あり、西園寺公、松[illegible]顧問官を除いていづれも二十八日正午參內豐明殿で酒饌を賜り御陪食仰付けられた、終つて千種間に於て茶菓を賜はり御歡談の上陛下は一時半入御諸員は感激退下した

押し迫る年の瀨に禪修行

昭和四年を顧みて
海運界
出入船舶新記録
自九月至十二月（下）

九月に入れば露支問題の解決遲延に歐洲向大豆の輸出は旺盛を極め此の方面の市況は殆ど夏枯を見ざる狀態であつたが、之に反し近海市場は特產端境期の品薄に加へ打續く銀安のため市價昂騰し、之が取引激減による積出減退のため、積荷著るしく減少せる矢先、北洋材積取船其他北支方面にてフリーとなれるもの續々として入港したゝめ引續き

◇…船腹過剩の傾向を濃厚に…◇

し運賃市況は愈々軟弱氣配を辿りたる一方、內地海運界は折柄の緊縮の餘波を受けて悲況のドン底に陷り船主側必死の對策も何等この頽勢を挽回するに由なく、搗てゝ加へて米材並に北洋材の積取り不振に入るや遂に豆粕運賃は阪神六錢、横濱八錢の安値を出し、一時惡化の形勢さへ窺はるゝに至つた、十月に至るや特產出廻り期を目前に控へ近海方面は大型船の遠洋成約漸增並に北洋材運賃反撥等の好材を容れ稍引締り傾向を見せ

◇…思惑配船の減退と相俟ち…◇

漸次持直し、下旬には豆粕運賃は阪神七錢乃至八錢を唱へ先行氣また幾分恢復の模樣を呈するに至つた、一方例年端境期として最も閑散なる本月の對歐大豆の引合は露支關係の續行により平年の例を破りて積出數量十五萬噸、運賃二十六、七志の盛況を呈し、更に先物契約益々旺盛にして月間成約高は十一月、十二月、一月積を合して約二十萬噸餘も未曾有の大量成約を見たが、此の反面には歐洲方面の需要聊か滿腹の感ありしに加へ、滿船物の契約續出等により人氣稍

◇…反動氣勢を呈するに至り…◇

新規先積物の取決は遂に三十志前後を唱へ前年同期に比すれば五志乃至六志方の軟弱を示した、かくて本月は北滿時局の反映として此等遠洋就航大型船の出入增加により月間出入船舶數は、入港百六萬九千噸、出港百七萬四千噸と共に噸數に於て大連港開港以來の新記錄を見てゐる、次いで十一月には近海は尙船腹過剩に影響せらるるを免れざる狀態にあつたが月央以後新穀出廻り期に入り幾分季節的市況を見せ、內地各港共運賃一錢方の騰貴を示し、阪神豆粕運賃八錢にて多少の成約を見た、一方對歐市況は運賃先高氣配可成濃厚なりしも、前月以來ロンドン市場に於ける滿洲大豆の先物滿船積契約連續的に締結せられ、尙

◇…大型船腹の供給潤澤なる…◇

と既約數量略大陸の需要を充したるため氣配漸次軟弱に陷り、中旬に至りて運賃市況は未曾有の崩落を示し期近物二十志前後といふ臨時滿船物採算點以下の運賃率を出現した、その結果ロンドン市場大豆船腹の引合一時影を潜めた、これにより月末には幾分緩和せられたるの感あり、先物二十五、六志を唱へた、越えて十二月、近海方面では船腹依然潤澤而も內地需要軟弱なるため採算關係不味にして荷動き捗々しからず、辛うじて阪神豆粕六錢京濱七錢を維持するに過ぎず、悲況の儘に越年せんとして居り、來春春肥手當開始まで繼續するものと觀るの外はない、更に歐洲方面は大豆滯貨の消化遲々なるがため、取引殆ど見送りの狀態にあるに反し船腹は依然潤澤なる結果、運賃市況從つて漸落步調を辿り先物に對して二十二志を唱へて居るが來春二月以降の一般的大豆利用減退を考慮すれば現在以上の進展は困難なるべく不勢の儘越年せんとしてゐる

錢鈔市場
慘落につぐに崩落
幾多の波瀾裡に幕を閉づ

本年度の回顧

本年の錢鈔市場は我國の金解禁斷行の豫告と世界的銀塊過剩に伴ふ相場の低落と相俟ちで慘落に次ぐ崩落と幾多の高低波瀾を織交ぜて取引高約十四億五千萬圓、大正十三年來のレコードを作つて目出度幕を閉ぢんとするのである。ロンドン銀塊は一月高値二十六片十六分の七より現在の二十一片十六分の十三と約四片半の暴落を演じ、一九〇三年來の安値を生み尙軟弱の運命にあり、一方日米爲替は三月の四十四弗臺の低迷時代より民政黨內閣出現、金解禁氣運濃厚なるに從ひ、漸騰は轉じて急騰步調となり、十一月遂に金解禁斷行豫告發表せらるゝや四十九弗丁度と殆どパーに迄回復するに至つた從つて上海標金も又日支交涉問題の紛糾武漢對南京兩派の抗爭に三月三百四十兩臺の安値より波瀾重疊を極め幾多の波紋を描いて四百四十九兩見當の高値を現出し約百兩方の昂騰を示した、當地錢鈔も上記の材料に從ひて年頭百一圓三月百二圓臺の高値保合より崩落又崩落、本月に至りて八十圓臺割れ遂に七十六圓臺に落ち込み當地市場開設以來の新安値を出現した、其の間九月中の出來高二億三千萬圓の活況を示し銀安金高の氣配に人氣は錢市に集中思惑買りと鞘取り商內の增加に十一月十六日、二千六百萬圓なる未曾有の取組玉を殘した、左に各月別の定期出來高を表示すれば（單位千圓）

△一月七一、四三五△二月三七、四六〇△三月七九、三三〇△四月八五、四六四△五月一一〇、三一〇△六月一一五、七一〇△七月一七二、七五五△八月一四四、一〇五△九月二〇三、〇八〇△十月一六一、二四〇△十一月一七八、九〇五△十二月一六〇、〇〇〇（見當）

次に各月別商況を示せば

◇一月　四日新甫發會は倫敦銀塊二十六片十六分の五米日四十六弗十六分の一に九十九圓七十錢と三、四十錢方安値に生れたるも漢口一帶に於ける排日熾烈を極め貿易不振の報に買人氣擡頭し十五日百一圓臺乘せたるも芳澤公使の渡支に日支問題解決の曙光を認められ漸次低落步調を辿る

◇二月　月初芳澤王兩氏の交涉に日支問題の解決を見越して九十八圓八十錢の安値を示したるも中旬交涉頓挫と輸入資金調達難に日米四十五弗臺割れを報じ强調裡に越月す

◇三月　我國在外正貨は一億圓臺割と稀有の減少を報じ政府の爲替調節策放棄說と相俟て圓爲替の前途を益々不利に導き遂に四十四弗を割らんとするの危機に瀕したため市場沸騰し折柄南京政府の武漢派攻擊開始の報を入れて六日百二圓四十錢と本年中の高値に躍進したるも月末芳澤、王兩氏の第七次會見に於て濟南事件は解決を告げ忽ち反落步調に轉じた

◇四月　支那時局は蔣介石の漢口入城により一段落を告げ續いて南京、漢口兩事件に關する日支正式調印を報じ當市漸落を辿りし處在外正貨の枯渴から再び解禁輿論の勃興となり、政府の決意亦固しとの報に爲替標金とも天井知らずの暴騰を演じ當市は九拾五圓と昨年四月以來の新安値に墜落した

◇五月　月初支那時局懸念に反騰氣配を辿りしも中旬、三土藏相が金解禁は遠からず實行すべしとの入電に九十五圓臺に辷りしが藏相の現在の爲替相場（四十四弗八分の五）にては到底解禁は不可能の聲明に一時反撥を示せるも月末馮玉祥の下野に時局懸念の一掃と解禁恐怖の心理作用にて九十四圓八十五錢と昭和二年十月以降の安値に陷落した。

◇六月　解禁による打擊の意外に大なるを觀取せる政府が其後年內非解禁の態度を示すや日米四十四弗臺割に崩落せるも倫敦銀塊二十四片丁度の安値を報じたるため當市九拾五圓七拾七錢より崩れ六日は九拾參圓臺に辷つた、其後日米爲替は反撥し四拾四弗に釘付となり市場も九拾五圓內外を保合無味閑散を呈したるも月末田中內閣總辭職の入電に後繼內閣を豫想して一般氣迷に推移した

◇七月　我國現在の政變は金解禁の促進を豫想せられ、折柄銀塊安氣配に寄り政變は二日濱口總裁に組閣の大命降下するや人氣沸騰し日米爲替の連續的暴騰に中寄九十圓九十錢と昭和二年九月以降の新安値を見せた、然るに突如露支關係の險惡を傳へ當市反撥氣配の折柄十九日勞農政府の對支正式斷交の宣言に一擧三圓方の暴騰を示したが間もなく時局和平見越しと金解禁人氣の大勢に押されて月末八十九圓九十五錢と新安値を見せ盛況裡に越月した

◇八月　初旬上海標金は三年振りに四百兩の大關門を突破したが紐育準備銀行の金利引上は沸騰せし解禁人氣に一抹の暗影を投じ且つ露支國交の紛糾に反撥模樣氣配鞘りなり然れども高値には弱氣筋の賣向ひ安値には强氣筋の買出動に中旬取組玉一千七百萬圓を示し一波瀾を豫想せられたるも北滿時局妥協成立氣構へと銀塊安見越しに軟弱氣配を辿る

◇九月　先月末の氣配を受け小幅保合無味閑散裡に推移せしが中旬突如金解禁は議會開會前に斷行さるべしとの報あり、思惑筋の圓買旺盛を極め軟弱の一途を辿る、然るに此頃廣東獨立宣言說並びに排日貨の運動再燃說等による氣配逆轉商狀なりしも生糸の輸出旺盛を極め井上藏相の在外正貨補充は完成せり等の報に驅せられ倫敦銀塊は二十四片割れを演じ米日暴騰に次ぐに暴騰を以てし中旬末には初期の豫想相場八十五圓臺も割られ八十三圓臺に陷り市場は近年稀有の殷賑を呈した。下旬正金の內地市場抑壓と英國銀行金利引上に反撥せしも孟買銀塊續落に愈々下落の一途を辿り盛況裡に越月す

◇十月　政友會總裁後任犬養氏推戴に決定し金解禁切迫說に中旬倫敦銀塊二十三片割れと一九一五年八月以降の安値に落ち込み日米四十七弗十六分の十三に八十二圓八十錢に落込みしが華商側の時局懸念に壓せられ小幅保合に推移したが、中旬官吏減俸問題に對する反對運動起り事態容易ならざる折柄時局紛糾市場鞘りとなる、下旬米國株式暴落による金利引下と津島財務官渡米に解禁時期發表を豫想され市場弱含み盛況の中に終る

◇十一月　我國對外貿易の順調と各國金利引下に日米强調解禁氣構濃厚の折柄クレジット設定說に愈々軟調上海標金四百參拾五兩と高値に躍進す、中旬在銀豐富に一層人氣は銀市に集中し熱狂裡に推移せしが下旬解禁時期發表と共に解禁相場は既に出盡し當市は八拾壹圓五六十錢と釘付商狀を呈せしが銀塊安の報に八十圓臺に崩落せしも市場閑散裡に推移す

◇十二月　今月に至りて解禁相場は殆んど出盡し市場は新奇賣買玉の出去る餘地なく小巾保合容易に八十圓を割るとも思はれず支那時局惡化、蔣介石下野說傳はりしも銀塊目先尙軟弱模樣に釘付商狀となり頗る無味閑散商況を呈す、中旬末に至りても依然各地銀塊は暴落に次ぐ暴落を以てし加ふに上海は爲替の前れ殺到市場沸騰標金は四百四十兩を飛んで昂騰の氣勢を上ぐ此處に於てマバラ筋の賣策動を誘致して七十六圓五十五錢と市場開設以來の新安値を現出したり時に倫敦銀塊は二十一片十六分の十三を報ず目先行過ぎの觀あつて鞘り商狀なるも銀塊安氣配に有り熱狂裡に越年せんとす

製鋼所問題
積極的に運動
從來の消極方針を一擲して 市會とも連絡をとる

昭和製鋼所設置問題及び之に伴ふ關稅制度改善問題は大大連の建設並に關稅制度の確立てふ意味から頗る重要性ある大問題と云はれてゐる、然るに大連側の運動は今日まで極めて消極的にて氣勢揚らぬに反し、朝鮮側は各方面一致の猛運動を行ひつゝあることは皮肉な現象であるが大連商議工業部委員會ではこの點に鑑みるところあり二十八日正午から大連商議內で委員會を開催し第二段の運動方法を協議することゝなつた、從來同問題に對する大連商議役員中の意見は、積極的運動說と消極的運動說とに分れて一致の協調を缺き稍もすれば消極的に流れる嫌ひあつたが、斯る重大問題は私心を離れて大局から論ずべきもので昭和製鋼所の州內設置の運動が實現を見ずして關東州の關稅制度の確立を見ただけでも州內工業發達の上に貢獻するところ大であり、是非共合理的なる積極運動が必要であるとの議が高まりつゝあるから、當日の工業部委員會で協議の結果、市の期成同盟會とも連絡を保ち、中央に向つて大々的運動が試みられるものと見られてゐる

腕の人……櫻內辰郎氏
五品理事長には蓋し適任

今度五品理事長に決定した櫻內辰郎君は人も知る通り民政黨の元幹事長櫻內幸雄君の令弟だ兄弟共に正に立志傳中の人物で令兄は印刷職工から新聞通信記者と苦勢を積んで實業から政界に進出し與黨內でも舊本黨系の重鎭だ、また令弟は銀行の小僧から叩き上げて頭取に認められ慫慂されて東京遊學を許され早稻田の政治科を卒業して後、日露戰後の反動に破綻したその銀行の整理委員となり專務となり實業家としての素地を築き大正五年には少壯早くも日本人造絹糸會社を創立して其重役たり次で第一、第二の東洋ラミー會社を創立して其社長となり、之に資本金五百萬圓の東洋纖維工業會社を產み出して其專務の椅子を占めたといふ勇躍振りは却々に眼醒ましいものであつた。

大正六年不幸病を得て意氣銷沈（?）搗てゝ加へて財界の反動期に際會し經營諸事業の不振を來したが病癒ゆるや君は敢然奮起、それ等諸會社の債務一切を引受けて難關を切り拔け、大正十一年には松本信次郎氏等の東京發動機會社の整理をさへ引受けて成功した。

續いて震災後即ち大正十三年には櫻組工業會社を起し、復興局の土地買入れに奔走して土地賣買のコツを會得、益々其の驥足を伸ばした、茲に於て昭和三年の總選擧には令兄と志を同じうして政界進出を企て東京第一區の激戰に出馬見ン事當選したが不幸選擧違犯問題を惹起し、失格するとやらせぬとやら今尙係爭中である。

君は當年取つて四十四歲の働き盛り、打ち見た處溫顏龍藹、而も一諾千鈞の誠意と眞味を持つて居る所、實業家としても政治家としても大に其の驥足を伸ばす素地あることが窺はれる、難關に際會して居る五品取引所が果して君の手腕に依つて甦生し振興するや否や素より今後の問題だが、從來の經緯に徵し、不況會社の整理と挽回に獨特の妙腕を有つ君の將來には相當の期待を掛つていゝだらう（在京一記者）

本年に於ける土木建築界
建築は振ひ土木不況（下）
榊谷仙次郎氏談

民間の工事

民間工事としては大連及奉天に於て相當殷盛さを見せた、大連では天滿屋ビル、連鎖商店、遼東ホテル、滿洲日報社等の二、三大工事はあつたが大部分は滿鐵社員の住宅組合、上流支那人の郊外住宅その他個人なり會社なりの住宅建築が盛であつた、隨つて工事費の如きも二、三千圓乃至二、三萬圓以內のものが大部を占め、小規模の業者や、棟梁格の請負者は頗る多忙であつたに引替え當協會員あたりの業者は何等影響はなかつたと云つていゝ、奉天では中谷ビルの十七、八萬圓の工事を除くと別に之れと云ふ程のものもなく、矢張り店舖小住宅が大部分である、その他撫順、長春、鞍山地方は見るべきものもなく、安東に於て南滿電氣會社安東支店の新築を筆頭に約三十萬圓內外の起工を見た位である主なる民間工事を擧げれば

▲大連地方　遼東ホテル新築工事四〇五千圓（淸水組）滿洲興業久方町住宅七〇千圓（大同組）三共製藥會社工場新築六二千圓（星野組）滿洲日報社新築四三〇千圓（大倉土木）大連々鎖商店新築三五〇千圓（福昌公司）同上一四五千圓（福井高梨組）野津洋行西通ビル新築四二千圓（荒井工務店）王象珍氏住宅新築七八千圓（同）陳英氏奧町病院新築五〇千圓（同）白川友一氏櫻町住宅四〇千圓（大同組）交通銀行（大山通）改築四五千圓（同）ヤマトホテル食堂增築四五千圓（大同組）

▲鞍山地方　不動產信託會社貸家補修四一七百圓（會社直營）旅館家屋二棟新築一五千圓（岡部組）滿洲興業會社貸家補修四〇千圓（會社直營）

▲奉天地方　中谷ビルデング新築一七〇千圓（滿洲土地建物會社）寺屋吳服店新築二七千圓（佐伯長太郎）大阪屋書店新築二三千圓（同上）瀋陽土地建物會社店舖新築一四〇千圓（同上）佐藤廣濟堂新築四〇千圓（同上）奉天興信所新築三〇千圓（吉木久平）錢鈔取引人組合新築二八千圓（三田組）

▲安東地方　滿電發電所倉庫一三千圓（三田組）同上安東支店二一千圓（福井高梨組）

▲長春地方　滿洲結核豫防宿舍五〇、八五〇圓（大同組）

黄塵

◇…年末黄塵子經濟面より不振不況等の言葉を驅逐して財界と共に明るい氣分にあらんことを希ひしも見事に期待は裏切る、これも時勢なれば致し方もなし。

◇…寔に財界は苦惱に滿ちた年ではあつたが精神的には必しも收穫がないでもない。

◇…金解禁が各方面論議の中心となり本年程一般國民の經濟智識を向上せしめた年はない。

◇…更に從來は年毎に周期的景氣の循環說や天佑的好況來を期待した人心が本年は合理的基礎の上に立ち之を求むるやうに變化したこと。

◇…即ちこれは經濟上のローマンテイク時代が去り、リアリステイク時代に進展を示すもので一つの大きな國民的收穫とみなければならない。

◇…茲において初めて經濟生活の基調が現實に即しその活動が組織的科學的に行はれ眞の財界の立直しが出來得るのである。

◇…財界の黎明を齎らす新年の多幸ならんことを期待し擱筆する次第である

本年度對外貿易
輸出　廿一億二千二百萬圓
輸入　二十一億九千百萬圓
入超六千九百萬圓

【東京廿八日發電】大藏省發表昭和四年一月一日より同十二月廿五日迄の外國貿易概算左の如し（單位千圓）

輸出	二、一二二、四〇七
輸入	二、一九一、一五八
合計	四、三一四、五六五
入超	六九、七五一
前年同期入超	二〇六、九五〇

けふ午後 五品總會
後任理事長は櫻內氏に決定せん

大連五品取引所では既報の通り二十八日午後二時から同社樓上において臨時株主總會を開き鶴田理事長以下重役の總辭職を承認するが後任理事長は豫定通り櫻內辰郎氏が選任される模樣である、因に同氏は來る三十日東京發正月三日來連の豫定なりと

豆粕の前途 寧ろ樂觀
明治四十二年來の內地向狀況

昭和三年度（三年十月より四年九月迄）に於ける大連港豆粕日本向輸出總額は五十九萬五千二百七十一噸にして歐洲大戰直後の好況時代の輸出額に比すれば約その二分の一に過ぎざる程度に漸減の狀態であり、大戰直前大正三年度の五十七萬四千七百六十四噸と略同量であるが最近內地筋の需要は漸く增加の傾向にあるから現在の狀態を以てすれば、更に

漸增を見る

べしと專門家は觀てゐる、今明治四十二年度より昭和三年度までに於ける豆粕日本向輸出額を各年度別に示せば（單位噸）

年度	輸出額
明治四十二年度	一七九、四一二
同四十三年度	三六六、六一二
同四十四年度	四一一、一〇九
大正元年度	四八三、一七四
同二年度	五〇四、八三〇
同三年度	五七四、七六四
同四年度	五二五、四四七
同五年度	六八九、〇四九
同六年度	八五九、一三二
同七年度	一、〇七七、一八一
同八年度	九五四、九一九
同九年度	一、一七〇、八八三
同十年度	一、〇八七、五〇六
同十一年度	一、二三七、三二八
同十二年度	一、二六二、七三二
同十三年度	一、一二六、七二〇
同十四年度	一、一五一、九八四
昭和元年度	一、〇〇六、〇五二
同二年度	六九一、七二四
同三年度	五九五、一七一

即ち右表の如く大正十一年度の百二十三萬七千三百二十八噸を最高として以來減少の一途を辿り殊に近年に於ける農村の疲弊に加ふるに銀安の確安に

壓倒せられ

たる結果と滿洲の油房工業は氣息奄々たる事態に立至つたが、然るに最近地方農村に於ては肥料に對する從來の觀念を一變して作物の多作のみに專念するよりも寧ろ地力を肥して收穫の平均を圖るの必要を痛感し來りたるものゝ如く、一方に於て鳴物入りを以て盛んに唱導せられた化學肥料の農作物に及ぼす影響等についても相當に考慮し來つた模樣で之が爲め去る十月以降內地向引合の增加を示しつゝある實情より觀れば、豆粕の肥料價値の前途については一概に悲觀するを要せずとして寧ろ當業者としては樂觀說してゐるやうである

十二月末限り 大豆高粱受渡

大連取引所特產市場に於ける大豆高粱の十二月末日限受渡しは廿七日前場を以て納會を告げた、大豆は賣買總出來高九千九百六十四車受渡九百五十八車、この步合九分六厘强、受渡標準值段六圓六十四錢でこれを十一月末日限と比較すると賣買總出來高千百八十五車、受渡高十三車の各增加、標準値段は廿三錢の上昇である、當期中の高値六圓九十九錢、安値六圓廿八錢であつた、主なる手口を示せば左の如し

▲渡方　東茂泰三七、東永茂八、双聚福二〇、萬合公七四、源成棧二七、福順厚一四、福和成一二、福聚昌二七、恒昇三九、鼎新昌二〇、協和棧七四、裕昌源九八、聚成祥二八、西比利一〇五、武井二七、瓜谷二四、三泰四一、新正二八、成發東一九〇

△渡方　日淸一六、豐年七〇三、三井九〇、三菱一四四

次に高粱は賣買總出來高二千八百六十車であつたが先安氣構へ濃厚なるため受渡は一車も行はれず稀らしい現象を呈した、當期中の高値は四圓四十九錢で安値は三圓八十二錢であつた

東亞勸業總會
前社長後任補充

東亞勸業公司では廿七日午前十一時より滿鐵社員俱樂部樓上會議室に臨時株主總會を開催、前社長田邊敏行氏の辭任に伴ふ取締役の補缺として大藏理事を選任し同氏は就任と同時に會社代表として社長の職に當ることゝなつた

市況

特產
當限落後に 一般平調

當限落後に一般に平靜大引であつた、大豆は買氣あり二三錢方の上伸を示し豆粕豆油も添ひ鞘り商狀を呈した

◇定期前場（銀建）

▲大豆（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月末	六六二〇	六六三〇	六六一〇	六六三〇
二月末	六六五〇	六六七〇	六六四〇	六六六〇
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	百四十二車			

▲普通大豆（出來不申）

▲豆粕（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	三三一〇	三三四〇	三三一〇	三三四〇
二月限	三三五五	三三五五	三三五五	三三五五
二月末	三三六〇	三三六〇	三三五五	三三五五
三月限	三三五五	三三六五	三三五五	三三六〇
出來高	十二萬六千枚			

▲豆油（保合）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	[illegible]			

▲高粱（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	百二十一車			

▲包米（出來不申）

◇現物前場（銀建）

品目	寄付	大引
大豆（裸物）出來高	九十車	
混保（袋込）	六六八〇	六六八〇
普通大豆（袋物）	六六二〇	六六三〇
出來高	二車	
豆粕	二二二〇	二二二五
出來高	四萬枚	
豆油	一八四五	一八四五
出來高	三十箱	
高粱	四四八〇	四四八〇
出來高	二車	
包米	出來不申	

定期喰合高（廿七日帳入）（前日對比△印減）

品目	喰合高	前日對比
大豆	六〇〇八車	△一〇四車
高粱	三九四〇車	三九車
豆粕	三九三四千枚	△三八千枚
豆油	一九一五百箱	三五百箱

豆

大納會の今日も當限落後のことゝて差したる面白味なく銀價の低落を眺め概して鞘り商狀を辿りて大引▲今年中の先物取引の高値を示せば大豆九月二十五日の七圓六十三錢高粱は八月二十八日の五圓三十五錢豆粕は十月三日の二圓四十錢豆油は九月十四日の廿一圓九十錢▲安値は大豆一月四日の五圓九十二錢高粱は四月十日の一圓九十二錢豆粕は一月十一日の三圓二十四錢豆油は四月十日の十五圓十五錢であつた▲今日の現物大豆は油坊四十八車、瓜谷五十車▲豆粕は豐年、日淸、三菱で四萬枚、豆油は三井、丁新昌、興記で三千箱の手合せがあつた▲今日の油坊生產高は八萬枚で操業工場は三十五軒、二十九日の屆出は九萬六千枚の三十三軒三十日は九萬三千枚の三十六軒三十一日は十二萬九千枚の三十六軒である

錢鈔
標金昂騰で 鈔票の低落

今朝の海外材料としての倫敦銀塊は廿一片四分の三と（十六分の一安）先物は廿一片十六分の十三と（十六分の一安）紐育は四十七仙八分の一と（四分の一安）孟買は四十九留比十六分の十一と（四分の一安）新嘉坡は七〇兩丁度滙申は七十一兩八五、大洋は百一圓七十錢、日米は四十九弗丁度と（同事）米日は四十九弗十六分の一と（同事）英米クロスは八十八仙四分の一と（へ三十二分の一安）米支は五十二弗八分の三と（四分の一安）上海標金は四百四十九兩八と寄り五十二兩四と止め地場鈔票は低落した

◇定期取引（單位錢）

期	寄付	高値	安値	大引
近	七七三〇	七七三〇	七六三〇	七七一〇

出來高　期近　四百六十九萬圓

◇現物取引（單位錢）

時		銀對金	銀對洋	金對洋
九時	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十時	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一時	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二時	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高（銀對金廿七萬二千九百圓　銀對洋二萬九千圓）

銀

海外材料としての銀塊は倫敦十六分の一安紐育は四分の一安孟買も四分の一安と一齊に低落し▲爲替は日米米日共に同事を報じ上海標金は四百四十九兩八と寄つたが後ジリ高を辿りて四百五十二兩四と止めたので▲地場鈔票は以上の銀安材料を眺め七十七圓廿五錢と寄り昨後場の止めより五十錢安の七圓十錢と低落した▲本日上海の入電によれば上海日本向相場は九十四兩四分の一標金は四百四十二兩四で當地の相場は七十七圓猧である▲しかし上海日本向け相場は百兩現在の見越しと見られてゐるからその割合から考へれば來春早々地場鈔票は七十二圓見當に暴落しはせぬだらうかとの說もある▲愈々本日を以て大納會である今年中の高値は三月五日の百二圓四十錢で安値は十二月廿四日の七十六圓廿五錢で昨日迄の總出來高は十五億二千四百五十四萬五千圓であつた

上海標金

寄付	四四九兩七
高値	四五二兩六
安値	四四九兩五
引	四五二兩四

爲替相場（廿八日正午）

正金（銀勘定）

種別	相場
日本向參着賣（銀賣）	[illegible]
同 十五日拂賣（同）	[illegible]
上海向參着賣（銀賣）	[illegible]
倫敦向參着賣（銀賣）	[illegible]
同 二ケ月買（同）	[illegible]

正金（金勘定）

種別	相場
倫敦向電信賣（圓）	[illegible]
信用付二月買（同）	[illegible]
米國向電信賣（百圓）	[illegible]
同 九十日拂買（同）	[illegible]

鮮銀（金勘定）

種別	相場
倫敦向電信賣（一円）	[illegible]
同 二ケ月買（同）	[illegible]
紐育向電信賣（金賣）	[illegible]
上海向電信賣（金賣）	[illegible]
同 賣（銀賣）	[illegible]
日本向電信賣（銀賣）	[illegible]
同 十五日拂賣（同）	[illegible]

手形交換高（廿八日）

	枚數	金額
金	一、四三五枚	[illegible]
銀	六三九枚	[illegible]

市場電報

倫銀現物	二一片四分三
同 先物	二一片十六分十三
紐育銀塊	四七仙八分一
孟買銀塊	四九留十六分十一
英米	四弗八八仙四分一
米日	四九弗十六分一
米支	五二弗八分三
◎米棉 現物	一七仙四〇
一月	一七仙一八
三月	一七仙四六
五月	一七仙六八
七月	一七仙八八
十月	一七仙八七
◎印棉 ベンゴール	二二五留比
ブローチ	三一八留比
オムラ	二六一留比

魚市も休業

大連旅順兩魚市場は新年につき一日、三日、四日の三日間休業する由

旅大漁業者へ 五千圓を融通

關東州水產會では廿七日議決に於ける旅大漁業者への融通金として五千圓を貸下ぐることに決した

上海爲替情報

【上海二十八日發電】銀安買人氣の大連筋圓買る住友、三井磅賣り圓好く買ふ、滙豐磅買ひ金福昌、元盛永、天裕永好く買ひ急騰したる高値は圓磅輸出あり、興元亨、元春磅賣り萬賣り、金恒、興元亨、元春磅賣り下押したるも買氣旺盛、銀弱し引前物品筋裕成永買ひ、銀塊アメリカよりの着荷多く目先尙安見越し

商品
平穩裡の 大納會

今朝麻袋市況は滿地休會閑氣配にて保合ひ綿糸布も米棉印棉共變らず大阪三品休會にて氣配變らず平穩裡に大納會を終つた

麻袋（保合）

銘柄	約定期	値段	枚數
錦筋	延一月末	三〇一	一〇〇〇
同	延二月末	二九五	一〇〇〇
同	延三月末	二九四	一〇〇〇
同	延四月末	二九三	一〇〇〇
害筋	延一月末	三四七	一〇〇〇
同	延二月末	三四二	一〇〇〇
出來高	六萬枚		

綿糸布（保合）

銘柄	約定期	値段	梱數
龍面	延二月末	一八二五	二五
同	延三月末	一八三五	二五
同	延四月末	一八二五	二五
出來高	七十五梱		

銘柄	約定期	値段	俵數
軍人	延一月末	七四五	二五
同	延三月末	七五〇	二五
人面	延二月末	七五五	二五
同	延四月末	七五五	二五
三星	延二月末	五一〇	二五
同	延三月末	四九五	二五
三輪A	延二月末	五〇〇	二五
同	延一月末	[illegible]	二五
出來高	二百二十五俵		

平安・異香（213）

葉多默太郎作　一中一彌畫

奔流（二）

木蔭の薄暗に紅の野袴、顏を深く包んだ淺黄の頭巾、水呑百姓の姿——女に逢ひに行く春光だが、世の裏を歩いてゐる身には、止むを得なかつた。

人目を避けるつもりで、三條から河原に下りて、約束の二條大橋へ急いだ。人に怪しまれぬやうにゆつくり歩くつもりだが、牛蔵前のこの春に、何ともなく別れたのが永の別れとなつて、それ以來入れ違ひ、どんなにしても逢へなかつた幸が、今そこに待つてゐると思ふと、つもりはつもりでも、首が先へ拔けて行くやうで倒れさうになる。倒れさうになるから歩が早くなる。これも止を得ないことだつた。

五條大橋の目近になつて、西詰を見上げると、橋の古木の際の蔭から、チラ／＼女の着物が見えるから、飛だしさうになる歩を押へて見てゐると、四辻の道々を見ながら、女の姿が橋の蔭から現はれた。

「おう、幸だ、幸だ」

春光の胸は叫んだが、永の辛苦を見はせて、ひどく窶れた姿になつてゐる幸を見ると、ぐつと胸が詰まつて走れなかつた。

手をあげて合圖をしたが、河堤の並木道や橋の方ばかりに氣をとられてゐる様子で認められない。

春光は、微笑と涙とを湛へた眼に幸を見ながら、靜かに歩いて行つた。

が、ふと、その春光が佇立した。そして、河原に蹲みこんでしまつた。

橋の西詰に近い柳並木のこゝそこに、濠に二人、三人の姿を見たからである。

蹲みこんで、頭巾の蔭から様子を窺ふと、すつかり消えて一人も見えない。

をかしい——もう手が廻つてゐる——さう思つて見ると、橋の下に菰をかぶつてゐる乞食も、淺瀬で釣をしてゐる男も、樣子に怪しいところがあるのだつた。

が、幸を目の前にして、逃げることも、引返すことも出來る筈はない。春光は少時樣子を見てゐることにした。

すると、[illegible]

いたらしく、俄にそわ／＼し始めた。頻りに左右の道を氣にしてゐるかと思ふと、ついと橋の蔭を離れた。

逃げるつもりらしい——

春光は跳びあがつた。

「幸、幸、おうい、おうい！」

叫びながら走つた。

ふつと振返つて、幸は春光を見た。

「わしだ、わしだ、春光だ！」

「あゝ」

轉がるやうに、幸は堤を驅下りた。

やぶれかぶれだ。一緒に死んでやれ——

兩方から驅寄つて、倒れかゝつた幸の身體を、春光は潰れてしまへと抱き締めた。

「いやです、いやです、いやです。嫌です。もう死んでも離れない」

胸に顏を埋めて、幸は囈語のやうにいひ續けた。春光は女の髮に頰を押しつけて、石のやうに動かなかつた。

「一緒に死んでやらう、一緒に」

「えゝ、えゝ、さうです、さうです、一緒に死にませう一緒に——離れたら、またあんなになつて、しまひます」

一つになつた二人の周圍には、七、八人の男が人垣を作つて立つてゐた。

中に牛飼姿のからつけつの鍛兵衛がゐる。赤穴の太吉がゐる。町人姿の高倉四郎がゐる。

「へゝゝ、こいつはどうも、とんだ御馳走だな」

鍛兵衛が、口を撫た手で、トンと太吉の背を叩いた。

「引括れ」

と高倉四郎が顋をしやくつた。

「幸、覺悟」

と春光が叫んだ。同時に、キラッとひらめいたものがある。

「チ、畜生！」

二、三人が同時に躍りかゝつた。その時、橋へかゝつた一挺の駕があつた。河原の騷ぎに駕を止めて、ぢつと見てゐる様子だつた。

映畫と演藝

料金で行く浪速館

（五）正月映畫陣

料金値下を斷行して大連映畫界から注目されてゐる浪速館にては正月興行も亦、所謂特別興行の看板をかゝげず階下最高料金四十錢として大衆向きプログラムを組み料金の競爭によつて他館を壓倒すべく作戰をめぐらしてゐる。第一週の番組は、マキノ時代劇根岸東一郎主演「盜まれた大九郎」とメトロ映畫バスターキートン主演「西部成金」の喜劇二本に阪東妻三郎主演「近藤勇」第一篇を上映、第二週はマキノ時代劇「彌次㐂多京の卷」の喜劇とデニーの「私のパパさん」及び松竹映畫は「民族の叫び」で第三週は松竹映畫が市川右太衛門の「高杉晋作」の豫定で其他は未定である、また常盤座は正月興行より東亞キネマを上映せず河合プロのみとなつたので現在決定せる第一二週とも河合プロの特作品を上映するが、第一週は五社競映の雲井龍之助主演オールスターキャストの「見參一平」と現代劇生方一平、橘喜久子主演の「夫婦喧嘩異状なし」の二本立であるが、常盤座が豫定通り第一週に東亞の「見參一平」を上映すれば圖らずも大週で河合と東亞の競映となりファンの興味を唆つてゐる、第二週は時代劇で嵐山純之輔琴糸路主演「落葉ヶ原決闘記」及び軍事實談「金子二等卒」で第三週以後は未定である【寫眞はキートンの西部成金】

少女歌劇 愈よ生る

新春早々公開

子供達の本當の世界を造る爲にとかねてより村岡樂童氏や西村不二氏が盡力して居た運動が成功して愈々明年新春一月四日五日の二日間滿鐵協和會館に於て大連少女歌劇主催、大連高等音樂院後援にて「お伽歌劇と童謠舞踊の會」が開催される事になつた、此の會は從來の如き俗悪であつたり、職業的であつたりして最も重要な子供の純眞性を犯さないのが目的で、其の意味に於てプログラムも非常に注意して選ばれたとの事である。尚當日のプログラムは次の通りである

（一）諸舞踊（イ）赤とんぼ（ロ）狐の提灯（ハ）南京言葉（ニ）雀のおどり
（二）表情舞踊 茶目さん
（三）滿洲民謠舞踊（イ）朝（ロ）絹布賣り（ハ）片帆貝（ニ）小平島の娘
（四）お伽歌劇 白玉野
（五）ボートビル
（六）舞踊劇 初夢

けふの船でパラマウントから發聲映畫裝置機と技師が來たが▲檢閲は警察に設備がないためにあす午前十時から大日活でやることになつた▲お千代さんと言つた方が通りがよい浪速館主の吉田氏夫人が亡くなつた▲常盤座は開館が豫定より遲れたために既報の正月プロは順送りとなつて一部變更されるらしい▲浪速館の「影法師大會」は何回目かの再上映ではあるがこの映畫は不思議な位ファンの吸引力を持續してゐる▲演藝館では昨日晝間を休んで本家で恒例の囃子鳴物入りの賑やかな餅搗きをやつた▲年末は各館とも大抵大晦日は休館するが浪速館は休まないとのこと▲協和會館は大連少女歌劇でお正月の幕をあけることに決定

賣物ニュース

▲小賣販賣の合理化を標榜して今回船越世帶道具店が掛賣を廢して斷然現金賣を開始した▲これによつて店は薄利多賣、顧客は良品を安價に買へると云ふので一擧兩得だと評判が良い

滿洲日報

中央公論社の初豫約出版
千夜一夜

第一回 配本開始

實物は一切を證明す！
年内増版の餘地なし！
品切れぬうち店頭へ！
これさへあれば
今日から正月！

全十二卷・一冊壹圓五拾錢

東京丸ビル・振替口座東京三四番
中央公論社

狂喜版……あら！びやんないと

佐藤春夫

これを讀んで萬々一面白くなかつたら、自分は低能兒だと思つてあきらめるより外はあるまい。

金ある人は必ず買ふべし。文字知る人は折角讀むべし。馬鹿でない限りは狂喜すべし。

◇

本年掉尾の大出版として全讀書界から異常な感激と期待を以て迎へられた「千夜一夜」が、愈々今日から店頭にその雄姿を現はすこととなつた。菊判五百頁、挿繪十數葉、別製コツトン紙、表紙は木版手刷金文字入の豪華本。原書バートン版は世界的希覯本で、數百金を投じても手に入り難いもの。映畫王ダグラス夫妻も帝國ホテルで本書を手にしてこれが一弗以下で買へるかと驚異の眼を瞠つた。變幻極まりなき筋の發展と、アラビアの熱砂の中にしか生れない奔放なる情熱と、絢爛にして痲醉的な詩的情調とは、到底通俗小説や探偵小説の類には求めて得られないものがある。クリスマスや年末年始の贈答品として、これに勝るものはなく、その中に祕められた計るべからざる興味は、一年間の勞苦を完全に忘れしめると共に、目前に迫りつつある正月のために、最適最大の娯樂を用意してくれるだらう

内容見本進呈

詳細な内容の紹介や、豫約規定は内容見本によつて是非御覧下さい。

中里介山作
夢殿

四六判三三〇頁 寫眞版十葉入 定價金壹圓八拾錢 送料十二錢 (著者自装)

著者本書に序して曰く——『私が聖徳太子の研究に着手したのは明治四十五年に始まるのである、その以後我々の力で、求められるだけの書物は讀みもし遺蹟に至るまで一通りは巡禮をして歩いたつもりである。それとても、私のは歷史研究の爲にやつたのではなく、創作の感興に驅られて渉り歩いたといふのでもなく、實は本心にやみ難き追求があつて、物心共に惱みきつて、道を求めて歩いた結果が聖徳太子のお膝元まで計らず導かれて行つたといふ次第である。

分け登り來つて、はじめて、その偉大壯嚴なる人間的存在に驚歎し豫想せざる處の感動が大海の如くわが身を浸した。傳教も偉大であり、空海も偉大であり、惠心も、法然も親鸞も日蓮も、その姿に於て優に世界人類のスノーラインを抜く處の高峰峻嶺ではあるが、聖徳太子に至るとそれ等の肩を打ち越えて、そこに佛と菩薩との位が明かに現實的に現はされてゐるかの如く見ゆる。思想界のアルプスの壯觀偉觀は、これまた相當その嶮山難路に足に覺えのあるものでなければ味ひきれないかも知れない。(中略)

創作「夢殿」は詩であり戯曲であり小説であり美術工藝であり歷史であり政治であり宗教であり、人生及び靈界のすべてにわたる由々しき仕事である。任に堪へる處であるまいが、自分は自分だけのものをうつして、後人に暗示を與へ得れば滿足する。』

大菩薩峠
特装版

中里介山著 (木版手刷美装)

▼定價 參圓五拾錢 ▼送料 書留卅六錢

第四卷發賣 菊判五百餘頁 (口繪) 代田收一氏 石井鶴三氏

目録進呈

東京日本橋呉服橋 振替東京二四八六一 電話日本橋二六七〇・二一六八

春秋社

果然大評判！

「講談倶樂部」新年號

面白い其の上安い！と

名士、名流夫人揃つて賞讃！

◎軍縮會議全權委員 若槻禮次郎閣下曰く

講談倶樂部が特に興味津々たる讀物のみを精選して常に思想善導の念を盛り込み大衆敎化に努めてゐる事は誠に欣快である。余はこれから重要任務を帶びて任地に赴く、幸に之を長途の伴侶として旅愁を慰めたい。

◎小説家 中村武羅夫先生曰く

講談倶樂部が五十錢に値下を斷行するのは益々賣れて來たのだらう。講談倶樂部のみが、どしどし値下げを實行するのは、講談社一流の美しい讀者奉仕の精神の表れである。

◎女子商業學校長 嘉悦孝子先生曰く

講談倶樂部の新年號を一氣に讀了しました。實に面白い、と同時に甚だ有益であつて其の附録の如きは立派な現代の聖典である。新年號中における白眉中の白眉であると云つても過言ではないと考へてゐます。

◎遞信大臣 小泉又次郎閣下曰く

講談倶樂部新年號を一瞥するに面白い讀物が按配滿載されてゐて、編輯の努力、實に敬服に値するものがある。これなら誰が讀んでも、どんな家庭でも安心して讀ませる事が出來ると思ふ。

◎松竹女優 栗島すみ子孃曰く

加藤武雄様お作「火の翼」中村武羅夫様お作「王冠」など何れも大囘を早く見たいと存じます。菊池様お作の「鼠小僧外傳」も面白く、江戸川亂歩様の「蜘蛛男」も私の興味を惹きました。附録は女中達が引張り凧で讀んでゐます。

見よ！此の名篇大傑作!!

◎火の翼……(加藤武雄) 誰をも泣かせ誰をも熱狂させる美人哀史！
◎珊瑚重太郎……(白井喬二) 若殿に化けて丹州家に乘込む美男の侠傑！
◎負けない男……(佐々木邦) 頗る美男で金持で大男坊の我儘者……
◎王冠……(中村武羅夫)
◎お洒落狂女……(本田美禪) 純情正義の美青年と美しき三人の處女……
◎情の鐵枷……(松田竹の島人) 名代の美女が追手を尻目に飄のすく大活躍！
◎殊勳の本壘打……(鈴木彦次郎) 哀れ一城の主にへとなる美少女玉章の最期！ 滿都を熱狂さした大決勝戰に絡る野球秘話
◎きつね拳……(森曉紅) 面白い〳〵トテモ面白い落語中の名落語！
◎熱火の劍……(鳴弦樓主人) 血湧き肉躍る全國警官武道大會記！
◎天覽大相撲……(中井樂翁) 明石志賀之助と仁王仁太夫が決死の大勝負！
◎鼠小僧外傳……(菊池寛) 大名と彫刻師と怪盜と三人の痛快ないきさつ
◎首斬代千兩……(眞山青果) あゝ悲壯！江藤新平の最期—感激の名篇！
◎處女爪占師……(吉川英治) 駿河大納言秘史！若き奥方の運命悲劇……
◎蜘蛛男……(江戸川亂歩) 幾多の美人を惨殺して樂しむ殺人魔！
◎上等兵志願……(山中峯太郎) 誰でも思はず泣かされる純情な一兵卒！
◎尼子十勇士……(一龍齋貞山) 武勇の美丈夫が勇婦と共に回天の大快擧！
◎金儲け實話……(谷孫六) 萬人必讀の名記事「黄金のジャズ」
◎銃劍塹壕……(池田宣政) 血腥い大戰場に咲いた悲しい戀の花！
◎ウィルソン夫人……(鶴見祐輔) 夫人を招待されたその夜の美しい情景！
◎め組の喧嘩……(渥美清太郎) 紳萌の喪内は忽ち血の雨、鳶の稽衷……

此外 面白い〳〵讀物數十篇

美本『秘訣何でも宝典』附録つき

◎講談倶樂部 新年號 定價—五十錢 (全國各地書店にあります。)

お早く〳〵！賣切れぬうち誰方も早く……

新治療劑 痔 ヘルミチン

ヘルミチンは即ち卵黄中の油性成分及卵黄より得たる特殊タール物質を主藥とし一般痔疾殊に治難とせる痔瘻に對し迅速治癒の効顯著にして無刺戟なる坐劑並に軟膏製劑なり

見よ 軍醫團雜誌第一七九號 陸軍々醫監某醫學博士閣下の卵黄油製劑の醫療的効果に就ての一説に

著者ノ痔疾患ノ治療ニ關シテハ、其ノ成立ノ原因ト現時ノ症状ニ應ジ非觀血的ニ處理スベキモノト觀血的手術ヲ可トスルモノトアルモ必ズシモ外科的觀血處置ノミヲ以テ根治的成績ヲ得ルモノトノミ過言スベカラズ……中略……而シテ非觀血的療法中最モ簡單ニ且ツ實ニ應用セラルルモノハ坐藥挿入及軟膏ノ貼用ナリトス、坊間販賣セラル此種新製劑ヲ收見ルモ之等ハ撰篩、效能等ノ目的ニハ相當效果ヲ收メ得ルモ尚一層此種ノ治療ニ適スルモノヲ渇望セリ、今「ヘルミチン」ハ多數痔疾患者ニ試用シタルニ成績極メテ良好ニシテ軟膏及坐藥療法トシテハ理想的ニ近キモノト認ムルナリ(以下症例略)と云へとあり

適應症
內外痔核(いぼぢ) 痔出血(はしりぢ) 脫肛(でぢ) 肛門裂(きれぢ) 又は(やつちやき) 痔瘻(あなぢ) 分娩後に於ける脫肛會陰裂傷等

説明書文獻送呈

發賣元 藤澤友吉商店 大阪市東區道修町二 東京市日本橋區本町 京城府南大門町

定價	肛門坐藥	軟膏
	六個入 一、六〇	一〇瓦入 五〇
	一二個入 一、〇〇	三〇瓦入 一、〇〇
	三〇個入 二、三〇	一〇〇瓦入 二、七〇
	一〇〇個入 七、〇〇	三〇〇瓦入 六、〇〇

日本は平和政策により軍縮の達成に努力せん
ロンドンにおいて發表したる若槻全權の聲明內容

【東京二十八日發電】若槻全權がロンドン到着の際發表したステートメントは二十八日外務省より發表された、全文左の如し

イギリス政府よりの招請に應じ會議に出席すべく無事此旅行を終へた事は余等の最も滿足に思ふ所である、余は旅行の途中アメリカ合衆國を通過しアメリカ政府當局との間に非公式會見を爲しほ商議を行ふ機會を與へられたことを欣快とするものである、而して**アメリカ當局との會談は頗る有益**なものであつた、今や余等はロンドンに到着し尚ほ會議開催迄には多くの日時が殘されてゐるを以て余は余及び余の同僚はイギリス政府當局との間にアメリカにけると同樣**率直なる意見の交換を爲す機會が得られる事と信ずる**、余等は非常な期待を以て到着した、余等は會議の圓滿な進行に資する爲め全力を盡す事を希望してゐる、日本國民及び日本政府は共に會議が成功を收め海軍に備制限のみならず實質的の縮小が實現する事を切望してゐる、日本はイギリス帝國及びアメリカ合衆國と比較して劣勢なる海軍力を以て滿足せんとするものである、日本の要求する所は日本帝國の安全保障に在つて未だ日本は攻勢に出でんと考へた事はない、余は**日本の平和的政策が必ずや本會議の崇高なる目的達成の爲めに列强と共に重且つ有効なる協力を爲すことを可能**ならしめるであらう事を確信する、余等は新らしき信頼と行爲とに基く各國の感激に依り今般の會議が必らずや永久的平和建設に關しパリー條約を一層擴大し鞏固なるものたらしめるに至るであらう事を深く信ずるものである

日本の態度を激賞
デイリー・エキスプレス紙の社說

【ロンドン二十八日發電】若槻全權一行の着英を迎へ本日のデイリー、エキスプレス紙は世界平和軍縮達成に對する日本の態度を激賞し左の如き歡迎の社說を載せた

歐洲大戰以來日本は常に世界平和の增進、軍備の縮小の確立に寄與する準備を有して居た英國は世界の他の國には餘りお世話になつた事はないが英國と日本とは常に相協力して國際的調和のために重大な効果を與へて來た日本は世界改造に忠實なかつ非常に助けになる國であつた過去十年間に日本程政治家が道德を信實に示めした國はなかつたと信ずる

正式會議は露都で
兩軍は既に撤退を開始
勞農代表一行は卅日頃に歸哈
蔡全權記者に語る

【奉天特電二十八日發】露支交涉支那側全權蔡運升氏は本日ヤマトホテルに於て記者に對し左の如く語つた

東鐵問題解決の露支第二回會議は一月二十五日モスクワで開會することに大體內定してゐるが未だ決定した譯ではなく張司令長官と協議の上初めて確定する譯である、國境の露支兩軍は二十四日頃から既に撤退を開始してゐる、歐亞連絡も愈々近く恢復することになりこれに關する一切は新管理局長ルディ氏に一任してゐる、露國側一行は多分三十日頃歸哈すべく新正副局長の就任式は歸哈直後に擧行される筈である

拘禁露人を釋放
愈よ明三十日を以て

【ハルビン特電二十八日發】ストツペドイツ總領事はロシア人拘禁者につき二十八日シマノフスキー氏が歸哈するので二十九日シマノフスキー氏と會見し一切の拘禁者に對する事務を引繼ぎ委任を解除するが三十六名の政治犯を含む拘禁者は三十日釋放さるる筈、なほシマノフスキー氏は向はぬ由

國境連絡 復活近し

【東京二十八日發電】駐露田中大使よりの報告に依れば滿洲里、海拉爾地方侵入の露軍は二十三日より占領地帶を撤退し始め衛戍司令は二十四日より露領に後退し、二三日後には海拉爾よりの國際連絡列車も開通すべく滿洲里地方在留邦人は安堵の色を示してゐる

在滿鮮人 保護問題
明春具體案協議

【東京特電二十八日發】過般來外務拓務兩省の間に調査講究中の在滿鮮人保護問題に就いては當然齋藤朝鮮總督の意嚮を徴する事が重大であるから來春早々上京する齋藤總督の上京を待つて濱口總理、幣原外相、松田拓相などが會合して其具體的方法に就き協議することになつた、其際朝鮮治安に就いても齋藤總督より種々說明しこの兩問題は同時に解決を圖ること、大體の豫定を決定した模樣である

國境の勞農軍は既に引揚を了る
田中領事よりの報告

【ハルビン特電二十八日發】田中領事より駐露田中大使への報告によると滿洲里のロシア衛戍司令官は二十四日海拉爾軍隊と共に全部露領に撤退した、ポグラニチナヤからもまた哈府に引揚げた

廿七日着奉した勞農代表(奉天驛にて) ▷向つて左より二人目カスマイロフ氏△四人目蔡運升氏(全權)△六人目(シラガノ露人)△シマノフスキー氏(全權)△七人目李紹庚氏

滿洲の將來
太平洋調查會の反響
(10)……保々隆矣

民國の青年識者に與ふ(下)

日本が滿洲の開發に參加することを諸君の內には恰も日本がバチルスでも播き歩くかの如く誣ゆる人々もあるがこれ亦頗る譯見で事實を知らざるも甚だしい話である現に卅餘年前の滿洲は支那中最も財政的貧弱なる地方の一では無かつたか。

然るに現今に於て、東三省は支那に於て最大治安の地域で且つ其省財政は故張將軍が連年戰爭を繼續するも猶且つ窮民多からぬ程豐になつたではないか。諸君は日本の滿洲進出を以て獨逸人が佛人のルール占領に對する口吻を以てするが、世界の科學文明の先頭をきるドイツ人が經營せるものを佛人が占領したればとて、之を歐洲の經濟的、文化的見地よりして人類界に何等貢獻する處はないが滿洲に於ける吾人の進出は全然これに反するので例へば撫順の如きも若し我國なかりせば數十戶の農民も生を安ずるに足らぬ地である。

然るに一旦我滿鐵の施設進むや數萬の苦力と數十萬の其家族とは生を安ずるではないか、此の如く吾人が滿洲に於て鐵道、鑛山、港灣を經營し、更に進んでは、歐米より高價を拂ひて學習せる、都市計畫、教育、衛生、其他百般の文明的施設を諸君の眼前に施して貴國の庶民に實物教育を施すことは、即ち滿洲の產業開發となり、文化の促進となるのではないか。而して之を政治的、文化的、將又人類相愛の念より言ふも、吾人の業は聖者の業であり、君等の遂行である。吾人は天地に俯仰して恥ざる心懷を以て、君等の所謂「文化的、經濟的侵略」をして居るのである、吾人は病兒に藥を飲ます氣持で居る、吾人は諸君の如き中國の若人が固陋なる其父兄に對する考へと同一の心情である。吾人が滿洲に發展することに因つて滿洲の中國民は、其衣食を日々に美にして行くことは、理論でなくて、過去卅ケ年の實蹟である。

諸君の內には動もすれば「國權恢復」てふ簡單の文字のみに心醉して、失禮ながら、現實を見ない青臭な議論が横行して居る樣である。粗笨なる議論は生民を救ふに足らぬ。天然資源は單なる悲歌慷慨では地上に何物をも齎さぬ事を知らねばならぬ。余は非禮にもかかはらず率直に諸君に忠言する所以は諸君が再思、三考して迷蒙を啓き、開陳一番、吾人と與に手を携へて東北アジヤの文化建設に最善の努力を拂はむことを衷心より希ふからである。吾人は敢て諸君を敵く考へはない。尚最後に一言するが、吾人日本人は滿洲に借家住まひをして居るのではない。同時に赤誤ふ氣分の持合せもない。其意味で一言するが、警察を追出して親々しい老人を迎へ入れて之を加護して居る後見人である。若し此老人の子供が無遠慮に、非道の試行を此上とも無遠慮にやるならば、後見人の權利の緒は少しづゝ切れつゝあることをも諸君は承知して居て貰はねばならぬことである(終)

訂正 前回に小標題「民國の青年識者に與ふ」は青年識者の誤り、又本文終りより十二行目「時のドイツ外相より」同三行目「ないか」迄は三段目終りより六行目結果ではないか」の次に入る

外交權の放棄と傍系會社の整理
仙石總裁の滿鐵根本的改革案
來月首腦會議で審議

【東京二十八日發電】仙石滿鐵總裁が滿鐵經營方針を根本的に改革せんとする意圖を有し二十七日の松田拓相との會見に際しても種々此點に就き意見交換を行つた結果大體

意見の一致

を見た、仙石總裁の滿鐵改革に關する腹案は

一、滿鐵の外交權拋棄
一、傍系會社の廢合整理
一、職制改革
一、昭和製鋼所計畫の根本的立て直し

等で右の中最も重大視されてゐるのは從來滿鐵で主管してゐた鐵道問題其他に關する外交權を拋棄せんとするにあるが、之は從來二重外交三重外交として我國の外交方針を不統一ならしめ勘からざる不利益を與へて來た弊を矯正するものであるのみならず又所謂滿蒙四頭政治の弊害除去の前提をなす處の

重大改革

案であるが、問題が問題であるだけに愼重に調査研究の上決定する必要あり其體案に就ては來春早々十日若くは十五日頃濱口首相を始め幣原外相松田拓相仙石總裁等が會合審議決定する事となつた

行政權問題協議
仙石總裁、外相訪問

【東京特電二十八日發】二十七日拓相と會見した仙石總裁は二十八日午後三時更に外相官邸に幣原外相を訪問し約一時間に亘り滿鐵附屬地行政統一問題、在滿鮮人保護問題その他の滿洲問題につき種々意見の交換をなした其際總裁は近時滿洲各地に於て殊に東北四省官憲の日本側に對する感情著るしく緩和されて來たとの感想を語り其參考に資した模樣である

政友納めの幹部會

【東京二十八日發電】政友會本年度納めの幹部會は二十八日午後一時半より本部にて開催綜谷顧問以下各總務、各部長、森幹事長等出席

一、一月一日午前十一時本部にて拜賀式擧行の件
一、一月二十日定時大會開催の件を決定の後現下の政局につき種々懇談する所あつたが、議會再開勞頭解散となるか、或は其前に疑獄事件の進展に依り內閣崩壞の運命に立入るか若しくは解散なしに濟むものか前途俄に逆睹し難きものあるので黨として形勢の推移を嚴重監視し時宜の處置を執るに一致し幹部は休暇なしに本部に出ることとし二時散會した

陳情委員を派遣
製鋼所、關稅二問題に關し
大連商議工業部會で決定

大連商議工業部委員會は二十八日正午から昭和製鋼所設置問題及び關稅制度改善問題につき第二段の運動方法を協議した、其結果同問題は滿蒙開發上重大なる關係を持つもので今少し合理的積極運動をなす必要あるとの意見一致を見、政府首腦者に實情陳情のため二名の上京委員を派遣するに決定した而して上京期日は明年早々役員會に於て決定を見る筈であるが遲くとも一月中旬には上京の豫定である、なほ上京委員は目下銓衡中であるが多分村井會頭と篠崎書記長となる模樣である

五品の株主總會で
櫻內氏理事長に決定
常務理事は水谷氏に內定

大連五品取引所では既報の通り二十八日午後二時から臨時株主總會を開き役員改選の件につき附議したが原田理事長議長席につき一昨年理事長就任以來不才無能のため株主諸君の期待に添ふことが出來なかつたのは誠に恐縮に堪へない、昨今過勞のため健康を害し著しく心身の衰弱を覺へ重任に堪へず甚だ勝手ながら辭任を申出たところ他の役員諸氏も共に辭任の希望であるので總辭職の承認を願ふ次第であるとの挨拶あり千田株主の動議で後任重役の選任は議長を加へたる銓衡委員原田、小林、河村、辻井の五氏協議の結果左の諸氏に決定した

理事長	代議士	櫻內辰郎
理事	實業家	佐藤喜八郎
同	相撲紡績重役	水谷鹿次郎
同	實業家	河村統治
同	同	飯野健次
監査役	同	河村寬裕
同	辯護士	小野實雄

次に小林株主の動議により退職役員に對する慰勞金贈呈の件を後任重役に一任することを決議し終りに河村統治氏は新任重役を代表し種々の都合で東京側の後任者が總會に出席出來なかつたのは甚だ遺憾である來月匆々櫻內水谷の兩氏共來連する豫定である不肖短才ながら最善の努力を以て株主諸君の期待に添ひないと思ふ、三社合併問題についても他社との感情上の融和を圖り財界のため善處する考へであるとの挨拶あり午後三時散會したが常務理事としては水谷氏が就任する模樣である

新春の滿日紙

昭和五年、新春の滿日紙は勅題「海邊巖」をオフセット版グラフイツクにて竹の園生の御繁榮を壽ぎ奉ると共に新進作家三上於菟吉氏の「戀の地獄」(鶴田吾郎氏挿繪揮毫)の封切り、滿蒙色を横溢さすべく左の諸大家の執筆を煩はし讀者各位の要望に奉仕することになりました。

滿蒙色横溢

新春號執筆者(順序不同)

石本鏆太郎氏 田中千吉氏 若竹又男氏 伊澤信一氏 高橋武夫氏 高見三吉氏
兒玉秀雄氏 吉田辰秋氏 升巴倉吉氏 島野三郎氏 霍田忠雄氏 橫田多喜助氏
森本丹次郎氏 畑英太郎氏 井手正壽氏 竹內克巳氏 伊藤久太郎氏 加藤敬三郎氏
實吉吉郎氏 田中定吉氏 本間久吉氏 伊藤淸造氏 森廣藏氏 鈴木嶋吉氏
渡邊軍醫部長氏 石射猪太郎氏 大村卓一氏 池田季藏氏 來栖健助氏 土方久徵氏
松田源治氏 太田政弘氏 安藤忍氏 篠原忠男氏 村井啓太郎氏 神成季吉氏
仙石貢氏 大平駒槌氏 瀨谷佐次郎氏 中谷政一氏 長由節氏 小倉圓平氏
井上準之助氏 貝瀨謹吾氏 山田武吉氏 八木沼丈夫氏 今尾松翠氏 谷山知生氏
中西敏憲氏 倉賀野晋氏 稻葉亨二氏 橋本八五郎氏 馬場鍈一氏 川口四郎氏
石森延男氏 中澤不二雄氏 高津錢氏 大野斯文氏 石田吟松氏 伊藤順三氏
岡部平太氏 大塚幹一氏 芥川光藏氏 日向保良氏 宮本輝芳氏 塚本孝氏
富永能雄氏 森富男氏 小谷百合子氏 今西ツネノ氏 紙谷興太郎氏 平島信氏
宗光彥氏 小林胖生氏 辻忠治氏 石原巖徹氏 小坂準三氏 眞山孝治氏
中尾國次郎氏 仙波久良氏 井田潤三氏 陣次郎氏 坂本高氏 山西恒郎氏
今村武志氏 加藤明氏 宮尾舜治氏 西山勉氏
石田禮助氏 野田蘭水氏 高橋勇氏

露支和平で北滿貨物
まだ變動無し

露支和平により久しく閉鎖されてゐた浦鹽線も近く開通するが北滿貨物の輸送狀況を見るに十二月中旬既に百六十萬噸を南行せしめてゐる、前年に比較すると八十萬噸の輸送超過であるが假りに浦鹽線が開通しても傭船契約の關係上今日までの南下貨物が直に東行するものとは見られてゐない、勿論烏鐵は貨物の吸收策として當然運賃引下を斷行するであらうが特產商筋も此運賃引下を見越して荷出を差控へるものとせねばならぬから南下貨物の自然減少は免れまい、然し二十六日長春引繼ぎの南下貨物を見ると東部線のもの五八車、西部線一七九車、南部線三三車、其他六車合計

三九五車

であつて今の所未だ浦鹽線開通豫想に對する影響は現はれてない

白外相の對露復交反對

【ブラツセル廿八日發電】ベルギー外相ノーマン氏は議會に於いて同國政府は未だ勞農ロシアとの關係を再開する事には反對であると言明した

米大使の着京期

【ワシントン廿七日發電】臨時駐日米大使キヤツスル氏は本日サンフランシスコへ向け當地を出發した卅一日プレシデント、ジヤクソン號でサンフランシスコ發ホノルルに立寄り故鄉マウイを訪問の上一月廿一日橫濱着の豫定である

藤原鐵太郎氏謝電

前旅順民政署長藤原鐵太郎氏より卅八日高柳本社長宛左の電報が到着した

只今着京す在任中の御厚意を拜謝す右、貴紙を通じ在滿各位に宜しく御傳へ乞ふ

兩署長赴任期

新任奉天警察署長川合又一氏は三十日午前七時卅五分旅順驛發列車で赴任の筈尙新任四平街警長警視龍躍藏氏安東警務主任鮫島警部は廿八日午後一時廿五分離旅赴任した

辭令

【東京二十八日發電】

領事 田代重德
兼任關東廳事務官(四等)
關東廳事務官兼外務事務官 三浦義秋
免本官、專任外務事務官
關東廳警視兼外務省警視 尾崎三郎
同上 中尾大次郎
免兼官(各通)
漢口總領事 桑島主計
任大使館參事官、命伊太利在勤
大使館一等書記官 天羽英二
任大使館參事官、命勞農聯邦在勤
總領事 坂根準三
命漢口在勤
大使館一等書記官 天城篤治
命勞農聯邦在勤
香港總領事 村上義溫
命ハンブルグ在勤
吉林總領事 川越茂
命青島在勤
領事 西田畊一
任總領事、命濟南在勤
總領事 吉田丹一郎
命香港在勤
總領事 藤田榮介
罷免青島在勤、臨時外務省ノ事務ニ從事スル事ヲ命ス
領事官補 重松宣雄
任副領事(哈爾賓)
副領事(新民府) 龍山淸次郎
命間島在勤
副領事(米國大使館) 長岡半六
命吉林在勤

關東廳辭令(廿四日付)

關東廳事務官 御影池辰雄
圖書館長兼務ヲ命ス
體育研究所長兼務ヲ命ス
同(廿七日)
關東廳視學 土方省三
任關東廳中學校敎諭
關東廳技手 木谷鶴次郎
願ニ依リ本職ヲ免ス

人事

▲庵谷忱氏(奉天商議會頭) 二十八日夜十時の列車にて歸奉
▲川合又一氏(新奉天警察署長) 轉任挨拶の爲各所を訪問
▲增田道義氏(警務局衛生課長) 同上
▲泉文三氏(關東廳警務局警務課警部) 二十八日午後三時四十分發列車にて旅順に赴任す
▲難波又々郎氏(關東廳警務局高等課警部) 同上
▲小林貞一氏(關東廳警務局警務課警部) 同上

安與箱子

關東廳未曾有の大異動の發表迄は淡石官界浮き沈みの常で、下馬評に上ると上らぬと何れも腰の据はらぬ心持だつたが年の關所の潛り戶を見越す二十四日の夜更け、第一次異動發表され警務關係全般に亘つての大異動と二十六日の內務關係の異動を合すると實に異動人員約二百名、三事務官の內地轉出から云つても空前の大異動だつた▲何だ彼だと取沙汰されてゐた異動者の內命云々もとく虛傳で榮轉も左遷も全く寢耳に水の大騷ぎ▲昇進した連中も餘りの唐突さに當惑したのは良かつたが▲一寸來いと呼ばれて出廳し、依願免本官と詰腹を切らされ、茫然として歸る途中自動車で人を轢いた者もあれば▲年の瀨越しの苦勞に夫婦鳩首の處へ州外轉勤と辭令が舞ひ込み、旅費手當の數百圓で綺麗に借金を拂つてアイヨと翌日鹿島立ちした果報な男もあれば▲御用仕舞ひのアト一日、轉任挨拶や荷ごしらへで後任者と事務引繼の出來なかつた某々課長等は、二十八日一日仲よく自動車に乘組挨拶廻りの共同戰線を張つて自動車中の事務引繼とスピード時代の離れ業▲保安課の某警部、擬取り仕度に出來上つたモーニングが轉任挨拶用に使へたと初物の喜びで顏が綻びさう

特產

定期後場(鈔建)

▲大豆(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 百二十一車

▲普通大豆(出來不申)
▲豆粕(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 一萬一千二百枚

▲豆油(錠)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 一千五百箱

▲高粱(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 百車

▲包米(出來不申)

現物後場(鈔建)

	寄付	大引
混保大豆(袋入)	六六八〇	六六七八
大豆(裸物) 出來高 三十車		
普通大豆(綫物)	六六三〇	六六三〇
出來高 一車		
豆粕	二二三〇	二二三五
出來高 三萬枚		
豆油	一八四五	一八四五
出來高 三百箱		
高粱 出來不申		
包米 出來不申		

錢鈔

定期後場(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 期近 二百六十四萬圓

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 (銀對金)二十四萬五千圓 (銀對洋)一萬圓

本日聽報を添ふ

滿洲日報

抗爭に暮れんとする支那

本年も早や暮れんとしてゐるが革命支那の政局は依然として走馬燈の如き自己轉換を繰り返してゐるに過ぎない。而して蔣、閻、張の三分鼎立を大勢として有象無象の群小割據が地方の地盤を抱擁しつゝ建設更生への道程を壅塞してゐるものと認められる。この四分五裂、紛亂抗爭を以て明年へと繰り越す、四億民衆の爲には氣の毒千萬と申すの外ないが理論は理論現實の事實は如何とも否定すべからざるものであるから、王正廷氏らの如き故意に自國に盲目であつて、ただ徒らに對外的に近代的國家理論を以て臨まんとするものでさへも、すくなくとも共和民國以來の現實に顧みるならば思ひ半ばに過ぐるものがあるであらうと推測される。われ／＼は好んで支那の現實を暴露し、その支離滅裂の事實を云爲せんとするものではないが、否定すべからざる事實に立脚して支那を觀るにあらざれば支那の自國人士は勿論、われ／＼利害關係の密接なる第三者も判斷を錯誤するの危險に陷るからである。

東山省は別とするも、山海關內の支那中原には並立を許されぬ幾つかの大小の中心が存在する。この幾つかの中心は常に求心的に又は遠心的に相反撥して動きつゝある。而して支那の國民性と地域とは寧ろ遠心力を大とさへ感ぜしめられるのである。今日の如き交通機關と國民の腦裡に泌み込んでゐる地方自治的の情勢を以てしては如何に蔣介石氏らの財力、武力を以てしても中央統制は容易の事業にあらずといはねばならぬかくの如き現實に對して國家的理論といふものが働き、編遣會議となり、外交權の統一といふやうなことになつたのであるが、この中央集權事業として一も成功したのはないのに徵するも、事實として支那の遠心力が如何に有力なるかを知り得べきであらうと思ふ。形式だけは中央政府の首席を以て任じてゐる蔣介石氏は國民政府を背景として、統一といふことに全力を傾け盡しつゝあることに同情すべきものがある。併しながら國家の理論と支那の現實といふものを對照考覈したときに、その骨折りは結局むだ骨折りなることを思はしめられるのである。四億の民衆が五千年來の歷史的惰力から蟬脫するまでに自覺向上せねば近代的國家への更生は望み得ず、その內には新なる國家理論が何れかの國民によつて發見されるやうなことにならぬとも限らぬ。

そは兎もかくとして蔣介石氏は誠に幸運なる漢である。石友三氏の叛亂によつて今にも南京は陷落し、さしもの國民政府も顚覆するの外なしと危ぶまれたが、唐生智氏の不評判やら汪精衞氏の不人氣と不準備、それから閻錫山氏が例によつて首鼠兩端を持してゐた結果として頹勢を挽回し、今日となつては閻氏を凌駕するの聲望は喪失したにせよ、兎にかく國民政府の名目だけを保持して越年することが出來るやうだ。併し何といふても閻氏には頭が上らぬ。その閻氏が、京漢線から津浦線にかけて續々と兵を繰り出しつゝあるは果して蔣氏の術策か、それとも閻氏の野心からかは知らぬが、かくの如くにして支那の中原は一波去つてまた一波といふ自循己環を繰り返すものといはねばならぬ。そして敗退した廣西派、その後張發奎氏、汪氏らの改組派、それから共產派、その他の不平不滿分子は所在に反蔣氣運を包藏しつゝあるのである。これらの分子が明年になつて如何なる政局を支那に捲き起さんとするか、蓋し豫想するさへ出來ぬところである。さしもに幸運なりし蔣介石氏らにしても理論は理論としてこの現實の支那に臨むときに、果して如何なる方策があるであらうか。閻錫山氏のそれの如くただ徒らに和平通電といふやうな極り題目を百萬遍するの外はないのではあるまいか。

東四省は恰も昨年十二月二十九日に例の共和五色旗から青天白日旗に易幟された。併し吾人の評論した如く、その結果は何らの實質的效果を將來することなく、依然たる東四省である。尤も、その間に國民政府は例の長鞭を揮ひ關外東四省の外交權を南京に統一集權せんとして失敗した。張學良氏も張景惠氏らの誤算に誤られ東支鐵道の回收を企て、一擧にして目的を達成せんとしたが、つひに失敗に歸し非常なる屈服によつて問題を落着せねばならぬ結果となつたことは支那側がまだ自國の世界における如何なる程度にあるかを以省ざる輕擧妄動の因果應報とも許すべきであらう。幸か不幸か國民政府の王正廷氏は手を引かねばならぬことになり獨り一交涉員たる蔡運升氏に名を成さしめたのみであつた。尤もこの奉露正式會議の將來が如何になるか、單なる國際會議ぐらゐで複雜錯綜せる露支の關係を解決し終るとは思はれない。何らの機會ある毎に、また例の如く紛糾を起すであらうけれども東四省の治安を維持しつゝ奉天政府としてはすくなくとも故張作霖氏以來の鐵則たる保境息民といふ精神に立脚し關內への野心などは勿論これを抛擲し、たゞ成るべく消極的に中原の影響を處理し、對外問題に善處し以て治安を保維し、蔣、閻、汪氏らの地盤勢力爭奪に無關心なることが最も肝要ではあるまいか。」

露支交涉と兩國の獲物
管理局長の權限縮小は支那側として成功

【ハルビン發】東支問題は完全に原狀に恢復した、こうしたことなら最初から爭はなくてもよかつたことになる、結局支那は多大の犧牲を拂つた丈けで得る處はない、然しこの紛爭が若しも本年度內に於て解決しなかつたならばハルビンは今頃

安靜の狀態 を保つてをれないだらう、支那が內兜をみすかされて遂に軍門に和を乞ふに至つたのは當然の成行であつた、ソウエート政府の外交は最初の主張を一貫して最後まで撤底した

正副管理局を更迭したことは別にソウエートの讓歩ではないこれは支那民衆の希望がさうなつてゐるからこれを容認したまでゝある

とロシヤ側は說明してゐる、これによつて東鐵の大體は

(一)一九二四年の奉露協定によ第一條第六項を愼重し原狀を恢復し理事會を本年度內に開催し東西兩國境の開通聯絡をすると

(二)七月十日呂榮寰督辦が發令した布告以後の採用者は全部解雇し、六月十日以後紛爭のた解雇された勞働者及從業員は復職を希望するものは全部採用し其後の俸給は支給する外、若し退職を希望するものは扶助料、退職手當、俸給は支拂ふ

(三)各課長の就任は七月十日前の狀態を守る

と云ふので唯支那側として從來主張して來た管理局長の

權限問題で あるが、この點は今回の議定書に

人事の缺員補充は管理局及理事會の命令により證認せしめる

とあり、從來管理局長が一切の人事行政を振つて來たのを今後は理事會が承認を與へ初めて實施されることに改訂されたのである、露支協定の一部細目が哈府會議によつて決定し支那側の希望が認められ露支折半の意義が明瞭にされたのである、これは支那としての成功であり、蔡運升全權の其の使命を果した大收穫である、然し其れよりも

內部に多少 の反對者を有してゐる支那が、若しこの儘現狀が續けば東北政權の政治的生命を失ふやも知れない危機に巧に各方面を說得して支那としての面子を保ちながら協定を成立せしめたことは偏に蔡氏の手腕であつたとは認めねばならぬであらう、唯拘禁者の釋放に對し公判に附したものを無條件で釋放せねばならなかつたことはこれも三千の捕虜との交換ならば仕方はあるまい、元來共產黨檢擧の手段が根本に於て支那の錯誤からであつたとすればあきらめねばならぬ、然し支那としては司法權の威信はこれによつて少くとも喪失したことは事實である

神靈療法で日支親善に努力
支那人化して二十餘年 珍らしい日本老人

【奉天發】在滿二十有餘年支那村に入り込み神靈療法を業とし傍ら日支親善に努力してゐる稀に見る日本老人がある內地は靜岡縣に生れ本年六十三歲になる岩井熊次郞氏は明治四十年岩井氏が四十歲の時鄕里から大連に來り翌年遼陽を經て來奉

賣藥行商を 營んでゐたがその中虎石壕を距る一邦里にある大橋村に入り込み同地で行商を營んでゐた、しかる處同地の支那人から好評を受けたのでそこに落付き行商の傍ら神靈療法を研究、之を支那患者に施して意外にも支那村民から多大の信仰を受けるやうな好成績を擧げ今日までに廿有餘年、その間一度も內地には歸つた事もなく親兄弟がどうなつてゐるか判らぬ有樣で、一方大橋村では岩井氏はちやんと支那側の戶籍に入れられ同地は勿論十支里以內は福建省廈門出身日本の醫學校にて勉強すること卅年の老先生なりとして專ら仰がれてゐる、全く

支那人化し たる人である

廿七日同氏は奉天署を訪れたが語る

私は歸つても籍がどうなつてゐるかさへ判らない、一方大橋村では私を全くの支那人なりとして老先生々々々と迎へて呉れるので餘生も同地で送らうと思つてゐる、歲は六十三であるが至つて健康體で九十までは生きられる積りである、渡滿した時は日露戰爭後のことでその當時の日露戰爭の模樣をよく知つてゐる關係上さほどでもないが、その眞意を知らぬ卅歲以下のものは矢鱈に日露戰爭は日本側が惡いやうに解してゐる、私は國のため聊かなりとも

是等若年の 支那人を支那人になり切つて仕業の傍ら善導し日支親善の實をあげることに努めてゐる

匪賊來る！
の想定の下に大演習
―夜の撫順を震撼せる砲煙の幕と彈雨の響―

【撫順發】昭和四年も押迫る十二月二十七日撫順炭礦の各所に約二百名乃至三百名よりなる匪賊團一齊に蜂起し古城子露天掘その他には石炭の大盜團跳梁し、撫順獨立守備隊及撫順警察聯合軍との間に壯烈なる市街戰が惹起されたとの想定により同午後六時より同九時まで三時間に亙る大演習が擧行された、正午頃

◇**撫順警察** より二十七日午前有力なる匪賊團は附屬地歡樂園地帶及び日支境界線たる松田橋附近に集中しつゝあるを以て軍隊の出動を要求し來つたので東守備隊長以下三百の貔貅、警察、憲兵隊との聯合軍は午後五時三十分永安大街派出所前に出動、守備隊軍は五條通以北の地區より警察軍は五條通以南の地區より漸次

◇**攻擊に移** り遂に同七時歡樂園附近に於て匪賊の主力部隊と交戰四十五分、辛くも其殘部約百名は松田橋及び製油工場南方に踏み止まつたが聯合軍は大和公園方面より一擧に匪賊團の本據を衝き亦警察軍は本町松田橋方面の匪賊團を攻擊同八時二十分より八時五十五分に亙る大肉薄戰の結果匪賊團を

◇**悉く殲滅** した、斯くて午後九時壯烈な演習を終つた、山西炭礦長以下炭礦幹部及び全市民は新公會堂に於て大慰勞宴を開催して各部隊の勞を犒らつた

北滿避難民 山東に送還

【奉天發】吉林省政府當局ではこの程各縣に對し北滿方面から流れ來る避難民救濟のため自治費を以て收容所を設けしめ救濟に努めてゐたが、去る十八日から三日間に亙り一千三百餘名の避難民が吉林に到着したので鄕里山東河南方面に送還すべく準備を急いでゐると

交涉署 奉天哈爾賓は從前の通り

【奉天發】支那側各省における交涉署は本年を以て一律に廢止されるが、奉天及び哈爾賓は從前通り特派交涉署を置く事とし奉天は王鏡寰、哈爾賓は蔡運升氏が繼續することになつたと

青島引揚げの邦人增加

【奉天廿八日發電】青島方面の視察を終へ廿五日歸奉せる滿鐵勸業係光井主任は語る

青島は逐年同地を引揚げる邦人が增し今では見る影もないほど衰頽してゐる、故に商工界もお話にならぬ慘狀である、道路の如きも同地を支那側に還付後は殆ど修理せざる狀態で占領當事の華美は失はれ步行さへ困難である、同地の邦商の經營法を調査するに未だ目醒めざる處多く改善の餘地も充分あると見られた

八相

投書歡迎 新聞行數五十行以內のこと 中傷を目的とするものは採らず

豆信株主の陋態
鈴鹿 三郎

寬仁大度にも度合がある、過度の寬容は世の物笑に止まらず時によりては害毒を流すに至るべし、豆信株主近來の態度が即ちそれだ曩には會社に對する橫領の罪に依つて刑罰を受けた者に多額の慰勞金を支出したが＝而かも此問題もだけ彼等の行爲の極小さな一部分だけを摘發したのみで、二百四十萬の大金を彼等商人債務の犧牲にせられて今尙年三分の低利しか付かぬ据置預金に固定し、年額十四萬圓づつの利子損を受けつゝあるのは世間公知の事實でないか＝先頃は其本人を會社の相談役同樣の地位に据へ今又御大の意の儘に動く人を監查役に選任した、一體株主は會社利益の增進を望むのかそれとも其蝕滅を圖るのか一寸見當が付かないやうだ、彼等一味の所謂大株主はそれでいゝかも知らぬが、眞面目な株主こそ可哀そうではないか、此に至つて僕は取引所なり關東廳の監督權なるものゝ效果、威力を疑はざるを得ない、規則を見ると六ケしいことが書いてあるそうだが實績から見て何の監督の實ありやと問ひたくなる、單にこの問題に限らず從來信託會社に對する官憲の所置は頗るなつて居ない、明るい政治を標榜せらるゝ新長官に對して此邊の御稿察を請ひ制裁觀念の痲痺してゐる連中にピリツとした刺戟を與へられんことを切望す

南征雜錄 (70)
難波勝治

富源と其位置

私が案內された三河屋旅館は沙面にあつて、主人山崎君が鄕里三河の國名を附した唯一の日本宿である、君は夙に滿洲に渡航し、新嘉坡、彼南等の各地を轉々したのち、十六年前廣東に來住したが、旅館を開業してからもう十二年、元廣東ホテルと稱して居たのを、二年前沙面に轉居すると共に今の名に改めた、人も知る沙面は

廣東城外 の西南隅にあつて、一千八百五十九年英佛兩國が共同で沼澤を埋立て、一千八百六十二年竣工した居留地である、東西八丁、南北二丁、面積四十四英町步の小區域だが、日、英、佛、獨、米、葡、西等の總領事館は勿論重なる外國銀行、商會、病院、學校など概ね茲に纏合して居る大處で、革國橋の入口で我が博愛會醫院の事務長が殺害され

五千圓入 りの革嚢を奪ひ去られたなど、未だ內外人の記憶に新たな出來事である、廣東在住の日本人は目下約三百八十餘、普通の商賈は市中に散居して居るが居留民會長高田清三郎君は藥種業で成功した人で、既に二十三四年の永い經驗を有する廣東通である

在住者の言によれば日本人の營業は比較的安全で、右の沙面騷ぎの外別に大した迫害を蒙つた事もない、勿論暴動毎に支那人間の爭鬪は相當甚だしく、殊に近來廣西派との政治的軋轢が隙絕え間なく、それが無智の兵士や暴民に掠奪の機會を與へるので、富豪や巨商は

避難準備 に細心の注意を拂つて居る、隨つて商品の仕入にも成るべくストックの餘剩を手控へ、非常時の損害を少なくせんとする傾向が、自然貿易上の繁榮を阻礙して居るそうである、併し何といつても廣東は天下の大商業地で、一旦國內の平和が確保された曉には、その發展蓋し目を刮して見るべきであらうとは、私の會うた人々が異口同音に唱へた主張である、六七十年前まで支那全國中の唯一貿易港であつた廣東は

香港開埠 以來對外商權の大部を奪はれたやうだが、多種多產の背景を有する此地の形勝は、依然として南方支那の雄都たるを失はぬ、約十萬方哩の面積と、三千二百萬の人衆とを有する廣東省が、如何に豐富な利源を包藏する實庫たるかは言ふ迄もない、農產物には米穀、甘蔗、茶、桑、蘭草、煙草、豆類、落花生、胡麻、麻、果實及び各種の蔬菜あり、礦產物には金銀、銅、鐵、錫、鉛、アンチモニイ、石炭等あり、就中曲江縣、花縣及び欽州西部の炭床は

區域廣大 で且つ良質の鑛を得て居るが、未だ何處にも發達した採掘法が普及して居ない、斯く原料品の豐饒なるに加へて工業の進步は實に驚くべき者がある、最も多額な主要品は生糸で、廣東及び佛山附近の小區域から年額四萬擔の大數を產出し、之に次で精巧な花莚は夙に海外に知れて居るが、その他絹扇、葉國扇、綉繡、爆竹、粗夏布、竹器、籐器、陶磁器、象牙器、寶石細工、紫檀及黑檀細工、薄荷油、鰹錠、皮膠、銀朱、刻煙草、麻糸、眞鍮細工、藥品、玻璃鏡、紙類、菓子等殆んど枚擧に遑ない、若し

單に海港 としての貿易額から云へば、廣東の輸出入統計は遙か香港に及ばぬが、集散加工の實際的根柢は到底日を同ふして語る事が出來ない、即ち本省內は勿論、江西、湖南、廣西、貴州、雲南、四川の諸省幾十萬哩の廣袤に亙つて、商賈と商品との往來は一に此の地方が基調となつて居る、換言すれば廣東なくして香港の繁榮を保持すること至難だが、而も廣東自體が特有する南支に於ける經濟的增場は、香港の有無に係らず儼存すると評して好い【寫眞は中山大學】

滿日地方版

奉天

恩賜財團で十五名を救ふ
八名は歸國せしむ

[illegible]

小學生徒が商業實習
休暇を利用して

[illegible]商店（主として市場附近）に商業實習をすることになり、廿五日から夫々年末大賣出しの多忙な商店内に入り込み店員と同樣涙ぐましい努力を續けてゐると

不景氣知らず
カフエーや飲食店 十一月分の賣上高

[illegible]

年末の大賣出し
賣上高は尠い

[illegible]

商議の役員會

[illegible]時より役員會を開き更に午後三時より議員會を開催し左の事項を附議すると

一、日本商工會第二回總會の經過報告の件
二、關東廳より諮問に對する答申の件
三、消費組合問題の件

蜜柑の相場

お歲暮として最も重寶がられてゐる蜜柑は今年も昨年の着荷と大差なく、種類も紀州と雲州が多く相場も小籠四個入一籠が四圓四十錢から四圓八十錢位で、殊に今年は林檎が安いため多少影響を被つてゐる模樣である

強盗は狂言か

廿五日午後二時半頃市内春日町新昌洋行店員鄭浦君が十間房金龍亭前を通行中、二人連の支那辻強盜に襲はれ所持金七十圓を強奪されたとの事で、奉天署では犯人搜査中であるが、尤も同店員は所持金を使ひ込み虛僞の屆出をなした模樣があるので目下取調中である

町の便り

奉天駐劄步兵第卅三聯隊滿期兵四百五十六名は廿六日午後十時四十分發で市民多數見送裡に離奉大連經由歸國の途についた

◇

市內藤浪町八番地鯉沼もとさん[illegible]

御眞影到着

[illegible]

高女から献金

[illegible]

國庫に献金

[illegible]

モーターサイレン竣工

[illegible]

遠征團の謝電

[illegible]

國際列車で戰線突破の記（七）
郊外散策に出て見付けた悲慘事
久しぶりで漬物に舌鼓を打つ
神藏特派員

[illegible]橋の近くに三頭の駱駝が倒れてゐる、一頭は半雪に埋もれ一頭は胴體が眞二つになつた屍であるが、その側に前足が折れて地上に坐つたまゝ身動きの出來ないのがゐる

◇此一頭丈け は生きてゐるので膿血の爲め二、三尺の穴がほれてその中に入つてゐるが背中まですつかり凍つて二目と見られない、吾々の姿を見て身體にも似合はない細い聲を出して懷しそうに首丈け振る、枯草を集めて與へてやるとピーピーと鳴きながら食つてゐた、勞働者らしいロシア人が三人通りかゝつた、彼等は手に乾草を少しづゝ持つて來て駱駝に與へてゐた、彼等の話に依ると赤軍の飛行機が鐵橋を目がけて爆彈を投げ付けた所誤つて

◇駱駝の群に 落ちたのだと、今日まで二十二日間零下三十度の露天にかうして露命をつないでゐるのだと云ふ、戰地なればこそ振り返つて見て呉れるものもない、僅かに通行人の集めてくれる枯草を食つて友の屍を護つてゐるこの駱駝の上に一掬の淚を注いだ、長い滯在中一番困つたのは漬物を用意して來なかつたことである、をまけに野菜はきれるし一同饑渴許りで青くなつてゐた所今日は耳寄りの話を聞いた、それは札免公司出張所の地下室に

◇漬物が貯藏 してある筈だがあれ許りは支那兵も掠奪はしなかつたらふと云ふのである、早速檢分に出掛けるとあるある、大きな樽に一杯ロシア漬が入つたまゝ凍つてゐる、ロシア人を傭つて列車に運び久し振りで舌づゝみを打つた、國際列車が通過する時には當地は從業員以外には一人も居なかつたが今度歸つて見ると住民らしいのがめつきり增えてゐる、今日は支那人の商人が押しかけて開店したと聞いたので早速

◇野菜を買ひ に行く、金儲けの爲めには命がけの支那人のことだからやることは早い、彼等は到着するや否や避難當時巧に匿して置いた雜貨や野菜生菓等を引出して店を張つてゐる一日中に二、三十軒も出來た、それに急ごしらへの飲食店が二、三軒ある、久し振りで支那料理を味はふと相談一決したが兵隊向きの黑い饅頭許りでとても口に合はない

は國庫献金として百圓を奉天署に屆け出た

窃んだ品を馬車で運ぶ
不敵な泥棒

廿六日朝窃盗品を馬車に積込んで逃走せんとした大膽極まる支那窃盗犯が逮捕された、山東省生れ住所不定無職王義令(二七)は廿五日夜千代田通廿七番地硝子商松島商店倉庫内に入り硝子箱を五個（一箱時價八圓重量九十斤）を窃取し逃走せんとしたが、餘りに重いので大西より關り荷馬車一臺を奉票の卅元で雇ひ引返し窃盗品を積込まんとする處を逮捕された、彼は先月一日同店に入り硝子箱四個を窃取し撫順まで運搬して賣却したことがあつたと

◇

廿六日午後七時から總領事館で乾署長、伊藤、片山、菊地各警部のため盛大な送別宴を催した

◇

廿五日午後十一時五十分頃奉天驛中ホームに鐵西方面から馬車を引き込み徘徊してゐる怪支人あるを係員が發見誰何すると矢庭に逃走を企てたので逮捕したが彼は大西關居住李某と稱し廿四日夜浪速通大星ホテル前にて荷馬が放置しあり看守人なきを機として之を窃取し皇姑屯方面に逃走した廿五日午後十一時頃大西關に歸宅の途中道に迷ひ奉天署構内に入り込み遂に逮捕されたものであると

◇

太田前地方事務所長の送別宴は二十五日午後六時から社員俱樂部で滿鐵出入記者主催の下に催された藤曲氏は記者團を代表して送別の挨拶を述べ之に對し太田氏の謝辭あり直に宴に移つたが約四時間和氣藹々裡に名殘を惜しみつゝ散會した

◇

二十六日午前十時半頃小西北關小寺洋行店員楊景亭(二〇)は小西關支那郵便局内で滿洲銀行の小切手二百圓を紛失したと

◇

廿七日午前二時頃青葉町張震東方から出火し大事に至らず消し止めたが原因はペーチカ、損害は約三十圓

◇

日本人利用の詐欺事件があつた 二十六日午前十一時半頃十間房第五區金某方に自分は日本人内のボーイであるが、煙草を買ひたいから屆けて呉れと云つたので同店員は煙草十二箱價格廿八圓を怪支那人と共に紅梅町十二番地山崎方に來り只今主人は東拓に出勤して不在中につき代金は東拓で支拂ふからと詐稱して該品を捲き上げ逃走したがこれに類する事件が先月から既に九回に達してゐる

◇

廿六日夜八時十五分着の上り列車に一名の賊が乘り込んだとの文官屯よりの急報により奉天署では直に驛に手配し同列車が到着するや否や車內の大搜査を行つたが遂に發見するに至らなかつた

人事

▲川邊奉天鐵道事務所工務長 廿六日撫順へ
▲庵谷奉天商議會頭 廿九日歸奉の筈
▲乾武氏(奉天署長) 地方警視に榮轉した同氏は廿六日各方面を歷訪挨拶を述べた
▲片山同警部 廿六日各方面關係筋を歷訪し辭任の挨拶を述べた
▲小倉新任奉天地方事務所長 二十七日急行にて着任
▲伊藤留太氏(警部) 三十日二十時半發列車で赴任
▲山本繁雄氏(警部) 同上
▲菊地德三郎氏(警部) 三十日十六時四十分發列車で赴任
▲蔡運升氏 二十七日夜來奉
▲李紹庚氏 同上
▲イズマイロフ氏 同上

開原

驛貨車ホームに砲臺を建設中だ
＝山東通江口方面で＝ ◇途方もない流言◇

東山地方乃至通江口方面より當開原附屬地に來る者の語る處によれば開原附屬地アジア製粉會社內に兵士收容所を設け又遼陽より工兵一個中隊來開し開原驛貨物ホーム內に盛に砲臺を建設中にて貨物ホーム內には支那人の出入を絕對に禁じ極秘裡に其工を急ぎつゝありとの排日的流言が盛に流布され居る爲め眞否を見聞に態々來開する者があるといふ爲めにする者の流言か支那側の政略的流言か判明せぬが荒唐無稽の流言蜚語ではあるが東方地方より開原への特產出廻りに影響する處大ならんと

元旦の行事順序
拜賀式は開原校にて

一月一日の諸行事は左の如く決定した
▲午前九時 教化聯盟の國恩感謝デーとして開原神社々頭に國旗を掲揚し君ヶ代を合唱皇居遙拜神社拜禮を行ふ
▲同日午前十時 開原小學校講堂にて四方拜拜賀式擧行
▲同午前十一時三十分 公會堂にて新年互禮會擧行

歲末大祓式
開原神社にて

開原神社にては三十一日午後七時大祓式を嚴修さるゝに付氏子多數の參拜ありたいと尙本年は神職未決定の爲め前記大祓式を行ふのみにて除夜祭及び元旦四方拜は行はないと

御用納め

當地多官公衙は二十八日、地方事務所は三十日午前中を以て御用納めとなる

乘合自動車開通

通江口在住吳振三、汪祉豐兩氏は合同で通開長途汽車公司を設立し二三日中に開原通江口間の乘合自動車を運行する事になつたが當地扱店は開原大街同義棧內、賃銀は片道現大洋一元四角、出發時刻は通江口發午前七時及午後一時、開原發午後一時及午後三時三十分の各二回宛なりと

迫田巡查逝去 開原警察署巡查迫田彌之進氏（原籍鹿兒島縣揖宿郡今和泉村利永）は過日來滿鐵醫院に入院療養中の處二十七日午前四時永眠葬儀は二十九日午後一時自宅に於て執行すると

旅順

山根病院長朝鮮に轉任
後任は九大の渡邊博士

旅順關東廳病院長山根博士は朝鮮總督府大邱醫院長に轉任することゝなつたので、かねて其後任を物色中であつたが中々適材を得るに困難した結果、山根博士自ら內地に赴き折衝の結果、九州醫大內科の臨床大家渡邊信吉博士が來旅することに內定した、渡邊博士は明治四十三年の九大出身で大正十一年より十四年迄私費海外に留學、研究を積み其間博士となつた內科の權威者で外科には加藤博士あり今又內科の權威者を得て關東廳病院の完璧を期し得るであらうとて關東廳當局者は喜んでゐる（寫眞は轉任する山根院長）

小兒科醫長

腸チブスの爲め旅順療病院に入院中の旅順醫院小兒科醫長田中利雄博士は昨今全く快復期に向つたが尙充分の靜養を要する爲め今回朝鮮總督府醫院より醫長として玉置周介氏が來任する事と成つた

ボーイの盜み

旅順管內柏嵐子生れ當時市內吾妻町二九渡邊盛夫氏方ボーイ祖者富(一七)は去る二十六日午後一時頃家人の不在を奇貨として主家の金六十三圓を窃取し其上御丁寧にも蒲團迄擄つ拂つて同日午後三時頃市中の友人を訪れ一寸大連へ行つて來ると云ひ置いて逃走したのを渡邊氏歸宅後判明し早速旅順署へ屆出たので大連を始め各署へ手配した

撫順

寒風荒ぶ滿洲から花の東京へ榮轉
二十餘年に亘る滿洲生活に名殘を惜む大林署長

滿洲から前例へと前例なき榮轉を見た大林警視は東京下谷警察署長に補せられ明三十日撫順出發大連で滿洲最後の年を越し三日の豫定である、二十七日午後旅順より歸つた許りの同署長を訪へば碎けたモーニング姿で語る

撫順はたゞ一年半位だつた二十有餘年の滿洲警察生活からお江戶の眞中に飛込むのは愉快でもある一面亦滿洲を去り難い氣もある、榮轉とか左遷その如き詞は治安維持の大任に當る吾々警察官の問ふ處でない、要は最善を竭して職務に殉ずるのみだ隨分撫順の人々にも御世話になつた、貴紙を通じて官民各位に何とぞ宜敷くと

尙氏の在任中の枚擧に遑なき功勞を永久に記念すべく炭礦、實業協會、署員記者團その他官民聯合で記念品を贈呈する事となつた

轉任警官離撫

多年功勞あつた大連熊谷、鞍山山本、安東北星、安東小澤の各警部補は昨二十八日それぞれ赴任したが驛頭は見送り人で埋めつくした

端麗な紳士
寺田新署長

新任撫順警察署長寺田良之助氏は明三十日午前八時二十分着任の筈であるが、氏は廣島の人、大正十四年まで內地官界で洗煉された貴公子肌の警察官には惜いやうな瀟洒端麗なゼントルマンであると尙明三十日午前撫順署に於て兩警視は事務引繼を行ふ筈である

長春

州內轉勤で大喜び
署長以下三氏

今回の關東廳大異動に依つて長春警察署からは中尾署長が水上署長に、田中警務主任が衞生課に、田上司法主任が貔子窩に揃ひも揃つて州內に榮轉すると云ふので三氏共大喜びである、中尾署長は語る

僕は在勤一年半だが先づ大過無かつたのは何よりである、今後轉勤する田中、田上兩君とは當地に來る時も亦一緒になつた、水上は未だ無經驗だが長春に比して仕事が丸で方面違いだから當分勉強せねばならぬ

尙中尾氏は自他共に許してゐる名太公望なので、今から樂しみにしてゐる

石井署長着任

新任長春警察署長石井警視は二十七日午後一時十分着、就任した

南行貨物
減切り減少

長春驛重滿北滿貨物の南行數量は東行杜絕の影響を受けて一時は六百車にもとどく盛況であつたが、最近露支交涉成立の曙光が見えたので外商側大手筋には東行開通を見越して發送を見合せてゐる向も相當あるらしく、早くも昨今南行數量に著しい減少を示し一日二三十車程度となつた

クリスマス夜會

當地ヤマトホテルは恒例に依り去る二十五日夜クリスマス夜會を開催したが盛況であつた

安東

多事を豫想される鴨江上の氷滑界
各種大會が開かれる

漸く鴨綠江も凍結し數日前より橇も通ひ出したので大小のスケーターは毎日の如く猛練習を續けて居るが安東スケート部では二十六日午後二時から地方事務所會議室に於て本冬のスケジュルを決定したスケート場は鴨綠江鐵橋下手を使用し昨年同樣五百米突のセパレートコースを造る事となり二十七日より工事に着手した今年は昨冬の如く全日本大會が無いので幾分寂しい感がするが州外中等學校選手權大會が安東で開催され一月中旬には安東大會、二月二日には滿鮮大會が開かれる筈で相當多忙を極めるものと見られてゐる尙本年活躍を期待されてゐる安東選手は左の諸氏である

▲スピード 木谷、石原、大澤、小山、鹽谷(猛)、鹽谷(綠)、吉岡、宍戶
▲フイッギヤ 成瀨
▲アイスホッケー 上原

足拔娼妓が縊死す
情夫の宅で

二十三日午後一時半頃鷄冠山南町滿鐵社宅八號ノ一初取卯三郎方の六疊の間に於て本溪湖旭町料亭老松樓方抱へ妓娼婦菊松事渡瀨キヨ(二九)が家人の留守中針箱を踏臺にしてランプ掛の針金に兵兒帶を掛け縊死を遂げた同女は原籍佐賀縣神崎郡千歲村で四年前々記老松樓方に抱へられ初取が本溪湖の方に在勤中深い仲となつて居たが初取が十一月三日鷄冠山に轉任を命ぜられたので本月七日頃より樓主に無斷で初取方に來り夫婦氣取で暮して居た[illegible]二十三日には初取の留守中決行したもので、安東署より係員出張檢視を遂げたが自殺の原因は一切不明であると

公設市場の營業時間

安東公設市場の歲末大賣出し及び新年仕事始めの營業時間は左の如くである
▲歲末大賣出し 二十六日より二十八日迄（午前七時—午後十時）
▲二十九日より三十一日迄（午前七時—午後十二時）
▲正月休業日 一日三日兩日間全休
▲二日午前中營業

安義巷信

四日より平常通り營業すると 僅か一萬足らずの邦人が住む新義州は最近カフエーの續出でスミレカフエーに續いて櫻町遊廓の中にカフエー銀座が進出しこれでカフエーと名のつくのが九軒約十軒に達した朝鮮の一番端に來てゐる爲めでもあるまいが皆んな金離れがよく全部相當の成績をあげてゐるらしい、各店でも美しい所の女給數名を置いて此處嚮くは赤い酒、青い酒の戰中でも代表的のは蝶々カフエーの朝子グリーンのミドリキングの志津子赤切符の靜子▲それに本年開催の朝博に出張して新義州にこの女ありと知られた千成のシーちやん▲新義州球界で顏の賣れてゐる道廳會計の中川柳治君今度の異動で任官して義州郡と言ふとても田舍に追ひやられるらしい任官したのは好いが飯より好きな野球が出來ないとこぼしてゐるとの事野球では何時迄も生活して行くのは難しい好漢野球よりパンが大切だ自重して呉れ▲平北道廳居殘りの頭株今度の大異動でやれ送別會、それ歡迎會それに二次會三次會がたゝつて給料の大半は宴會費でとられて新年を控えて豫算がはづれたとこぼしてゐるエライ人がおる相だ▲行く人。來る人はよいが後に殘つて送迎をする人はなんぼつらいかと言ふ所だ▲今年は緊縮、緊縮で世間は不景氣でこぼしてゐるが今年は憲兵隊長の職にある人々にとつても惡い年らしい▲數ヶ月前には安東憲兵隊長の奧さんがなくなられるし最近は新義州憲兵隊長の奧さんが餘程の重態らしいとの話ほんとに御心配であらう今年の樣な年は早く去つて終へと言ひたくなる

熊岳城

教化聯盟にて實行項目を決定
二十七日の協議會

先般成立した熊岳城教化聯盟では早速實行大運動を起し、二十七日各委員各顧問は午後七時より滿俱日本間に集合協議の結果實行第一に依る要目を決議し、各町內受持委員は各家庭に向つて左の實行を促進する事になつた

第一段の實行事項

熊岳城居住民は日本國民たる自覺を喚起せられよ

一、我家は日本國民たるを表徵として必ず國家の祝祭日には日の丸の國旗を立てませう

二、信仰は自由たるべしと雖も日本國民たる自覺のある人は必ず皇祖天照大神を家內に奉祀し每日は能はぬまでも國家の祝祭日又は月初めには一家悉く禮拜しませう

三、日本國民たる自覺を持つ人は小學校に安置せられた（熊岳城居住民のために下賜せられた）御眞影の拜賀式(三大節等)には各戶主は必ず自發的に參列し御眞影の前に低頭して御互に國恩を感謝しませう

一番手取り早く然も一番急務な實行案で一、の國旗の無い家が尠からぬ滿鐵社員側に多く全戶數の三分の一たる五十戶からも有つたといふ報告に一同驚いた、神棚の無い家も相當多いらしい

貔子窩

城子疃が寂れ于家店が發展
速に對策を講ぜよ

城子疃市民は支那官憲の重税に依り復州莊河と云ふ大半の顧客を失ひ次第に窮地に陷り、此まゝ推移せば折角金福線の開通と共に發展しつゝ來た同地も遂には沒落の浮目を見ねばならぬ狀態に在るが、一方城子疃市街續きの復州管內に屬する于家店は之に反して益々發展し從來稅金の關係上酒煙草の販賣者が其半を占めて居たものが、昨今では日用品其他凡てが同地に集中し一商店の一日の賣上げ百圓二百圓と城子疃商人に反比例し將に第二城子疃を形成されん狀態である、或る有力なる同地支那人には之が對策として竊に暗中飛躍を試みて居る者もあるが、當局者としても之が對策は目下の急務で只に城子疃市民のみに止まらず金福公司の社業其他大連方面との取引にも影響する處少からず、一日も早く之が對策を講じ一般の安福を圖られん事を望んでゐる

モーターカー運轉休止

通學兒童及一般の便宜上六月より城子疃午後三時三十分貔子窩午後四時半發モーターカーは昨今の寒氣の爲め客車を運轉してゐたが通學兒童も休暇になつたので本月廿五日より翌年七日迄休轉する事になつた

遼陽

滿期兵母國へ
多數の見送を受けて 二十七日朝出發す

遼陽駐劄步、工兵隊の滿期兵三百十七名は松村大尉に引率されて廿七日午前八時五十分發列車で出發した、驛頭には松井師團長を初め師團幕僚步工兵將校下士、山崎副領事、長山署長、見坊所長、福永局長、小學校生徒、在鄉軍人其の他官民多數の見送りがあつた

兩氏に記念品

遼陽警察署の主任警部であつた森彰一郎、貔子窩署に榮轉した中村警部補兩氏に對し警察署係友會から記念品を贈呈したが森氏に對しては在任者の有志からも近く記念品贈呈の計畫があると因に中村警部補は廿八日夜行で赴任した

國庫へ献金

遼陽青年同志會代表瀧川嘉一郎氏は金卅一圓五十五錢を、小學生山崎司郎氏は現金二圓五十錢と復興債券十圓とを國庫へ献納した

荒木氏追悼會

遼陽機關區在勤員であつた荒木初次氏が昨年の本月廿七日白塔寮燒失の際慘死して一周年に相當した當日正午から機關區員は西本願寺に於て懇ろなる追悼會を催した

鞍山

餅を贈る
濟生會から貧困者達に

鞍山濟生會では年末に際し貧困者に餅を贈る事となり、二十七日鮫島同會幹事之れを持參の上懇ろに慰問する處があつた

警察の各係決定

鞍山警察署では今回の異動に依つて現井上司法係主任が保安係兼衞生係主任に轉じ、司法主任には撫順より來任する山本警部補、上野氏の後任には旅順より來任の西內警部補に決定した

上野氏赴任

警部に昇進大連水上署に榮轉の上野善淸氏は多數官民の見送りを受け二十八日午前九時二十三分發列車で離鞍した

岡前理事
別れの挨拶

岡元滿鐵理事は歸國の途次二十七日來鞍し製鐵所應接室に於て在社中の挨拶を述べたが、千秋所長惜別の答辭を述べ續いて水津八木吉川氏等がこもごも語るにいゝく感極まり眼には淚さへ浮べ一言の挨拶も出來ない有樣で一同は無量の感に打たれた、岡氏は滿鐵に二十有餘年間勤めた中で鞍山が一番思出の深き所であつたと語り、官民多數の見送りを受け午後三時九分發急行で離鞍した

中木氏送別會

廣島縣人會有志は中木三次氏のため二十七日午後六時から柳町一樂に於て送別會を催した、尙同氏は來る一月五日午前九時十五分發で離鞍朝鮮經由歸國すると

上野警部赴任

鞍山警察署高等係主任上野警部補は既報の如く警部に進級し、二十八日午前九時二十七分發列車で官民多數の見送りを受け任地大連に出發した

大石橋

寒稽古
柔劍共に來月八日より開始

當地柔道界は三段阿部官三氏一昨年來任以來熱心指導奬勵に努めたる結果沿線中屈指なる柔道部として知らるゝに至つたが更に將來の發展策を講ずると共に寒稽古を正月八日より始むる事に決定した、尙劍道部も秋葉三段熱心指導の任に當りつゝあるが柔道部同樣寒稽古を始むるとの事である

飯盛部長送別會

撫順警察署に榮轉の飯盛部長のため同僚一同昨夜三吉野に集合し送別宴を開催盛會を極めた

兩巡查入所決定

當地警察署勤務兇鄕芳雄吉田兵衞の兩氏は豫て高等科生試驗に合格して居たが愈々二月五日入所に決定した旨其筋より通知があつた

第八回 滿日勝繼碁戰（乙部三回戰）

先二先番 瀧田俊介氏 乙部 [illegible]男氏

イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタレソツ
一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九

二百三手終り瀧田氏(四目勝)

●二〇一リ十九 〇二〇二ヌ十九 ●二〇三ヘ十三

▲國崎四段講評 黑七は白六の手を以て(い)に掛かりしときの常用手段にして本局の如く二間高掛の場合は九に受くるをよしとす從つて白八綴し直に一五に頂くべし黑(ろ)より綽ぬれば一四に引き黑(は)となりしとき其形を見よ白六の手(に)にありてこそ高目の定石に復し其勢ひ互角なれど六と一路進みたるだけ白の方優るべく又白一五と頂けし時黑一四より綽ね出さば白一六黑一七白(に)黑(ろ)白七一黑(は)白(ほ)黑(へ)白七〇黑百九十五となりて同じく黑の方惡し黑一三は對隅白十の大斜走締りなれば三三に控ゆるを定石とす白一四一六は時機尙早し單に一八に打込むべし黑一九はとより詰め白(ち)黑六一白百七十一黑(り)白(ぬ)黑(る)白(を)のとき黑も〇印に飛び百四四の打込みを狙ふ方優るべし白卅二貪れり三五に伸びざるべからず黑三三大に緩し無論三五より綽ね白三六のとき烈しく一九四に二段綽ねすべし變化多々ありと雖も黑の外勢壯厚を來すこと必然にして形勢黑に歸せしならん白四六は百十一に添ひ黑百十五白百十四と打つ可し圖に比して遙に優るものあらん白四八還筋にして大にあし百五十一を本筋とす黑四九は直に五六に入るべし普通の如く白(わ)に受くるとせんか黑は百五十一に頂け百五二の出と他方五三の突當りありて白如何ともなしがたく白又(わ)の手を以て百三十に打たば黑は五三白五四黑百廿三白百十九黑五五白百二十二黑百廿一黑(か)黑百廿七白(よ)黑(た)白百八一黑(れ)となりて是亦黑の方大に宜しかるべし白五六大に緩し此際百廿二に粘ぎ先手をとり目下唯一の大場たる(そ)の邊に打つに非ざれば大勢におくるゝを如何せん黑五七は百九に打つべく白六〇は(そ)に打たざる可らず黑より六七と詰めらるゝに及んでは大勢白を去りたりと謂ふべく以下白奮鬪大に勉めたりと雖も黑亦好く應戰し遂に四子を殘し得たるは賞すべし

美顔

精良無比の化粧料

特殊の白粉と…美容成分により
お化粧が殊にた易く手早くでき、そして殊に清新に美しくできる事、此二つの作用を合せ備へ、科學的優秀な白粉として評判の白色美顔水！

白色美顔水

彌々ますます評判です

お化粧の節約ニう！

―これだけは必ず出來る―

お化粧に使用する品數の節約に就て

―一種でも出來る仕方―

世の中に馬鹿安い物は無いとか申します。これは掘出し物だと飛附くやうにして買つて來た反物を調べてみると、どこかに瑕があつたり尺が少かつたり…、まさか然ういふ物ばかりでもありますまいが兎に角すべて節約は同時に必ず得である、とは言切れません。が併しまた考へてみますと、節約しても何等差支へないばかりか、却つてその爲良い結果を來す事も少くないものです。日常のお化粧に就ての節約などもその一つでございませう。先づ皆樣は

化粧品を幾種位御使用てすか？

勿論その方の地肌の狀態などから一樣には申せませんが、併しお化粧こそは、品數を多く使へば使ふ程よい、と云ふものでも無い事の一つでございます。殊に御注意を要する事は、お化粧に

品數を餘り多く使ふといふ事は

また顔をいぢり過ぎるといふ事で、そのため皮膚を虐待して早く疲らせ、年齡から來る容色の衰へを一層速める結果になりがちのものであります名妓と唄はれたやうな人で、少し年がいくと殆ど昔の面影のない程になる人のありますのも、斯ういふ事が原因の一つになつてゐるものと申せませう。で、お化粧は、どちらかと言へば出來るだけ化粧品の品數を少く使つてするのが皮膚のため殊に容色の長生（へ年とつても中々容色の衰へない）のためにも宜しいわけですが、けれども

少しの品數で良いお化粧を

するといふ事は可なり六かしい事で、餘程品質が優れ、その目的にぴつたり適合して出來てゐる品をお選びにならねばなりません。此の點から申しまして、最も適當なものとして「美顔」の白粉並びに化粧品をお勧め申し上げたいのです。先づ實例により

一種て美しくお化粧てきる仕方

から申しますと、精良な化粧水を兼ねた白粉として知られてゐる白色美顔水でしたら、皮膚のために極めて良い美容成分―皮膚を活々と美しく整へる成分―と、化粧力の優れた白粉（勿論純粹無鉛）とで出來てゐますから、白粉が安々とお化粧上りの白さが飽く迄清く美しく、これ一つだけで氣持よくお化粧できます。序でに申しますが、

▼色の白くない方及び脂肪性の方

は白色美顔水の代りに肌色美顔水をお用ひになる方が一層適切です。と申しますのは、肌色美顔水は大體の性質は白色美顔水と同樣ですが、特にお化粧の實際方面から研究を重ねて造られた肌色味を含むといふ違ひがあり、この肌色味の作用によつて色の白くないのが自然に隱れ、脂肪のわる光を消し、生地から白いやうに淸く美しくお化粧が出來ますからです。尙ほ相當御年ばいの方や餘り眞白すぎないお化粧をお好みの方にも「肌色」の白さの具合が丁度適してゐます。この「肌色」とそれから「白色」の用ひ方は

▼非常にお急ぎの場合てしたら

顔を洗つた後、數滴を掌で顔中万遍なくよく撫でるやうにして附けて戴きますが、若し少し餘裕がありましたら刷毛を用ひ、餘り濃くない所を刷毛に含ませて塗り、一寸乾くのを待つて今一度塗つて戴ければ、前の仕方でするよりは一そう美しくお化粧ができます

二種三種でする美しいお化粧に就て

前には一種でするお化粧に就て記しましたが、元來一種でお化粧をすつかり仕上げるといふ事は概して言へば特別の場合（大急ぎの時とか極く〜輕いお化粧の時）にする仕方ですから、以下、本當のお化粧らしい仕方として先づ

二種てする美しいお化粧二三を

申しますと、二種になると種々の取合せも出來、お化粧の趣きにも幾分違ひが出來て參りますから、御自分にヨリ多くお似合ひになる仕方をお選び戴きたうございます。

〔一〕

化粧用美顔水で美顔（煉）白粉を溶いて附けます。斯うしますと非常に美しく附き、保ちも殊に確かです。（塗り方は成るたけ薄く溶き、附けた後を牡丹刷毛で押へ、乾くのを待つてまた塗るのがお化粧を一層美しく保ちよくする仕方です。又白粉を化粧用美顔水で溶きますのも同じ意味からで、此の仕方が多く行はれてをります。）

〔二〕

美顔クリームを極く薄く万遍なく延き、よく皮膚にすり込んで、その上から美顔粉白粉をパツフに十分に含ませて刷き附けてから、浮いてゐる白粉を牡丹刷毛で拂ひ落します。これは誠に優しみのある高尚なお化粧です。

〔三〕

白色美顔水（又は肌色美顔水）を前に述べたやうにして附けた上へ、美顔粉白粉（又は肌色美顔粉白粉）を刷き附けます。

美顔粉白粉は〔二〕のやうに粉化粧に用ひられると共にまたお化粧の仕上げにも用ひて

▼お化粧に柔かみ温かみを出し

一層美しく一層保ちをよくします。尙ほ美顔粉白粉には純白と肌色と二種ありまして、肌色の方は矢張色の白くない方や脂肪性の方、御年ばいの方などに多く用ひられます。

以上に記しました外にも尙ほ種々の仕方がございませう御自分にヨリ多く適するやう御工夫をお勧めいたします。次に

三種てする立派に美しいお化粧

の例を二三申し述べますと……

〔一〕

化粧用美顔水をガーゼの小片に含ませて頸から顔をよく拭き、頸には美顔の固煉を化粧用美顔水で溶いて附け、顔は美顔（煉）白粉を同じく化粧用美顔水で溶いて附けるか或は白色美顔水又は肌色美顔水を用ひます。

〔二〕

化粧用美顔水で拭いた後へ美顔粉白粉を刷き附け、美顔白粉（煉）を淡いめに溶いて頸には三度くらゐ、顔には二度位繰返して附け、その上へまた美顔粉白粉を刷き附けます

〔三〕

化粧用美顔水で拭いてから前に二種でする粉化粧の所で述べましたやうに美顔クリームをよく摩込んでから、美顔粉白粉をパツフに含ませて頸から顔へ万遍なく刷附け、牡丹刷毛で浮いてゐる白粉を拂ひ落します。鼻柱などの他の部より濃くしたい所は今一度繰返して刷附けます。

此仕方の御注意はクリームを平均してよく摩込む事ですクリームの附き方に厚薄がありますと折角のお化粧が斑になりがちのものです。總じて

▼丁寧なお化粧には四五種或は五六種

も化粧品をお使ひになる方も多いやうですが、そんなに迄なさらずとも、右に述べましたやうに（勿論御銘々の工夫によつて外にも種々仕方があるわけですが）三種ぐらゐの品數で、美しさといひ保ちといひ、立派なお化粧も出來ます事を御記憶願ひます。

化粧時間の節約

―これて可なり違って來ます―

平生のお化粧は申すまでもなく、たとへ餘所行の丁寧なお化粧にしてからが、餘り手數や時間が掛りますやうでは種々お差支への起ることもあり、第一そんなになさらずとも仕方によつては手早く迅速に出來ますもので、これは時間の節約から申しましても可なり重要な事と申せませう。

手早く美しくお化粧をなさるのには、優秀な白粉並びに化粧品をお選びになる事、それから常に皮膚をお化粧し易い狀態に美しく整へておく事この二つが必要です。先づ

手早く美しいお化粧の實例

としましては、先に一種及び二種でするお化粧の所で述べましたやうな仕方は、單に化粧品の節約といふだけでなく同時にまたお化粧が非常に手早く迅速にでき、且つ清新に美しく上る仕方です。

三種でするお化粧となりますと、これは相當入念のお化粧なので幾らか手數も多いわけですが、併し取立てゝ言ふ程ではなく、丁寧なお化粧としては極めて手早く短時間で出來て終ひます。

それは「美顔」の白粉は何れも非常に附き易く出來てをり―勿論何れも純粹無鉛ではありますが―そしてお化粧上りの白さが純な、無垢な、秀でて美しい白さで、生々したツヤを含んでゐるからです。殊に白色美顔水と肌色美顔水とは特殊の白粉と美容成分とで出來てをり

▼若さを保ち地肌を美しく

整へる作用をも備へた白粉なので、特に用ひ易く、手間暇いらずすら〜と、清新に美しいお化粧が出來ますのですの時は、「美顔」の煉や固煉をお用ひの時は、化粧用美顔水で溶けば同じ樣な作用があります。けれども皮膚の美しく整つてゐない方は、お化粧が兎かく早くも美しくも出來にくくて時間が掛り、また少しの品數ではお化粧のでき兼ねるものですから、先づ

皮膚を美しく整へる方法を

お考へになりますのが、お化粧節約の根本でございます。で、然ういつた効果の優れてゐる化粧品に就て申しますと

〔一〕化粧用美顔水。これはお化粧の下地や白粉の溶き水として使はれると共に、入浴洗面後等に常用なさいますとキメを細かに、ツヤを良くし

▼垢ぬけして美しい素顔に

なります等、美容効果が殊に優れてをります。

〔二〕美顔ユーマー。これは乳白の濃厚美容液で、男子方も顔そり後などにお用ひになります。皮膚を滑らかに軟やかにし、生地を整へ、ツヤを良くいたします。

〔三〕美顔クリーム。これもお化粧の下地に用ひられますが又荒れ止めに殊に有効なクリームとして知られ、皮膚の榮養となり、地肌を整へる力が優れてゐます。

〔四〕美顔洗粉、これは純良な中性脂肪と蛋白質を程よく含んでゐますので、決してお顔の荒れる心配のない、お顔の爲一番の洗顔料です。

〔五〕にきびとり美顔水、これはどなたも御承知ですが

▼頑固なニキビ吹出物にも

奏効確實なので有名です。また美容水として常用なさる方も多く、皮膚、素顔を美しくするので賞用されます。脂肪性の方には殊に適します。

斯ういふものの中から適當に選んでお用ひになりましたら、皮膚の美が養はれ、お化粧のし易い地肌になり、多種多樣の品々をお用ひにならずとも、常に手早く短時間で、清新に美しいお化粧が出來るやうにお成りになります。

美顔

科學的優秀の名ある化粧料

▲上品なこい化粧に……　美顔白粉
▲お化粧の仕上げに……　美顔粉白粉
▲白粉のトキ水に……素顔の美しさに……　化粧用美顔水
▲顔色を美しくする……　美顔ユーマー
▲お顔の爲一番よい……　美顔洗粉
▲にきび治すに……　にきびとり美顔水
▲荒止めと皮膚の整容に　美顔クリーム
▲純化粧用石鹸……　美顔石鹸
▲清新な御化粧に……　白色美顔水
▲上品なえり化粧に……　固煉 美顔白粉

色の白くない方の白粉

肌色美顔水

―あぶら性の方や―
―年ばいの方にも―

色の白くないのが自然にかくれ…
脂肪のわる光も消え……
生れつき色が白いやうな白さに…
上品にそして清新な……
落附いた美しいお化粧が出來ます

色の白くない方あぶら性の方に　肌色美顔粉白粉

▼桃谷化粧品研究所創製▲

美顔クリーム

―あなたの皮膚を美しくする―

―荒れ止めにも無類―

日曜ページ

正月になくてならぬ お餅の榮養價値

日本人が作つた合理的な食料

醫學博士 佐伯矩氏談

お正月には何處の家庭でも餅をたべる風習が昔から行はれてゐる。餅を食べなければとしが取れないかの樣に云はれてゐる。それ程お正月と餅とは切りはなして考へられない位であるが、扨その餅は榮養的に見てどんな效果があるかと云ふ事をその分析の結果によつて述べませう。先づ食物は榮養素を多分に含んでゐると同時に、消化吸收が良いものでなければいけない。それで餅の消化吸收の工合を調べなければならぬ。元來餅はおこはにした糯米をむしてついたものであるが、搗きつぶした結果どんな效果があるかと云ふと

消化吸收率(百分中)

成分	餅	おこは
蛋白質	八五・二	八一・五
脂肪	九二・三	九〇・五
含水炭素	九九・七	九九・六
無機鹽類	九〇・六	八九・四
總カロリー	九六・三	九四・四

此の表によつて判る如く、おこはが餅になると蛋白質や脂肪その他すべて消化吸收率がよくなることを示してゐる。同時にカロリーも多くなることが判るつまり吾々が口で咀嚼しなければならぬ處をすでに杵が咀嚼してゐる事になる。それでは普通の米飯とは成分に於て如何なる差があるかを調べると

米飯と餅の比較

成分	餅	米飯
粗蛋白	七・一	三・二
粗脂肪	〇・二	〇・一
粗含水炭素	六二・〇	三三・三
無機鹽類	〇・一七	〇・一七
(百分中)		
粗蛋白	二六・三	一二・〇
カロリー	一〇・二	五三・一

即ち蛋白質でも、脂肪、粗含水炭素、その他すべて勝るとも劣らぬ榮養價を備へてゐることを示し特に粗蛋白及粗含水炭素の如きは正に倍でありカロリーも亦餅の方が倍に及んでゐる事が判る。これによつて餅は我が日本人によつて考察された食料品として最も合理的に作られたものと云へるのである。米食の儘保存するよりも餅として保存すれば再びにる必要がなく、只やきさへすれば食べる事が出來る。そしてなほ相當長い時日の保存に堪へ得るので甚だ便利な食料品と云へる。何れにしても食料品は榮養素を充分に含んで居ると同時に、消化吸收率の高いものでなければ結局效果が少い譯であるから、吾々が愛用の米飯も亦此の點を考へなければならない、そこで次に麥米の精白度と消化吸收率との關係を次に示さう

種類	含炭	無機	蛋白	粗脂
玄米	九八・六	七七・九	七四・八	五六・二
半搗	九九・二	八四・三	八一・九	七四・三
七分搗	九九・五	八〇・三	八二・九	八〇・四
精白米	九九・六	九〇・八	八五・八	八〇・八

即ち右の如く、玄米、半搗米、七分搗米、精白米の四種を比較すると勿論精白に近い程消化吸收の良い事が分る。之は糠が不消化物であるからによるが、最近問題とされて居りすでにその榮養價値を認められてゐる糠を除き去る事は最もよくない事として玄米食が稱へられ、半搗、或は七分搗が奬勵される樣になつたものである。之は試みに良い傾向を云ふ可きであるが、自分の主張する七分搗米が何故最も有效であるかと云ふことはすでに發表した事でもあるから、茲には詳細な説明は略するとして只七分搗米は消化吸收率は玄米及半搗よりもよろしく、それがためたべやすい事、次に精白米の失つてゐるヴイタミンB或はその他有效成分がなほ保存する事その他によつて七分搗を最もよしとするものである。なほ七分搗とは云つても砂を混じて搗いたものは、自然淘洗の必要がありその際糠を洗ひすてることになるからその損失も考へなければならない。そこで無砂七分搗の米を洗はないで炊くことが最も良い譯であるから、これを主張してゐるのである。最後に餅は消化が良いとは云つても、餅につくられたものは、形が少さい樣でも案外澤山の米を要してゐるのでつまり澤山の米を食べたことになる。それで兎角食べすぎになりやすい。餅をたべた爲めに腹にもたれるのは餅の不消化を意味するものでなく、食べおきによるものであることを附け加へておく。

三山島から産れた 水族館の權威

一切の名利を捨てて 漸く酬いられた平田包定翁

ポカ／＼と暖かい小春日和の和やかな陽光を受けて、キラ／＼と反射する玻璃槽を透して見へる暗紫色の巖、濃綠色の海藻、やゝ灰色がかつた海水の中に銀鱗紅鱗を誇らしげに深海魚の浮游するこの頃の水族館ほど幽に住む者に柔かな感じを與へるものはない、滿洲を通じて唯一の星ケ浦水族館の創設者平田包定氏は數年來本業の時計業を殆ど擲つて

南船北馬 水族館の完成に沒頭してゐたが、物質的にまた精神的に少なからぬ犧牲を拂つた努力の結果が漸く報いられて今回十一月七日附で平田式水族館の新案特許を得るに至つた、日本で最初の水族館の新案特許であり、且つは市會議員、商業會議所議員その他一切の公職、本業及び財力を抛つて收め得た尊い珠玉であるだけに、包定翁が老眼に露さへ浮べて喜ぶのは無理はない、これについて平田氏は語る。

大正 十四年八月大連勸業博覽會の際勸められて場内に特設したのが平田式水族館の濫觴閉會關東廳滿鐵の援助で現在の星ケ浦海岸に常設したのです、その後年年研究の結果、水の循環裝置と水槽内の魚族に適する壓力並に濾過槽で酸素を交入し再び水槽内に送る發明を完成水產界の泰斗故岸上博士より「世界的の發明だ」との讚辭を得て大いに自信を强くし昭和三年三月東京に開催された御大典記念博にも場内に特設して

好評 を博し閑院宮殿下その他各宮樣の御臺覽及び直接御下問又は御褒めの御言葉を賜いたのでした。その當時水族館の建設に方り事務局から上野に水族館を造るの可否につき各專門家に諮問した所孰れも口を揃へて不可能と答へたのを私が押切つて開館美事に成功したので閉會後感謝狀に添へて金五百圓及び記念品を頂きました。この結果同年六月帝大教授貴族院議員林博太郎伯邸の依賴で同邸水族館に

海魚 を入れ游泳せしめた所非常に喜んで居られたのです上野水族館開館中は岸上博士を始め丸川水產學校教授の勸奬で各府縣の水產專門家二百餘名が實地研究に來られたのでした。而してその水族館は横濱市水產の懇望によつて同年八月同市の磯子游岸に移し、水產會と共同で毎年四月から十月まで開館してゐます。私の最も愉快に堪へないのは今年の九月から十月に亘り開催された朝鮮博の水族館が各道水產專門家の意見で海水魚の游戈は不可能といふに一致し淡水魚のみで

開館 した所鮮人は兎に角内地人側の不許甚だしく、當局者の無能を痛烈に攻撃されたのが、兒玉政務總監の耳に入り曾て關東長官當時平田式水族館の特色を知悉して居られたために總督府水產課に命じ私へ出張を電命してきたので四十槽の内二十槽を改造海水魚を入れることに成功したので絕大の好評を博し開期中八十萬人の入場者を見たことです。斯樣なわけで同地仁川月尾島遊園株式會社でも明年平田式水族館に改めることに決定、その他東京、大阪、宮島二見等より水族館の建設方を

希望 してきて居りますます た先日米國の新聞記者團が來聯した際佐原滿京時報社長の通譯で詳細説明した所「かういふ大魚の入つてる水族館は米國にもないが何故大水槽を造らぬか」との質問があり返答に窮したのですが、全く經費の關係で充分の設備が出來ぬのですが來年はもつと擴張したいと思つて居りまた最近洋行から歸つた人の話によると米國にもこの種の水族館がないといふことですから、機會を見てその方面にも進出したいと思つてゐます

以上のごとく平田包定翁の水族館は日本の

水產界に 一大センセーションを起したのであるが、その特色は從來不可能とされてゐた海水魚の永續棲息を可能ならしめたのにあり、この發明動機は同氏が二十年近く經營してゐる三山島の漁場に於て漁師相手に鰮や鰈の友達となつて過してきた十數年の經驗から得たものださうだ

初春のお化粧

メイ・牛山女史談

除夜の鐘鳴り若水を汲めば新生の壽き各戶を訪れ、身も心も初日の出の如くなごやかに萬歲の身振も一入又春めくお正月こそは若き婦人の身だしなみは一層常の時に比して立派に、この新しい力に添ふものであつて欲しいとの願ひは必ずしも無理ならぬ事と思はれます。お正月のお化粧は、むしろ濃厚であつてもよろしいが、濃厚といつても、餘りに濃厚すぎ、かすかに鹿の子斑が見える等は正月の化粧にはさけ出來るだけ清楚に…

◆

先づ化粧の順序として普通の化粧法を申上げます。お顏、襟、手のよごれを油氣のない樣にむしタオルで拭ひ去るか、お湯でお洗ひになるか、最も完全な方法としては、クレンジングクリームを萬遍なくそれをガーゼで拭ひ取り、その後を熱くしぼつたタオルで押へる樣にしておく。植物性の化粧水のさらつとしたものを手の平にたらして全體にすりこむ。ヘチマコロン、四季の花、ミルキーローション、オレンヂ、ドロップス等の化粧品がこれに適して居ります。でこれを塗る時手の平で塗らずに脫脂綿を少さくちぎつてそれにその液をしめして、それでこする樣にしますと、毎日幾つて居た脂等もすつかり拭はれて、一そうすが／＼しくなります。

◆

さて下地が出來ればお化粧にかゝります。洋裝の時は普遍的でよいのですが、和服の時は襟を濃くなさらなくてはなりません。殊にお正月は白襟の場合が多いから、さうした場合には、殊にこくします。最初はバニシングのリームの小量をとりましてうすくむらなく襟全體へ引きます。煉白粉、固煉白粉は和製がよろしい。が殊に信用ある店のよい品をえらばなければなりません。

◆

板刷毛、水刷毛、牡丹刷毛を用意します。出來れば白粉をとくには化粧水を使ひますが贅澤と思ふ方は硼酸末を五十倍にとかし込んだお湯、乃至水、それで白粉をときます。板刷毛で耳の後あたりから竪に一刷毛、もみあげから頭へかけて一刷毛、反對の側の同じ場所から一刷毛づつ、首、それから手をのばして、後へ竪に。ぼたん刷毛を右手に、乾いたタホルを左手に持つて、タホルで牡丹刷毛を拭乍らつけた順序に押へるのですが、時に注意しなければならないのは、白粉は濃くつける時も一度にこいのを塗るのでなく、うすいのを何度にもしてつける。先づ二回乃至三回で襟をつけ終りましたら顏にかゝります。

◆

水白粉か、煉白粉のうすくといたのをつけるのですが、出來れば黃色のがいゝでせう。筆刷毛にたつぷりと含ませて鼻筋から、兩方の目の下、あご、鼻の下、額へあけてサアツト刷きまして、ばたん刷毛でつけた順序にむらのない樣につけます。この時に襟と顏の境目のあごにクッキリと濃淡が出來ない樣にぼかします。

◆

つけ終りましたが、眉毛、睫、目のふち、唇等を脫脂綿の一片又はガーゼで輕くなで白粉を落します。眉墨は煉、水、粉、棒の四種ありますが、いづれも上等の品を用ひませんと有害で、毛髮を脫落させるものが往々ありますから注意しくてはなりません。

滿日漫畫

ことしもこれでおしまいです お忘れ物はないように

惡い了簡

斯文

妻君「貴方、何時まで寢てるんです。いゝ加減にして起きて下さい」

亭主「今日は日曜だ」

妻君「日曜だつて暮の廿九日ぢやありませんか。どこか惡いんですか」

亭主「うん、了簡が少し惡い」

○「ヤア、今度はおばさんのサンタクロースがやつてきた」

△「なんだい、お隣りのうちへかい」

賀正々々つて同じ字を何枚も書くのは面倒だな 同じく／＼と書いてやらう

兄さんは字がうまいナ

初春向きの「帶の結び方」

勅題に因み立矢の字風に

來年のお正月を樂しく迎へる爲に今年の勅題「海邊巖」に因んで新案の帶の結び方を御紹介いたしませう。大體は立て矢の字の結び方と同じでありますから、その氣持ちでお結び願ひます、先づ手と垂れを同じ位の長さに取つて、一つ卷いて後に廻し、結びますと縱になりますから、手と垂れをもぢり合せます。そして垂れの端の方にひだを取ります。その場合紐でくゝるよりもゴムバンドを以て紮んだ方が便宜のやうです。これを立て矢の方向に從つて挾みてみます。次に垂れの餘りの部分で水平左右の扇形を作るのですが、そのひだの取り方は前と同じ事で、それをもぢり合した處に重ねて、細ひもで襷にして前で締めます。そして今度は手の方を同じくひだをとつて、矢の示すやうに一番下から挿こんで、餘りの部分を以てお太鼓となる處これにしよい上げと帶止めとを以て巖を形づけるのであります。出來上りは丁度眞ん中が巖の型をし、周囲に扇を重ね合せた方に青海波を象徴させたものであります。

お正月の遊戲 不思議な數

積俵の數のあて方 面白い數字の組合

お正月の團欒に、加留多も取りつかれた、麻雀はさばけが惡い、それかてラヂオもお正月には好みがごつちやで困る——と云ふ樣な時には、どなたか一人奇想天外より落つる態の奇問を發してごらんなさい。忽ちにして一座清新の氣が漲り、何？何？そりや子供にも分らアと申さるゝ方さへが、仲々の御苦勞樣に見受けられて御愛嬌千萬。

◇

萬室の諸君、茲に米屋の番頭君があつたとおぼしめせ、その番頭君米俵を積むに、先づ一番下に十五俵並べて杉積みにいたし——いや此の杉積みとは二段三段と一俵づゝ數を少くしつまり、三角形につみ上げて最上に一俵積む方法でござる。そこで番頭君、幾段かによつて杉積みを終へた處、扨俵數はいく俵ぞと、數へむとして些か面倒、即ちおたづね申す萬室の諸君、迅く／＼お答へなされませ、當りますも、當りませぬもお慰み。さあ／＼。

◆

いかゞで御座います。此の數へ方は、一番下の俵の數と、それに一を加へた數とを掛け合はせた數を二で割れば、立ち處に表るゝ俵の數。即ち十五に十六を掛けて二百四十。それを二で割つて百二十俵と解けました。

◇

もう一案お願申します事は、先づそこなる紙に大きく正方形を描いて下さいませ。そこで更にその中に井桁の形に線を入れますと、竪も三つ、横も三つ、全部九つの桝型が現れませう。そこでその桝型一つ宛に一から九までの數字、各一字づゝ入れて、どの方面から數へても、すべて十五の數になる樣、はめこんでいたゞきませう。さあ／＼お早く至急に願ひます。

◆

これが解答は覺え樣によつては至極簡單、

二 九 四
七 五 三
六 一 八

これにて竪も横も十五とはなり申す。特に斜に數へて二、五、八及び六、五、四も亦十五となるはなか／＼面白いではありませんか、そこで歌に曰く

二九四とおもへ七五三 六一八は十五なりけり

◇

扨もう一案、これは極めて簡單ながら一興。

二十五に二十五かけて答はいくつ。六百二十五。

三十五に三十五かけていくつ。千二百二十五、はてどうしてそう早く解けるのでせう。

◆

二十五に二十五の場合は先づ三に二をかけた數に二十五をつけ、三十五の場合は四に三をかけた數に三十五を付ければ立ち處に答となり申す。他の數は之に準じて行へば間違ひなし。

◇

凡そ數種不思議にして不思議ならざるはなし。世の算術下手の小童もすべて、この神秘合理の氣合ひを呑みこませなば、忽ちにして數學者の玉子とはなりぬべし。いやお正月早々こんなお理窟は禁物。この樣な解釋の仕方を心得たら、近頃はやる疑獄となんど云ふ醜事も立ち處に解決いたしませう。はてこれにもいらぬ當てこすり。先づ樂しく遊ばしていたゞきました。はいさやうなら。

お正月の重詰

お正月の重詰から榮養教育の第一歩を出發しやうと云ふ目論見で、一の重、二の重、三の重を作らうと思ひます。一の重には蛋白質食即ち吾々の肉體を組立て又は修繕するに必要な成分を含む食品を盛り、二の重には含水炭素及脂肪食、即ち吾々の體溫や活動力として役立つ成分を含む食品をもり、三の重には無機質及びビタミン食、即ち吾々の榮養の如何なる場合にも無くてはならぬこの二種の成分を含むものを盛ることに致します。

一、蒲鉾 蒲鉾一枚(五三・三匁)半月形に切る。

二、茹で玉子 大二個(三六・六匁)常の如くゆで輪切りにする

三、牛肉ボール 牛肉(二八・七匁)玉子(四匁)挽肉に玉子及少量の鹽を混ぜ、小塊とし砂糖醬油にて煮込む。

四、煮豆 黑豆(一五・九匁)常の如く煮込む。

五、ゴマメのアメ煮 ゴマメ四〇瓦、砂糖、鹽、飴にて煮る。

六、數の子 數の子(二一・三匁)鰹節(〇・五匁)醬油に漬けておいたものに削り鰹節をかける。

七、燒豆腐の煮染 燒豆腐(一三・〇匁)適宜に切り砂糖、醬油にて煮込む。

八、貝柱の甘辛煮 貝柱(一三・三匁)晝夜間水に浸しおき軟かくなつた時砂糖、醬油にて煮る

九、牛乳のゼリー 牛乳一合(五三・三匁)ゼラチン(約五・三匁)牛乳を煮沸し、豫め水に浸しおきたるゼラチンを混ぜて溶かし少量の砂糖鹽にて味をつけ流し箱にこかし入れ冷やす。

一〇、鷄肉の附け燒 鷄肉(二六・〇六匁)鷄肉を醬油と味淋の混合液につけ後竹串にさし強火でやく。

一一、玉子燒 玉子中三個(或は三・一九匁)玉子をよくかき砕き砂糖、鹽にて味を付け玉子やきでやく。

一二、蒸し鮑 鮑中等大一個(一三・三匁)鮑を殼より出してむしてから小い切りにする。

主義者が煽動した朝鮮の學生事件

全半島に亘つて衝突頻發した
きのふ記事解禁さる

【京城二十八日發電】全羅南道光州公立中學校生及び同地公立高等普通學校生は豫てより睨み合ひの形にあつたが去る十月三十日汽車通學生が改札口の混雜より爭鬪をなしたるに端を發し十一月三日明治節祝賀會終了後又復二十數名が衝突し漸次其數を增し中學生は五六十名となり一方高普生は二百五六十名に達し中學を襲はんとし中學生側は百五十名と對峙し不穩の行動に出でんとし警官隊出動鎭撫解散せしめた之がため多數の負傷者を出し双方の反感は益々激成され一時休校して學校父兄道廳當局に於て善後措置を講じたが外部より此機を利用して思想團體、不逞鮮人團體員等の使嗾煽動するありて不穏の氣は漸次全半島に瀰漫し學生の檢擧さるゝもの三千に近く當局に於ては直ちに新聞記事の掲載を禁止し不穩なる策動の主義者を片ツ端から檢擧したが其數は五十餘名に達してゐる、事件は當局の鎭撫に漸次靜穏となり本日記事の掲載を解除するに至つた

撒文を撒布して暴動を圖る
共産主義者の悪辣なる陰謀

【京城二十八日發電】光州學生事件の餘波を受けて京城に於ては十二月二日城大豫科教室に不穩撒文を撒布せるものあり更に翌三日京城第一高普、中央高普、普成高普、中等學校、女子商業、徽文高普、京畿學校、淑徳女學校の各學校に右と同様の

撒文多數を撒布せるものありて府内各朝鮮人中等學校に頻りに動搖の兆あり次で五日第二高普、六日中等學校、七日第一高普の盟休事件勃發し漸次他校に波及せんとし一般學生は遂に兀徹し來りたるが九日に至り京津學校生徒は堅く結束して示威運動を爲さんとする等到底職業を繼續する事能はざるに至り私立學校の多くは休校するの已むなきに至れり京城に於ける學生騷ぎの内容に就ても其撒文の内容及び騷擾方法より見るも單純なる學生の創意に非ざる事判明し光州事件の元兇張錫天外二名が十一月十八日以來京城に潜入し中央青年同盟所屬主義者等と相謀り

一齊盟休を敢行し全鮮的示威運動を斷行して暴動化せしめんと各學校生徒を煽動したる事實判明するに至れり尚京城に於て新韓會が十二月十一日深更本部に於て幹部會を開き今日の時局を坐視するに忍びずと爲し民族的見地より一大民衆運動を惹起すべく謀議を進めつゝある事を京畿道に於て探知し事態容易ならずと認め警察部長は幹部を招致し輕擧妄動を戒めたるに其後大勢は益々硬論に向ひ寧ろ敗るゝ共一擧に

事を擧げんとする氣配濃厚となりしを以て十三日許憲以下新韓會會員其他九十一名を一齊に檢擧し取調の結果光州事件を理由として一大騷擾を勃發せしめんとしたる事につき彼等が今日迄謀議畫策したる内容、經路等詳細に判明するに至れり全南、京畿以外に於ける各道の情況に就いては平南に於ては平壌私立崇實專門、平壌私立光成高普、公立平壌女子高普、平壌公立農學校、平壌私立崇仁學校、平壌私立實崇中學、公立平壌高普、咸鏡南道に於ては公立咸興高普、元山公立商業、咸興公立農學校、咸興私立永生學校、咸鏡北道にては公立鏡城高普、江原道にては春川高普、京畿道（京城府以外）にては開城松都高普、公立仁川北商業、公立開城商業、私立開城學堂商業等何れも

動搖を見るに至つたが要するに今回の學生事件は決して單純なる學生の運動に非ずして全く共産主義者の悪辣なる陰謀に出でたる事は明かなる事實である（警務局發表）

鐵砲打もモウ駄目だと或放浪青年の嘆聲

電園下社會館に泊り込の記（上）

師走を行く（28）

押し迫つた歳末三日四日は正に生活鬪爭の血みどろな白兵戰である殺しつ殺されつ不況嵐の下に死物狂ひな奮戰苦闘に嫌でも一年間の總決算をつけなくてはならぬ。戰鬪力ある者は刀折れ矢盡きる最後の力迄に闘ふ、だが養成病院も無い看護婦も無い生活鬪爭に於ては、戰鬪力を失へる者は荒野に生に喘ぎ乍らも敗戰の身を曝さねばならぬ。

▽―△

〇〇日夕七時記者は電園下社會館に一夜の宿を乞ふた、受付で原籍、職業氏名、前住所、行先地を記して二十錢の宿賃を支拂ひ、に號室の四十九號と數へられた寢室を探して行く。

「今晩は、御厄介になります」と親愛を求むべく先づ敬意を表しておく。

「さあいらつしやい、お寒うござんしたらう」

些か滑稽氣味の記者には心中恥入つた程打解けた温い心だ。二十疊敷程の室の眞只中に二十燭の電燈が一つ、鐵製の上下二段になつたベッドが四つ宛二列に並んでゐる、室内はスチームが通つてゐて暖かい。ベッドから鎌首を持上げた二つ三つの髭の無い顔をみて一安心、寢臺の四十九號に這ひ上つて

「今日は冷えましたなあ」

と誰彼となく話を持ちかける。

▽―△

「貴方は何處から來なすつたい」

と間の抜けた眉間の心の良さゝうな一人、

「今日旅順から來ましたが、何か良い仕事はありませんかなあ」

「駄目ですよ、わつしも今日仁川から來たんですが、朝鮮も最近すつかり鐵砲が利かなくつて良い儲もありませんよ、何だなあ、是から濟南に渡つて南京、天津、上海、青島と鐵砲打つて廻れば食つて行けるだらうが、大連も此頃鐵砲は藤張り駄目ださうぢやないかい」

と我が彷徨ひのコスモポリタンの奨懇を聽いてゐる處へ一人又入つて來た、氣の忙しさうな男だ。

「お歸り」

と皆一齊に挨拶する。

「おゝ寒い、星ケ浦の大藏滿鐵理事の家へ行つて來た、大藏は分らないが宇佐美さんは分りが早いですよ、僕と門鐵に居る時一緒でしたがね、まあ滿鐵で話せるのは小日山さん、奉天地方事務所の太田さん位でせう、十圓二十圓位ばいと出しますからね、君のベッドに居た人だがね、今京城に居る朝鮮人の金なんかね、平常小松と名乘つてゐたが鐵砲の巧い奴で二十圓貰つて來ると言つたら必らず取つて來たものだよ、それからみると今は皆温柔しくなつたよ、鐵砲も利かなくなつたし又事實社會館も質が良くなつたよ」

變に睨をじろ／＼見られるので記者は毛皮を頭から被つて寢る事にした（寫眞は社會館の寢室）

即時撤廢には絶對に反對

合法的武力の保護も辭せぬ
列國は同一行動に出づ

【北平二十八日發電】明年一月一日に發せらるべき國民政府の治外法權撤廢單獨宣言に對し主要各國は大體左の如き立前を以て同一行動を採る事に諒解されてゐる

一、漸進的撤廢に同意するも來年一月一日より即時撤廢に絶對反對す

一、國内統一を完成し完全なる司法權を獨立を見たる時列國は撤廢の商議に應ずべし今は尚ほ其の時期に非ず

一、數ケ所の大通商地に外支混合裁判所を設置し其の地方の治外法權を撤廢すべしとの過渡的辯法に對しても時期尚早と認む

一、但し今後三年若しくは五年を限り撤廢に關する商議開始の約束を爲すことあるべし

一、萬一支那側が治外法權撤廢の立前にて在留外人の權利を犯す如き事あらば各國は斷乎として之に反對し場合に依つては合法的武力の保護を辭せざるべし

貧困者に同情金

大連署に寄贈申出づ

二十八日市内貧困者に對して大連署を通じて左の如く寄贈があつた▲金五圓市内土佐町三八野津竹夫妻豐▲金十　市内美濃町四一八千代席内緒森悦▲金十二圓八千久藝妓一同▲一圓同深谷さん

陸軍初めの觀兵式

日露役記念地で

來る一月八日陸軍初め當日擧行さる旅順の觀兵式は恒例の如く當日午前十時より行はせられ一般の拜觀を許されるが今回は新市街ヤマトホテル前の師範學堂運動場である旅順開城と共に皇軍が威風堂々入城式を行つた地點で參加部隊は駐旅部歩兵第十五聯隊、旅順重砲大隊、旅順衛戍病院衛生隊に依つて擧行する事と成つた

野砲演習參觀

梅城に於て行はるゝ野砲射撃演習を參觀する津田砲兵大佐は六日同多田大佐は九日夫々來旅の豫定

満期兵千二百名がきのふ御用船で内地へ

柳樹屯へ廻航し今朝離滿する

關東倉庫に一夜を明した海城砲兵二十二聯隊、遼陽二十聯隊、奉天三十三聯隊、遼陽工兵第一中隊の滿期兵約千二百名は今春四月來の滿洲警備の重任を果し廿八日午後三時半甲埠頭九番バース繋留の御用船呂宋丸で内地への歸還の旅に立つ事となり午後二時全隊はバース前の廣場に整列し見送りの師團副官德久中佐より懇篤な送辭を受けついで保々滿鐵地方部長立つて「諸兄が殘された幾多の業績はこの滿洲において働いてゐる同胞を力づける意味で頗る意義があつた今軍實を果され目出度歸還される事と喜ぶ」旨を述べ臨席在郷軍人第一分會長の諸勇士を送る萬歳の聲を最後としてこれに對し鈴木輸送指揮官答辭をのべるところあり夫々懐しい母國への旅に立つた、尚これより先橫田三重縣人會長は特に三十三聯隊の滿期兵に對し郷土愛の滿ち／＼た惜別の辭を送つた、御用船は柳樹屯に廻航し同地より除隊兵を乘せ廿九日朝愈々内地へ向ふ筈である

廿八日御用納

大連各官廳

廿八日は御用納めであるが大連民政署、遞信局、大連市役所では、午前十時よりそれ／＼署長、局長市長より挨拶があつてのち各員殘務を整理し正月三日まで休暇に入ると

旅順各官衙行事

關東廳、軍司令部其他在旅各官衙公署では廿八日を以て御用納めとなり夫々所管長より歳末に際しての訓示があつた尚正月一日は午前十時高等官は兩陛下に對し賀状を捧呈判任以下は參賀引續き御眞影拜賀式を擧行する由

過失致死罪で公判に附す

伊達順之助

【奉天特電二十八日發】今年の四月九日、自宅應接間において友人阿部喜太郎を自己の拳銃で誤殺した元支那陸軍少將伊達順之助はその後收監され豫審に附されてゐたが二十七日豫審終結、過失致死罪として起訴され旅順地方法院に送局、公判に附せられることになつた、なほ伊達は昭和二年四月、張宗昌氏の軍資金調達のため東京において大木伯らと天津交通銀行紙幣の僞造を企て遂に銅版まで製作した事件の關係者として豫審されてゐたが該事件は證據不充分のため免訴となつた

新年川柳句會

昭和五年の滿洲柳壇發展のため一月中旬を期して新年句會を開催します在滿川柳家は奮つて御投稿下さい

『長』・大阪　岸本水府先生選
『馬』　大連　小林茗八先生選

一月五日締切、一人一題三句限
優秀句へ薄賞を呈します（用紙半紙）

編輯局文藝係

飛行機廿五臺帝都へ初飛行

一月六日に所澤飛行學校で

【所澤二十八日發電】所澤飛行學校では一月六日午前十時より飛行機二十五臺を以て帝都訪問の初飛行を行ふこととなつた、古谷飛行學校長を指揮に戰鬪機には徳川大佐搭乘中隊を組織し所澤より多摩川に沿ひ羽田に出で品川より帝都上空を通過中野を經て歸校する豫定である

婦人方の喜び

『結婚及婚禮』一式並に夫婦生活『流行新型、家庭實用編物』右は立派な書籍、どう見ても二圓以上の値打、之を『婦人倶樂部』新年號に添付し三册で八拾錢！

淺野罷業持久戰

會見は不調

【門司廿八日發電】罷業に至つた淺野セメント門司工場の罷業團代表と山内支店長代理との最後の會見は廿八日朝九時より開始されたが山内氏に誠意なき爲め罷業團代表は席を蹴つて本部に引揚げ愈々紛糾化し持久戰に入つた

洮昂齊克兩線時刻變更

洮昂、齊克兩鐵路局では旅客列車の運轉時刻短縮の結果一月一日より運轉時刻を左の如く變更することに決定した

洮昂線　▲洮南發八時四十分▲昂々溪着十五時十五分▲昂々溪發十時五十五分、洮南着十六時二十分

齊克線　▲昂々溪發五時二十五分、龍江着七時一分、龍江發八時十分、昂々溪着九時三十一分

三井朝鮮技師電車と衝突重傷

【東京二十八日發電】朝鮮總督府殖産局勅任技師三井榮長氏は二十七日夜自動車にて小石川大曲通行中電車と衝突し頭部に深さ骨膜に達する重傷を負ひ重態である

近藤中將男爵拜受

【東京廿八日發電】引き續りでは廿六日豫備造船中將近藤基樹氏に對し其多年の功を嘉せられて男爵を授けさせられたが同氏は病床にあるため次男の造船少佐近藤剣樹氏が廿八日午前十時三十分宮内省に出頭し一木宮相を經て拜受した

都さくら働く

無許可の儘座敷に出て醜業者のエキストラで去る二十六日大連署保安係より大目玉を頂戴した北村席の都さくらは二十七日漸く目出度正式に許可され謡名を都と名乘り一人前の藝者となつた

小さな同情

市内沙河口霞町十四南十六霞町小學校三年生田中満雄（十歳）は二十八日朝沙河口署へ父親より貰つた小遣ひにて菓子三袋を買ひ貧困者に與へて下さいと屆出でた、又市内沙河口元町五六高国賀一氏は管内貧困者へ十圓と同氏長女大正小學校に徒疲子（一三）も金二圓廿八日沙河口署へ夫々寄贈方を願出でた

本社會計事務

明三十日にて〆切りますから同日中に本社納品代金その他の支拂をいたします

けふのラヂオ

昭和四年十二月廿九日（日曜日）
自午後〇時三十分　ニュース
自午後三時三十分　ニュース
自午後七時
一、ニュース
二、料理献立
三、天氣豫報

愛慾の窓（202）

戸川貞雄作　浅枝次朗畫

審判（二二）

「……わたくしは今、我身を切りさいなむ如き苦痛と闘ひつゝ、亡父英太の非を曝き、墓を發いて、死屍に笞打つの不孝を敢て犯しました！大義親を滅すといふ、わたくしは敢て事實の眞相を縷述することのうちに、草野久彦その人を冤罪から救ひたいといふ感情以外に、社會的正義を見出さずにはゐられなくなつた！わたくしは義務を遂行したのであります！一個の社會人として、當然の義務を果したに過ぎない。これは疾にわたくしのなすべきあたりまへの義務であつたのでありますが、しかし一個の社會人たる自覺をば、ブルジヨアの家に生れて、放縱に我儘に人となつてきたわたくしは、不幸にして今日まで自らの胸に懐くことが出來なかつた。わたくしは人間として恥づべき行爲の數々を、今日まで、あらゆる方面に向つて敢して來ました。男女の關係に於いて、または資本家として雇傭の勞働者達に對して！然し、わたくしは今日この公判廷を、草野君に對する地上の裁判所とは思はず、小森英輔に對する最後の審判の庭と思つて、僞らざる懺悔告白を爲したのであります！」

傍聽席の片隅から、その時、歔欷の音が聞えた。実知子が、そこに手帛を眼にあてゝ、ぢつとさしうつむいてゐた。黒田も來てゐた。彼はやゝもすると涙でかすむロイド眼鏡を外しては、何度も〳〵手帛で拭つてゐた。

「……立派な陳述だつたね、あれで草野さんは救はれる！いや、草野さんの救はれるのは當然なことだが、何うかしておれはあの人を――小森さんを、救ひたいと思ふんだよ！」

「……さうですわね、でも、あんなお氣持で、助かるものでせうか？」

「助けたいものだなあ……」

黒田と実知子とは、その歸途に何度も〳〵同じやうな言を繰返した。

だが、たゞそのためにのみ緊張し切つてゐた精神が、一度無事に義務を果したと思ふと、張り切つてゐた弦がゆるんで、ばら〳〵にほぐれてしまふやうに、小森英輔の體の節々も、力無くどつと臥つてしまつた。

「……駄目ぢや！もうわしにも力及ばない」

と、村山博士は眉をひそめた。いよ〳〵英輔危篤の報が、杉崎の手で八方へ飛んだ。すると何うだ、生前彼を取卷いたり、ブルジヨア交際したりしてゐた連中は、お義理一返の見舞に使を寄越すぐらゐのもので、心から心配して駈つけたのは、黒田達をはじめとして、小森銅山の坑夫組合の代表者等であつた。それに実知子、それに倭文子、さらに英輔にとつて百萬遍の回向よりすぐれた悦びであつたのは、釋放された草野久彦が取るものも取り敢ず、駈つけて來てくれたことであつた。

「……おゝ、草野君だね？よかつたね、ほんとうに氣の毒な目にあはせてすまなかつたね、何うか堪忍してくれたまへよ」

英輔は、手を伸ばして、久彦の手を握り占めながら、涙の一杯にたまつた眼で、ぢつと久彦の顔を瞶めた。

「何をいふんだ！僕こそ君に苦い陳述をさせてすまなかつたと思つてゐるんだよ」

久彦の眼も涙でうるんでゐた。

「いや、うれしい、うれしい！みんな僕に誠を見せてくれ！倭文子はゐるのか？倭文子！僕はお前にだけは純眞な氣持だつたが……何もかも、許してくれ！許して僕の最後の願ひを容れてくれ」

英輔は、倭文子の手を執ると、自分の胸の上で、久彦の手とかさね合せた。

「……お願ひだよ、二人は改めて仲好く暮してくれ！おそらく友永君もそれをよろこんでくれるだらう！これが友永君に對する僕のお詫だ。これを手土産に、僕は地下で友永君を訪ねるつもりなんだ……はゝ、友永君も、僕を許してくれるだらうなあ！」

それから彼は手を放して、輕く眼瞼を合せたが、やがて半獨語のやうに

「……黒田君！君は実知子さんを愛してゐるだらうなあ……。正しく、強く、明るく、さうだ！僕みたいな人間が消えてゆけばゆくほど、世の中は……」

さう云ひ終らぬうちに、臨終は來た。（完）

新刊紹介

▲満洲經濟時報（第十年第百十號）社長が更迭して本紙は柔か味や深刻味が増し面白く讀まれるやうになつた（定價金五十錢、大連市對馬町七滿洲經濟時報社發行）

▲浮世繪概説（田中喜作氏著）浮世繪發達の史的徑路を迎りその興隆と性質に關して全般的な概念を得へんと試みたもので浮世繪の鑑賞を試みんとする人には充分に豫備智識を與へ得るものである、多數の代表的浮世繪の寫眞も挿入してある（定價金一圓廿錢、東京市神田區一ツ橋通町三番地岩波書店發行）

▲ひさご猿蓑林（露伴學人著）芭蕉七部のうち、ひさご、猿蓑二部より佳句を拔きて、一々感想を加へたもので俳句に趣味を有する人達には此上なく喜ばれることであらう（定價金二圓三十錢、東京市神田區一ツ橋通町三番地岩波書店發行）

▲刀劍と歴史（十二月號）定價金五十錢、東京府下澁谷町若木一番地羽澤文庫發行

▲支那代表の眼たる第三次太平洋會議當時の支那新聞に現はれた余日章、張伯苓、徐淑希、陳衡哲、陶孟和、鮑明鈴六氏の報告演説を譯述したものである（非賣品、奉天鵜田町九番地滿京時報社發行）

▲關東州貿易月報（十月號）非賣品、旅順關東長官官房文書課發行

▲露西亞事情（第九十三號）ウスリー地方における鮮人（下）定價金二十錢、東京市麹町區丸ノ内ビルヂング八九一區露西亞通信社發行

夕刊 滿洲日報 十二月廿八日

國防安全を保障し得ば 英米より劣勢にても可
廿七日午後英國に到着した 若槻全權の第一聲

【サザムプトン二十七日發電】ロンドン會議日本全權一行四十二名はオリムピック號にて本日午後當地に着いた、埠頭には先着せる一行の事務總長格佐藤尚武公使及びロンドン大使館關係事官等一行を出迎へサザムプトン市長も一行を迎へて慇懃な挨拶を交換した、若槻全權は各新聞記者に向つて本國皇帝陛下がロンドン會議開會式に親臨あらせられることに對し多大の滿足を示し左の如く語つた

予等は渡英の途中アメリカ當局者と會見して意見交換することを得たことを喜ぶ **右意見交換の結果は最も有益であつた、** 日本は此際イギリスやアメリカに比し**劣勢な海軍力でも滿足するであらう** 只日本の切望する所は國防の安全を保障し外國から侵略される脅威を受けぬことである

わが全權一行倫敦到着

【ロンドン廿七日發電】若槻財部兩全權一行はサザムプトンに上陸してより列車にて本日午後六時當地ウオーターロー停車場に到着無事英京入を爲した、外相ヘンダーソン氏代理サー・ロナルド・リンゼー氏、松平大使以下官民在留邦人代表者等多數全權一行を停車場に出迎へた

佛首相英首相と會見か

【パリ二十七日發電】フランス國務總理タルデュー氏は四國海軍縮小會議開始前イギリス首相マクドナルド氏と會見し若干主要問題に關し英、佛相互の軍縮に對し意見融和に努めるであらうと傳へられてゐる

勞農代表一行昨夜着奉
支那代表と驛頭で固き握手

【奉天特電二十七日發】張學良氏に就職を表する爲め莫德惠氏の東道で來奉の

勞農代表 シマノフスキー新東鐵局長ルデイ、副局長デニソフ、理事イズマイロフ四氏の乘れる列車は定時より十分遲れて廿七日夜十時三十五分奉天驛に到着した、勞農總領事館員及び赤系露人數名と支那側代表十名ばかりは入時頃より驛に詰めかけ兩國全權が列車を降りるや之を陣續して握手を交換しシマノフスキー氏は白髮顏に喜色を泛べ、極めて打解けた狀態を呈したが露支兩國關係の

新轉機を 作る人を迎へるには寧ろ寂しい程簡素なものであつた、兩國全權一行は共に伴れ立つて自動車四臺でヤマトホテルに入つた、露國側一行の日程については猶不明であるが三十日頃哈爾濱に歸る模樣である

全印度會議 提出の決議案

【カルカッタ二十七日發電】ラホールにて近く全印度會議開催されるため右議事目錄を作成中の委員は印度自治運動の先鋒ガンヂー氏提出の決議案を無修正で可決した

右は印度自治が印度の完全なる獨立を達成する根本義であると云ふ定義を下してゐるものである、なほ同委員は其他若干の決議案を採用したが、右は印度の獨立實現のためには兵力に據らぬ反抗をなすこと、租税を支拂はぬこと、ボイコットをなすことを阻止せざるべき法律を制定することを主張せるものである

議長事務引繼と各派交渉會

[illegible]員(下)は新議長(右)と舊議長(左)の事務引繼(上)は衆議院各派交渉會で開會後の議席其他につき協議

滿鐵線の牽制に 懸命の北寧鐵路
改進委員會を設け對策研究

北寧鐵道(京奉)當局は奉天派の高紀毅氏を局長に迎へて以來鐵道消業務の改善を圖りつゝある一方遠大なる滿鐵牽制策を樹て前きに東北省より關內へ輸送さるゝ糧食運賃の二割五分減を實行して一般沿線商民に努めて滿鐵を利用すること勿れとの勸告を發した。

×

更に十二月十六日より二十日まで五日間「北寧鐵路商務會議」なるものを開催し沿線各地の商業團體代表を招待し種々之に關して協議したが結局滿鐵と競爭するに就ては

一、沿線各地に於ける捐税の減免並に軍事附加税の免除
二、一般運賃の値下
三、運輸方法の大改善
四、大連港に匹敵する輸出貿易港の築造を實現せしめざるべからず

と言ふに一致したが、取敢ず鐵道當局は奉天財政廳へ土產出省税の取消、山海關監督に軍事附加税の取消、河北財政廳へ關內統捐の二分五厘制恢復等を請願し其他に就ては全部改進委員會を設け徐ろに討議具體化せしむることに決定して散會した。

◇

而して奉天當局は之に對して極力援助を與へあゝあるもの如く過般孫科氏より、張學良氏へ向けて中央政府の財政難を訴へ北寧鐵道の收入より幾何の軍費を協助されたしとの要求があつたのに對し張學良氏は言下に該鐵道の收入は修理並に改善費に當て東北の對露軍事費にさへ融通せず況んや內爭の軍費に於ておやと一蹴した事實あり今後高局長は滿鐵に倣つて相當の時機に運賃の値下と運輸狀態の大改善を行ひ更に進んで張學良氏をして前記捐税の減免をも斷行せしむべき方針に在りと傳へらる

而して最も注目さるゝは大連港に對抗すべき輸出貿易港の築造であるが之に就て北寧鐵路改進委員會譚耀宗氏は大要次の如く語つてゐる

東 北省に於ける支那鐵道は約二千八百六十哩なるが滿鐵は僅に一千百七十哩、而して前者の全部の收入は毎年一億二千萬元に達せずして後者は一億二千萬元に及ぶ支那鐵道の線路は滿鐵に二倍するも收入はその三分の一とは實に痛心の至りである

東 北省の輸出貨物は年一千六百餘萬噸(內譯大豆三百萬噸、各種糧食二百萬噸、其他木材藥品毛皮等四百萬噸)之を輸出港別にせば大連七百萬噸、營口一百餘萬噸、安東同上、浦鹽、滿洲里七百餘萬噸で更に之を貿易額から見ると日本一億三千萬兩、歐洲各國一千六百萬兩、米國八百萬兩、本國各埠九千五百萬兩である、斯くの如き貿易があつて支那鐵道の利益不振なるは一切の設備が滿鐵に劣り競爭の地位に立つことが出來ないからである

若 し夫れ聞くが如く滿鐵が電氣に改用した場合は競爭不可能と思ふ、故に現在の應急策としては速に捐税の輕減、鐵道業務の改善、輸出貿易港の築造を實現せしむるに在り而して輸出貿易港としては當局は營口、胡蘆島、秦皇島の三案を有つてゐる

營 口は河港であり且つ滿鐵は河南に完全なる設備を有つてゐるので競爭には不便であるが牌坊子以西及營口通溝間一帶の貨物を輸出する見地から河北に一大埠頭を築造する必要がある胡蘆島は距離からいつても最適の候補地だが工事が大變であるから短時間では完成を見ない併し當局には目下具體的計畫を進めてゐる

斯 くて卽今利用すべきは秦皇島でこれを奉天大連間の距離に比較せば僅に四十七哩の差であり且つ天然の不凍港として開灤の夙に利用せる所であれば我國は速に此所に工事を施すべきである然らば運賃の値下に因りて東三省の貨物は秦皇島に集收され更に熱河一帶の貨物を輸出することが出來る之に就て鐵道局は詳細なる計畫を進めつゝある(天津特信)

正式會議に關する 具體案につき協議
勞農代表張氏と會見

【奉天特電二十八日發】露支交涉全權シマノフスキー、ルデイ、デニソフ、イズマロフ、蔡運升、李紹庚諸氏は隨員を從へ今朝九時ヤマトホテルを出で北陵別莊に張學良氏を訪問し兩國全權より交々交涉の經過を報告し更に正式交涉開始に關し具體的に協議する處あつた模樣である

昭和三年度の 歲出入決算
檢查確定內閣に報告

【東京二十八日發電】憲法第七十二條に依る昭和三年度歲入歲出決算檢查確定につき二十七日附湯淺會計檢查院長より內閣に報告して來た、其要領左の如くである

	圓
歲入決算額	二、〇〇五、五九一、一〇五、〇五七
歲出決算額	一、八一四、八五五、〇一一、九一三

右決算額は

歲入に於て 六、四六二、七三四、四一〇

歲出に於て 二、五八〇、七〇一、九〇〇

を除く外之を檢查確定したるものにして其末確定に屬する分には審查に對する答辯未濟なると犯罪事件に關しなほ審查を要するものあるに因る、內閣は直に右の書類を大藏省に送附した

鐵道建設計畫の 原案を可決
廿七日鐵道會議にて

【東京二十八日發電】鐵道會議は二十七日午後二時半より首相官邸に開催、江木鐵相以下正委員三十八名、理事委員十九名参集、江木鐵相議長席に着き開會の挨拶を述べ直ちに會議に入り五年度以降の

建設計畫 案、生產線外二線の豫算削除に關する件の二項を諮問事項として附議し質疑應答に移り若宮貞夫、元田肇、內田嘉吉、馬場鍈一、江木鐵相、青木次官等の間答あり質問を打切り五時四十分討論に入り馬場氏の答申案を動議として提出

財政緊縮の必要上鐵道線路の建設計畫に變更を來す事は已むを得ざるべきも既に鐵道會議の議決を經て豫算に計上したる建設線に只財源不足の理由に依り削除又は繰延べる事は愼重なる考慮を要す、然るに政府は鐵道建設のためにする公債發行額を半減する計畫を定め昭和五年以降の豫算の編成を爲したる今日に於て各線路に對する當否を查覈し且つ本諮詢案に掲げる削除線路繰延べ線路に就ても重ねて充分なる考究を遂げ更に適當なる計畫を樹立せられん事を望む、而して現今鐵道會議に附議する場合に於ては豫算編成前充分なる餘日ある事を希望す右及答申候也

之に對し若宮氏の反對、大河內正敏子の答申に贊成あり、元田氏更に本諮問案に反對なりと述べ討論を打切り直ちに

採決に入 り馬場氏の答申案を採決多數で可決續いて諮問案を採決せるに之亦政友系議員反對したが多數を以て可決され斯くて五年度以降の建設計畫案は鐵道省の原案通り成立午後六時十分散會した

するは到底其の餘日なきを以て此諮詢案は之を承認す然りと雖も昭和六年度の豫算編成に當りては宜しく鐵道會議の議決を尊重し財政の緩急、自動車交通網等の關係を考慮し

法權の一方的態度 愈よ宣言に決す
昨日南京政治會議で

【上海特電二十八日發】かねて明年一月一日より領事裁判權の一方的撤廢を宣言すべく聲明してゐた國民政府は果して一月一日より撤廢を宣言するや否やにつき本年も押詰ると共に多大の注目を攤はれてゐたが、右に關し政府の採るべき方法を決定すべく二十七日、特に開會された臨時中央政治會議において討議の結果、左の如く豫定通り撤廢聲明すべく決定直ちに政府をして宣言せしむることに決定した

一、民國十九年一月一日より中國に居住し現に領事裁判權を享有する外國人民は一律に中國中央政府および地方政府の發布したる法規を遵守せしむ

二、外國人民を管轄する規定は國民政府速かに之を公布施行す

連絡運輸會議で 決定の主要事項
滿鐵は大體鐵道省案支持 竹森滿鐵涉外課員歸來談

鐵道省主催の第六回連絡運輸會議に滿鐵を代表して出席中であつた鐵道部涉外課の竹森愷男氏は廿八日入港の香港丸で歸連したが、船中語る

今度の會議は十日十一日に亘り東京丸の內鐵道協會において開催され出席者は滿鐵は勿論、朝鮮臺灣各殖民地の諸鐵道、及び內地公私鐵道並に船會社等二百五十餘の連絡運輸機關が集つたもので、主として協議された

主要項目 は鐵道運輸規定及び旅客運送規則、貨物運送規則、連帶運輸規則の改正案に對する打合せで主として明春四月一日より實施さるゝ鐵道省提案のメートル法採用、引渡責任期間の制定、要償額表示に關する規制定、船車連絡運送に關する規定については議論百出の有樣で殊に郵船會社大阪商船、外三船會社が頑強に此提案に反對し同意を保留したが、之に對し我滿鐵としては、あらかじめ朝鮮、臺灣當事者と下交涉の結果我が殖民地を代表して此案に對する動議を提出し大體においては

鐵道省案 を支持するとしてゐる、そんな工合で船會社との間が旨く行かなかつた關係で朝鮮經由は兎も角として滿鐵としては

大阪商船 との間の了解を得る必要があつたので特に同社の岡田東洋課長と懇談の末滿鐵の意向を容れて貰ふ事に交涉して引揚て來た、倘一噸額表示に關しては最初百圓に對し三錢の割合であつたが保險會社側からの反對で百圓に對し四錢の割合と云ふ事に取極めて來た

て但し殖民地としては已むを得ない場合があるとの條件付で贊意を表しておいた、從つて喧しかつたメートル法も愈々四月一日より行ふが臺灣朝鮮は細則までも總て內地鐵道同樣に行ふが滿鐵のみは單にマイルをキロに改めるといふ程度で、今後研究の上鐵道省案に從ふ豫定になつてゐる

上野萬世橋間 地下鐵開通

【東京二十八日發電】東洋一を誇る淺草、上野間地下鐵道の第二期延長線上野、萬世橋間一哩二分は最近工事完成し東京市は二十八日正式に認可の指令を發したので三十日試乘式を行ひ三十一日午前六時の始發から開通することゝなつた、停留場は上野廣小路、末廣町萬世橋の三ケ所が新に設けられ廣小路停留所からは松屋坂地下室と連絡し交通機關と百貨店の連絡も東洋に於ける初めての試みがされてゐる、なほ同線は第三期線として萬世橋、神田驛間の工事に着手の筈

金解禁の前後に 更に節約の運動
滿洲公私經濟委員會を主體に

內務、大藏兩省では明年一月十一日より愈々本邦多年の懸案たりし金解禁が斷行することゝなつたのでこの國民經濟更正の第一歩たる時期に際し一層公私經濟の緊縮をはかり財政經濟の基調を鞏固にするの必要があるので最近の第三回中央公私經濟委員會に於て左記各項を議決し內地は素より各殖民地も中央地方相呼應して之に對する適切なる方途を講ずる様各地に訓令したが關東廳でも廿七日右訓令に接したので金解禁前後に於ては滿洲公私經濟委員會を主體とし大々的の緊縮節約運動をなすことゝなつた

一、金解禁後に於ても尙國民精神の緊張を持續し消費節約、勤儉力行の實を收むるに努むべき旨地方に徹底せしむる様適切なる方法を講ずること

一、金解禁後に於ける國民の覺悟に關し簡易平明なるパンフレットを作製頒布すること

一、國產愛用の氣風を旺んにし內地產業の振興を圖ると共に國際貸借の改善に資すること

木彫の首相 濱口さん大喜び

【東京廿九日發電】福島縣選出民政黨代議士栗山博氏外福島縣有志は廿八日早朝首相官邸に羽織袴に威儀を正した濱口首相の木彫を持込んだ寄贈を受けた首相もおのれの風手に感心して喜んだが此木彫は高さ三尺にて福島縣の三木宗作氏彫塑にかゝるものである

人事

▲竹森愷男氏(滿鐵鐵道部涉外課員)廿八日入港香港丸にて歸連

▲厚東貞子氏(厚東要塞司令官令孃)同上

▲玉置周介氏(醫師)同上

▲井本義亮氏(會社員)同上

▲大內佐藏氏(新任小崗子警察署長)三十日午後八時三十分發列車にて着任の豫定

▲小林貞一氏(關東廳警務課勤務)轉任挨拶のため二十八日市內各方面應訪

訓導教諭の異動
新小學校公學堂開校に伴ふ

昭和五年度より開校される沙河口秋月公學堂及び下藤小學校の堂長校長任命に伴ふ訓導教諭の異動及び公學堂視學の異動は二十七日附で次の如く發表された

命大連下藤尋常小學校開校事務取扱(口頭)	訓導(旅二)	小川興市
命大連日本橋尋常小學校勤務	訓導(松林)	中川亥三郎
命大連下藤尋常小學校長兼務	訓導(日本橋)	古川鎭義
命大連下藤尋常小學校勤務	訓導(大廣場)	小林貞重
命旅順第二尋常高等小學校勤務	訓導(朝日)	坂本信一
命大連松林小學校勤務	視學	谷口林右衞門
任關東州公學堂教諭 補大連沙河口公學堂長	公學堂堂長	小林宗之助
任關東廳視學 補民政署勤務	視學	原顯吉
命大連民政署勤務	教諭(金州)	中山右三郎
任關東廳視學 補貔子窩民政署勤務	訓導(旅師)	中田正臧
任關東州公學堂教諭 命秋月公學堂長兼務	教諭(西崗子)	白石寬
命大連秋月公學堂開校事務取扱		

加藤大將に 旭日大綬章賜ふ

【東京二十八日發電】天皇陛下は二十八日午前十一時半鳳凰間に出御濱口首相、下條賞勳局總裁侍立の上左の如く加藤軍令部長に旭日大綬章御親授遊ばされた

海軍大將從三位勳一等功三級 加藤寬治

授旭日大綬章

大觀小觀

若槻全權、堂々とロンドンに乘り込み、最も率直に、日本の立場主張を開陳してゐる。

◇

脅威なき國防の保障が可能である以上、最少限度の縮小艦隊に異存はない筈。

◇

すでに日本は對英米七割を保持せんとす、些の侵略、横權の意圖なきは明々白々ではないか。

◇

緊縮節約の藥が利き、年末の經濟界、すこぶる驚鬪に總期せんとす。

◇

獨り經濟界のみならず、一般社會の事情向きも內容すこぶる充實し居るもの如きは同慶の至り。

天 豫 氣 報

二十九日北東の風(曇時々晴)

各地の溫度

	十一時	昨日最低
大連	零下七、二	零下九、二
旅順	同 五、三	同 九、四
營口	同 一一、三	同 一五、九
奉天	同 一一、六	同 一六、五
長春	同 一二、二	同 二二、〇

大邱の大陰謀が爆彈事件から發覺
鮮銀支店前で重傷者を出す
けふ記事解禁

【京城二十八日發電】昭和二年十月十八日午前十一時四十五分大邱府十二間道路（南町四ツ角）朝鮮銀行大邱支店前に於て爆彈が炸裂し多數の重傷者を出した事件があつた、大邱地方法院では直ちに記事の掲載を禁止し捜査の結果慶北道廳、鮮銀、殖銀支店の如き大邱の重なる官廳、銀行會社の爆破の陰謀を企て更に第二次計畫として軍隊警察署を破壞せんとする恐るべき陰謀を企てゝゐる事發覺、昭和四年二月中旬慶北警察部高等課の手に依り事件發生後一年五ヶ月振りに逮捕され爾來審理中の處今二十八日正午新聞記事の解除をなすに至つた

鮮銀支店長への贈物
それが恐しい爆彈
門外に持ち出したのを蹴り
大音響と共に爆發

昭和二年十月十八日午前十一時半朝鮮銀行大邱支店の受付に一見二十歳位の客引風の朝鮮人が白い包みを「朝鮮銀行支店長御中」と記した用件を聞くと蜂蜜の見本を持つて來たとの事で一應品物を見ようと言ふことになり吉村主任は編地氏と共に包を解き小箱の蓋を開けて見ると何となく

火藥臭い　香がする不審に思つて上に被さつた新聞紙をめくると中から現はれたのは疑いもない爆彈、しかもその兩側に差込んだ懷爐灰が燃え將に導火線に燃え移らんとしてゐるので大騷ぎとなり件の青年を引捕へると共にこの旨警察署に急報し一方吉村主任は鋏で導火線を切り小使を呼んで殘る三個の包と共に之を門外に持出させた、大邱署では時を移さず十數名の警官隊を現場に急派した、この時門外に持出された包の中には煙をあげて居るもあつた、その正體を確めるため一人の警官がその一個を蹴飛ばした

途端轟然　たる一大音響と共に爆發し一發また一發と爆發した、その刹那現場は極度に混亂し血煙をあげて倒れるもの右往左往に逃げ惑ふもの色を失ひ顚倒するものなど忽ちにして阿鼻叫喚の巷と化し宛ら生地獄を展開した、三發の爆音を耳にした大邱署では直ちに署員の總動員を行ひ警察部憲兵隊からも多數の巡査憲兵を繰出して全市に非常警戒網を張り道

重臣を召し御賜饌
けふ豐明殿で

【東京二十八日發電】天皇陛下は歳末に際し元勳優遇の御思召から西園寺、東郷、山本三大勳位、濱口首相以下國務大臣、倉富、平沼樞府正副議長以下顧問官、高橋、清浦二前官禮遇等親任官以上四十六名に對し特に御慰勞御陪食の御沙汰あり、西園寺公、松岡顧問官を除いていづれも二十八日正午參內豐明殿で酒饌を賜り御陪食仰付けられた、終つて千種間に於て茶菓を賜はり御歡談の上陛下は一時半入御諸員は感激退下した

入した二つの包みを差出し無言のまゝ佇んで居るのを國庫係の編地興三氏が發見し隣席の庶務係主任吉村源氏に注意した、吉村主任が

在滿邦人の獻金を大藏省で正式に受け付る
國債償還資金の獻納金として

關東廳では過般來陸續として集まる在滿同胞の獻金取扱に關し豫て主務省へ照會中であつたが、今般拓務、大藏兩省協議の結果、地に於ける獻金同樣各植民地同胞の獻納金は之を國債償還資金獻納金として大藏省の一般會計歳入として受入れる旨の正式回答あり同時に關東州及び滿洲に對しては西山關東廳財務部長を歳入徵收官とし各民政署長支署長警察署長を當分掌官に任命して獻金の正式受入れをなすことゝなつたが、過般來任意關東廳に獻納保存中のものは奉天、大石橋、本溪湖、安東、四平街の分で四千七百八十一圓四十九錢及公債勸業債券、復興債券七百五十圓で旅大其他の分を合すれば既に數萬圓にも達してゐるであらう尙獻金は原則として現金を受入れるもので債券は之を現金に代る事となるので之に就ては一々本人に照會その諸解を得たる上適宜賣却する由

押し迫る年の瀬に禪修行

胃散の空罐に火藥を裝塡
各首腦者に宛てゝ
蜂蜜の見本を裝ふ

鮮銀支店に爆彈を持參した客引風の怪青年は取調の結果、原籍全羅南道羅州郡鳳凰面掛村里現住所大邱府前町四番地德興旅館こと金乘旭方の客引朴會宣（二〇）といふもので同日朝十一時頃年齡三十歳位の

朝鮮服を　着た一人の青年が來て朴を呼び蜂蜜の見本と稱して四つの包を出し鮮銀支店、道廳、殖銀支店に配達する樣依賴し使賃として四十錢を與れたと申し立てゝゐる、四つの爆彈は須藤知事、杉本警察部長、坂井鮮銀支店長及び山本殖銀支店長に宛たものである

爆彈は太田胃散の大型の空罐に火藥を詰めこれに鐵の破片を混じてダイマナイト用の雷管を通じ兩側に懷爐灰を取りつけ更に之れに導火線を結びつけ朝鮮紙で密封し新聞紙で二重三重に包み小箱に納めたものを更に

密封し　表面を白紙に包んだ上毛筆で「蜂蜜五百瓦入り代金三圓五十錢也、大邱府南山町三九吉岡商店出」と認め兩銀行宛てのものには「若し不用の場合は支配人に渡して貰ひ度い」と云ふ意味の添書きがしてあつた

負傷者は大邱署刑事部長裴炳烈、田子部長、長野部長鮮銀の給仕石井公正及び通行人三名である

爾來法院をはじめ主なる官公署又は銀行會社には武裝警官を配置し一流富豪の家庭には私服巡査を潛伏させ　旅館、飮食店は勿論普通の民家に至る迄虱潰しに取調べを行ひ蟻一匹も逃さじと大活動を續けた結果同日夕刻までに容疑者として朝鮮人四名支那人一名を檢擧した

內地人も加り一味十五名
三名は檢擧前に自殺

事件に關係あるものは十五名であるが中三名は事件の發覺を恐れて檢擧前自殺を企て十二名は一網打盡的に逮捕されたが關係者中には內地人二名も加はつてゐた

慶北漆谷郡仁同面玉溪洞三五二　主犯賣藥商　張鎭弘（三四）
慶北永川郡永川面倉邱洞一三一
旅人宿兼用事　金明淑（四九）
慶北全山郡海平面　無職　黃國瑞（四二）
同　上　無職　朴觀永（二八）
慶北永川郡永川面門外里　土木建築業　小林峰治（四九）
同　上二　飮食店　李鳳稙（四二）
大邱府達城町三〇四ノ一　牛車夫　金商翰（四五）
慶北漆谷郡仁洞面玉溪洞　朴文善（五二）
慶北漆谷郡生れ　時計商　張以煥（三二）
京畿道安城生れ　鄭光洛（三九）
全羅南道羅州郡鳳凰面德林里　客引　朴會宣（二三）
▲自殺した一味
慶北漆谷郡仁同面眞鉢洞　基督教人　李乃成（二七）
同　上　賣藥商　張容熙（二三）
大邱府七星町

堀切茂三郎（四九）
右の中李乃成は昭和二年十二月十三日京城で張容熙は三年五月十七日河陽で自殺し堀切は二年十月二十二日大邱七星町誠川方で爆藥で自殺した

秦東日報の發行權確認
阿部氏の勝訴

秦東日報社長阿部信言氏を相手取り金子雪齋翁の遺子金子亨氏が提起した同新聞發行權確認の民事々件は第一審に於て原告敗訴の判決があつたが、阿部氏の控訴により旅順高等法院覆審部にて審理中のところ二十七日辯論の結果、第一審の判決を變へし原告勝訴の判決が下された

草人の歡迎會

【東京二十八日發電】二十七日午後六時から東京會館で上山草人氏歡迎會が開かれた、出席者は正宗白鳥、久米正雄兩氏夫妻、佐藤春夫、中村吉藏、鈴木傳明、栗島澄子、水谷八重子其の他文壇劇壇映畫界多數の外櫻井忠溫、土居通豫、藤原義江氏等約二百名で盛會であつた

少年諸君に快報

少年倶樂部新年號には日記と繪卷とかるたの三大附錄つき、トテモステキ！早く買はぬと賣切れます

常盤座開館
一般の公開は卅一日から

連鎖商店內映畫常設館常盤座は既報の如く電動機及び原動機使用認可の關係上年內の問題は危ぶまれて居つたが、廿八日附けを以て關東廳にて許可になつた旨所轄小崗子署に通報があつたので愈々明日九日より二日間各關係者を招待し三十一日より華々しく開館することに決定したが、上映々畫は既報の如く「ヴオルガ」及び「大利根の殺陣」で正月第一週は一豫定を變更し東亞の「貝殼一平」とマキノ作品「母校の名譽」を上映する

ロシヤ大使が左團次を招待

【東京二十八日發電】ロシヤ大使トロヤノフスキー氏は昨年夏露都モスクワに始めて日本歌舞伎劇を紹介した市川左團次に對し國際交換の勞を犒ふために二十七日午後七時半露國大使館に招待して一夕の饗を催し、左團次等主客十三名歡談を重ねた

假裝舞踊會
大連クラブで

大連クラブの年中行事のうち最も華やかなクリスマスとニユー、イヤー、イヴを兼ねた假裝舞踊會が今夜九時から開催されるが、男女とも假裝優勝者にはそれ〴〵賞品を出す等餘興で賑ふと

警笛で馬が狂奔
苦力の群に飛込み大騷ぎ

市內北崗子十九番地荷馬車夫田軍（二七）は廿七日午後五時五十分ごろ埠頭より歸途市內美濃町派出所附近を通行中同所を通り合せた自動車の警笛に田の補助馬が驚き鎖を切斷して自宅に向つて逸走し十三番地附近にて苦力の群に飛込み逃げ後れた同二十番地居住の王增令（四二）及び武鐵功（六〇）は路上に滑つて全治まで二週間を要する負傷をなし他の氏名不詳の老人一名は腦震盪を起して人事不省に陷り目下宏濟善堂に入院治療中であるが、何れも見舞金として小洋二元を出して示談解決した

日鮮學生騷ぐ
檢束者の釋放陳情で

【東京二十八日發電】廿七日午後七時頃神田神保町附近で日鮮人學生百數十名が喧嘩騷ぎ居るを錦、西神田署に鮮人勞働者金某（三〇）外百餘名、日本學生數名を檢擧取調べを行つたが、原因は某植民地共産黨事件で現に約二百餘名檢束留置され居るので即時釋放を文部省に陳情に行かんとしたが、夜の事でもあり中止を命じたが、聞き入れぬ爲めである、結局首謀者十餘名を留置し他は釋放した

正月用品を滿載した
香港丸入港

鱈魚に、松竹梅の盆植に、蜜柑に昆布にお正月の香ひが高い貨物を滿載して內地定期船香港丸が入港した、內地よりの入港船はあと一船あるがお正月用品は殆ど今日の入港船がさらつて持つて來た形お客さんもお正月をお父さんやお母さんのところで過ごす書生

續々と豐富な水源が州內で發見される
金州驛附近に次ぎ三十里堡で
有望な水源の調査

滿鐵では過去數年來滿鐵地質調査所に依頼して關東州內に於ける水源調査に大童となつて居り關東廳土木課でも飮料水並工業用水源の發見に懸命の調査を行つて來たが最近金州驛前附近に湧水量一日約五、六千噸の水源を發見し更に又滿鐵土木課が昨年六ケ所本年三ケ所掘鑿して悉く失敗した三十里堡の大連農事會社所有地內の水田灌漑用鑿井工事も最近に至り一ケ所湧水量極めて豐富な水脈に掘當てたるもの如く現在では約三千噸內外に過ぎないが工事の進行に伴れ同所は三十里堡附近より金州にかけての大斷層中に位し一日約一萬噸（大連市上水道の平均一日供給量）にも達する見込確實となつたので關東廳側では旣に活氣づき同所の今後の工事は內務局土木課で引受けて續行することゝなり滿鐵側に交渉、諒解を得たが從來各地共湧水量極めて貧弱と斷定されてゐた州內にかて續々豐富な水源が發見されんとしつゝあることは產業上其他の見地から頗る注目されてゐる

埠頭ビルに救助袋
各階廊下に

さんやこの年暮を目指して流れ込んでくる花柳界の新妓達、さてはこの年末年始の休みを利用して滿洲見物と洒落込んだサラリーマン等珍らしく賑つた顏ぶれですよと吉田同船事務長はホク〳〵し乍ら語つた

今夏の失火に鑑み埠頭ビルの防火設備に就き大連鐵道事務所では今回非常用として同ビル內の二階以上各階廊下に救助袋を備へ付ける事となつたと

麻生選手國際スキー大會へ

【東京二十八日發電】二月二十三日よりノールウエーのオスロで開催の國際スキー大會に日本代表選手として參加する麻生武治君は二十七日午後九時二十分東京驛發「やつて來る」の一言を後に北歐に向つた

バス運轉時間
暮れて延長

滿電では歳末多忙のため一般市民の便宜を圖る目的で市內バスの運轉時間を左の如く延長することゝなつた

▲日本橋線　二十九、三十日兩日は午後十時まで、三十一日は同じく十二時まで
▲聖德街線　二十九、三十の兩日は午後八時まで三十一日は同十二時まで

門松を盜伐

沙河口管內西山會魏家屯廿一番戶荷車業程義神（二七）は去る廿六日午後一時卅分ごろ使用人運全神（二七）と共に魏家屯北方私有林內に於て門松にて一儲けせんと松樹（幼樹）生十三年生）を約五十本伐採して居るのを同所監視人に發見され沙河口署へ突き出された

沙疊燈臺消燈

天津海關より當地海關への情報によると白河附近にある沙疊燈臺は故障の爲め消燈したが同箇所は頗る危險箇所である關係から直に當地海務局に屆出づるところあり海務局においては更に大連無電局に依頼して至急航行中船舶に對し右事情を放送注意を促すところあつた

藤根家不幸

滿鐵理事藤根壽吉氏次女安子孃（一七）は大連醫院に於て病氣加療中のところ二十七日午後八時七分死去告別式は二十九日午後二時より譚家屯產業會館にて執行すると

入院患者へ

二十八日大連署では救濟基金の內より慈惠病院入院患者へ歳末贈品として石鹼三十八個、手拭三十八本、タオル三十八枚、現金七十六圓を贈つた

台所メモ

品名		最高	最低
にんじん	一斤	七	二
ごぼう	同	七	三
れんこん	同	一〇	七
せうが	同	八	六
じやが芋	同	四	三
さと芋	同	七	五
やま芋	同	一〇	七
かぶら菜	同	四	二
白菜	同	三	二
ほうれん草	同	七	四
みつば	同	一五	八
ねぎ	同	五	四
大根	同	四	二
みかん	同	八	六
水菜	同	八	五

平安異香（213）

葉多默太郎作
中一彌畫

奔流（二）

木幡の高瀬に近い瀬の野端、眼を濡く包んだ滿黄の蠅豆、水呑百姓の姿――女に逢ひに行く春光だが、世の噂を歩いてゐる身には、止むを得なかつた。

人目を避けるつもりで、三條から河原に下りて、約束の二條大橋へ急いだ。人に怪しまれぬやうにゆつくり歩くつもりだが、半歳前のこの春に、何ともなく別れたのが永の別れとなつて、それ以來入れ違ひ、どんなにしても逢へなかつた幸が、今そこに待つてゐると思ふと、つもりはつもりでも、首が先へ拔けて行くやうで倒れさうになる。倒れさうになるから歩が早くなる。これも止を得ないことだつた。

五條大橋の目近になつて、西詰を見上げると、松の古木の蔭の繁から、チラ〱女の着物が見える新だしさうになる歩を押へて見てゐると、四辻の道々を見ながら、女の姿が辯の陰から現はれた。

「おう、幸だ、幸だ」

春光の胸は叫んだが、永の辛苦を狼狽せて、ひどく窶れた姿になつてゐる幸を見ると、ぐつと胸が詰まつて走れなかつた。

手をあげて合圖をしたが、河堤の並木道や橋の方ばかりに氣をとられてゐる様子で認められない。幸は、微笑と涙とを湛へた眼に空を見ながら、靜かに歩いて行つた。

が、ふと、その春光が佇立した。そして、河原に跪みこんでしまつた。

橋の西詰に近い柳並木のこゝそこに、隱に二人、三人の姿を見たからである。

蹲みこんで、橋詰りの陰から様子を窺ふと、すつかり消えて一人も見えない。

をかしい――もう手が廻つてゐる――さう思つて見ると、橋の下に藁をかぶつてゐる乞食も、河原で釣をしてゐる男も、様子に怪しいところがあるのだつた。

が、幸を目の前にして、逃げることも、引返すことも出來る筈はない。春光は少時様子を見てゐることにした。

すると、幸が怪しい男に氣がついたらしく、微にそわ〱し始めた。頻りに左右の道を氣にしてゐるかと思ふと、ついと松の繁を離れた。

逃げるつもりらしい――

春光は跳びあがつた。

「幸、幸、おうい、おうい！」

叫びながら走つた。

ふつと振返つて、幸は春光を見た。

「わしだ、わしだ、春光だ！」

「あゝ」

轉がるやうに、幸は堤を駈下りた。

やぶれかぶれだ。一緒に死んでやれ――

兩方から馳寄つて、倒れかゝつた幸の身體を、春光は潰れてしまへと抱き締めた。

「いやです、いやです。あたしは厭です。もう死んでも離れない」

胸に顔を埋めて、幸は囈語のやうにいひ續けた。春光は女の頬に顔を押しつけて、石のやうに動かなかつた。

「一緒に死んでやらう、一緒に」

「えゝ、えゝ、さうです、さうです、一緒に死にませう一緒に――離れたら、またあんなになつて、しまひます」

一つになつた二人の周圍には、七、八人の男が人垣を作つて立つてゐた。

中に牛飼姿のからつけつの雜兵がゐる。赤穴の太吉がゐる。町人姿の高倉四郎がゐる。

「へゝゝ、こいつはどうも、とんだ馳走だな」

雜兵衛が、口を掴んだ手で、トンと太吉の背を叩いた。

「引括れ」

と高倉四郎が顎をしやくつた。

「幸、畜生」と春光が叫んだ。同時に、キラツとひらめいたものがある。

「チ、畜生！」

二、三人が同時に躍りかゝつた。その時、橋へかゝつた一挺の輿があつた。河原の騷ぎに輿を止めて、ぢつと見てゐる様子だつた。

映畫と演藝

料金で行く浪速館

（五）正月映畫陣

料金値下を斷行して大連映畫界から注目されてゐる浪速館にては正月興行も亦、所謂特別興行の看板になる料金の突飛な値上げを行はず階下最高料金四十錢として大衆向きプログラムを組み料金の競爭によつて他館を壓倒すべく作戰をめぐらしてゐる。第一週の番組はマキノ時代劇根岸東一郎主演「一盗まれた大九郎」とメトロ映畫バスターキートン主演「西部成金」の喜劇二本に阪東妻三郎主演「近藤勇」第一篇を上映、第二週はマキノ時代劇「彌次喜多京の卷」の喜劇とデニーの「私のパパさん」及び松竹映畫は「民族の叫び」で第三週は松竹映畫が市川右太衛門の「高杉晋作」の豫定で其他は未定である、また變更は正月興行より東亞キネマを上映せず河合プロのみとなつたので現在決定せる第一二週とも河合プロの特作品を上映するが、第一週は五社聯映の藤井龍之助主演オールスターキャストの「貝殻一平」と現代劇中方一平・佛冥久子主演の「夫婦職業異狀なし」の二本立であるが、常盤座が豫定通り第一週に東亞の「貝殻一平」を上映すれば鬩らずも大連で河合と東亞の競映となりファンの興味を唆つてゐる、第二週は時代劇坂山純之助琴糸路主演「落葉ケ原決鬪記」及び軍事美談「金子二等卒」で第三週以後は未定である【寫眞はキートンの西部成金】

少女歌劇 愈よ生る

新春早々公開

子供達の本當の世界を造る爲にとかねてより村岡樂童氏や西村不二氏が盡力して居た運動が成功して愈々明年新春一月四日五日の二日間滿鐵協和會館に於て大連少女歌劇主催、大連高等音樂院後援にて「お伽歌劇と童謠舞踊の會」が開催される事になつた、此の會は從來の如き營業的であつたり、職業的であつたりして最も重要な子供の純對性を犯さないのが目的で、其の意味に於てプログラムも非常に注意して選ばれたとの事である。當日のプログラムは次の通りである

（一）謠舞踊（イ）赤とんぼ（ロ）狐の提灯（ハ）南京言葉（ニ）雀のおどり
（二）表情舞踊 茶目さん
（三）滿洲民謠舞踊（イ）朝（ロ）絹布賣り（ハ）片帆貝（ニ）小平島の娘
（四）お伽歌劇 白玉野
（五）ボートビル
（六）舞踊劇 初夢

けふの船でパラマウントから發聲映畫裝置機と技師が來たが會館は電氣に設備がないためにあす午前十時から大日活でやることになつた▲お千代さんと言つた方が通りがよい浪速館主の吉田氏夫人が亡くなつた▲常盤座は開館が豫定より遲れたために既報の正月プロは順送りとなつて一部變更されるらしい▲浪速館の「影法師大會」は何回目かの再上映ではあるがこの映畫は不思議な位ファンの吸引力を持續してゐる▲演藝館では昨日晝間を休んで本家で恒例の囃子鳴物入りの賑やかな餅搗きをやつた▲年末は各館とも大抵大晦日は休館するが浪速館は休まないとのこと▲協和會館は大連少女歌劇でお正月の幕をあけることに決定

買物ニュース

▲小賣販賣の合理化を標榜して今回船場世帶道具店が損賣を廢して斷然現金賣を開始した▲これによつて店は薄利多賣、顧客は良品を安價に買へると云ふので一擧兩得だと評判が良い

滿洲日報

議會解散の決意 首相未だ明示せず

だが休會明け後斷行さいふに 政府側の意見一致

【東京二十七日發電】與黨の非戰的態度によつて年内の政局は極めて解散的氣分の中に推移し弛緩狀態に陥つたが、政府は二十七日の院内閣議に於て濱口總理より二十七日與黨の長老仙石、山本兩氏との會見内容を報告したるを始め各閣僚よりそれ〴〵

貴族院 政友會その他政界各方面の情勢を交換して解散回避の爲めにする倒閣陰謀宣言の警戒對策、休會中の政府與黨の結束、解散の時期等に關し協議を遂げた結果

明けの政府の施政方針演説に對し相當の質問を許しその間適當の機を捉へて解散を斷行するといふに意見の一致を見た、然し濱口總理は未だその決意を明示せず各閣僚の意見と與黨長老その他の意向を斟酌して默考の狀態を持してゐるから、今後政界の動き如何を見て

最後の 肚を極めるまでには尚相當の日子を要するものと見られてゐる

政友會は休會明け劈頭不信任案提出の意なき旨を明示したがその半面に於て今後益々陰險なる手段を以つて政府を傷け解散を回避せんとする意圖が窺はれる更に倒府及び貴族院の一部中間派は

財界に 於ても此の運動に加擔せんとする氣配が窺はれるから、政府與黨は益々結束を固くして極力警戒すると共に休會

豫算委員決る

【東京廿七日發電】第五十七議會衆議院豫算委員の顔觸れ左の如し

政友會 井上孝哉、吉木陽、木暮武太夫、寺田市正、鳩山一郎、内田信也、長島隆二、吉植庄一郎、牧野賤男、胎中楠右衛門、菅野善右衛門、東武、高橋熊次郎、鳴海文四郎、平田喜三郎、田邊熊一、島田俊雄、石坂與一、大口喜六、瀧正雄、岸本康通、福井甚三、水島彦一郎、原惣兵衛、岡田忠彦、神鳥謙三、名川侃市、三土忠造、須之内品吉、成瀬信愛、大内暢三、松野鶴平、志波安一郎、中山貞雄

民政黨 高木正年、清水德太郎、永田善三郎、土屋清三郎、西村丹治郎、神部爲藏、下元鹿之助、田昌、小野重行、坂東幸太郎、森田茂、神田正雄、工藤鐵男、重松重治、櫻田若水、前田房之助、海老澤爲次郎、斯波貞吉、川崎安之助、鵜澤宇八、高橋元四郎、末松偕一郎、堤康次郎、粂安新九郎

其他 田崎信藏、河崎助太郎、安部磯雄、奥村甚藏、太田信次郎

解散斷行を決議 民政黨關東代議士會

【東京二十七日發電】民政黨關東代議士會は二十七日午後五時より會議の結果左の決議をなした

決議

速かに議會を解散し政界を淨化して金解禁と共に我黨政策の遂行を期す

小泉策太郎氏 結局政界引退か

復黨の望みも絶にて

【東京二十七日發電】政友會靜岡縣選出の松浦、倉元、庄司、山口大瀧、松本各代議士は二十七日午前院内幹部室に森幹事長と會見、小泉策太郎氏の復黨問題につき縷々に要求したる同氏の復黨の件の諾否を聞き度いと希望する處あつたが、森幹事長は出來るだけ努力はするが黨内に多數の反對者もあり黨内紛擾の恐れあるを以て今暫く猶豫されたいと諒解を求めた、結局復黨困難で政界引退の外なきものと見られる

全節約額は 二億六千萬圓

明年度豫算に於ける

【東京二十七日發電】各植民地製鐵所を始め三十四特別會計の明年度豫算は鐵道省に未定のものあるほか二十七日までは略全部の決定を見た、その結果大藏省主計局の計算によれば特別會計既定經費整理節約總計額は左の如くである(單位千圓)

整理總額	一三四、五〇〇
節減額	四四、六一〇
繰延額	八九、八九〇

之れを一般會計の節約額一億二千五百四十九萬二千圓を通算すれば明年度豫算に於ける整理節約總額は二億六千萬圓に達する譯である

懲罰、決算、請願 各委員長、理事も決定

【東京二十七日發電】衆議院各常任委員長、理事互選の結果左の如く當選した

懲罰委員長 川口義久(政)

理事 鈴木安孝(政)

同 宮澤裕(政)

同 三浦虎雄(民)

決算委員長 佐々木平次郎(政)

理事 加藤知正(政)

同 武藤七郎(政)

同 西脇晋(民)

同 出井兵吉(政)

同 定塚門次郎(民)

同 河上丈太郎(無產)

同 阪本春太郎(民)

同 櫻野禮助(無所)

請願委員長 生田和平(政)

理事 山下谷次(政)

同 飯村五郎(政)

同 鈴木吉之助(政)

同 小瀧辰雄(民)

正式會議は露都で 兩軍は既に撤退を開始

勞農代表一行は卅日頃に歸哈

蔡全權記者に語る

【奉天特電二十八日發】露支交渉支那側全權蔡運升氏は本日ヤマトホテルに於て記者に對し左の如く語つた

東鐵問題解決の露支第二回會議は一月二十五日モスクワで開會することに大體内定してゐるが未だ決定した譯ではなく張司令長官と協議の上初めて確定する譯である、國境の露支兩軍は二十四日頃から既に撤退を開始してゐる、歐亞連絡も愈々近く恢復することになりこれに關する一切は新管理局長ルデイ氏に一任してゐる、露國側一行は多分三十日頃歸哈すべく新正副局長の就任式は歸哈直後に擧行される筈である

物を見ると東部線のもの五八車、西部線一七九車、南部線三三車、合計寛管區一一九車、其他六車合計

三九五車 であつて今の所未だ通過機關通に對する影響は現はれてない

國境の勞農軍は 既に引揚を了る

田中領事よりの報告

【ハルビン特電二十八日發】田中領事より駐露田中大使への報告によると滿洲里のロシア衛戍司令官は二十四日海拉爾軍隊と共に全部露領に撤退した、ポグラニチナヤからもまた哈府に引揚げた

拘禁露人を釋放

愈よ明三十日を以て

【ハルビン特電二十八日發】ストツペドイツ總領事はロシア人拘禁者につき二十八日シマノフスキー氏が歸哈するので二十九日シマノフスキー氏と會見し一切の拘禁者に對する事務を引繼ぎ委任を解除するが三十六名の政治犯を含む拘禁者は三十日釋放さる筈、なほシマノフスキー氏は向はぬ由

邦人救濟の列車

滿洲里へ運行を計畫

【ハルビン特電二十七日發】滿洲里海拉爾の邦人救濟の爲めハルビン居留民會にては一般の寄附を受け西部線開通と共に救濟列車で輸送すと

英露交換公文發表

【ロンドン二十七日發電】英外相ヘンダーソン氏と駐英勞農大使ソコルニコフ氏間に交換された公文が六日公表されたが右は英國とイランド及び勞農ロシアが互に宣傳禁止の約束をしたものである

海軍會議全權に 永井駐白大使を

小幡公使問題は外相に一任

【東京廿七日發電】二十七日の院内閣議に於て幣原外相は軍縮問題につき左の如く報告した

我全權一行は愈々本日着英、茲に各國一致の希望に基き本會議の暗礁を豫め除去すべく

最後的 豫備交渉が行はれる譯であるが、七割比率、潜水艦自主的保有量要求その他についてはまだ猜疑の念を持つてゐる英米は之を牽制する爲め或種の代案を持ち出すものと豫想され當局は之が對策を慎重考究中である、然し我が根本方針は飽くまで貫徹に努める筈である、本會議の運命は豫斷を許さぬが我國は飽くまで會議の成功を圖り何等か意義ある協定に達せしめる

熱意を 持つてゐる就ては全權に駐白大使永井松三を追加任命したい

と諮り承認を得、更に國民政府の小幡公使拒否に對する外務省の措置につき報告諒解を求めたが本問題は總て外相一任と決定した

露支和平こ 北滿貨物

まだ變動無し

露支和平により久しく閉鎖されてゐた浦鹽線も近く開通するが北滿貨物の輸送狀況を見るに十二月中旬既に百六十萬噸を南行せしめてゐる、前年に比較すると八十萬噸の輸送超過であるが假りに浦鹽線が開通しても艦船契約の關係上今日までの南下貨物が直に東行するものとは見られてゐない、勿論露鐵は貨物の爭奪策として當然運賃引下を斷行するであらうが特產商筋も此運賃引下を見越して荷出を差控へるものとせねばならぬから南下貨物の自然減少は免れまい、然し二十六日長春引揚ぎの南下貨

廿七日着奉した勞農代(奉天驛にて)

▲向つて左より三人目カスマイロフ氏▲四人目蔡運升氏(全權)▲六人目(シラガノ露人)▲シマノフスキー氏(全權)▲七人目李紹庚氏

閻氏再び和平通電

目下張學良氏と打合中

【北平二十六日發電】閻錫山氏は第二次和平通電を發すべく目下張學良氏と交渉中で通電の内容は第一次の分に比し一層強く停戰和平の要を力説し政治的改革を促し對時局態度を相當明瞭にするものと云はれてゐる

蔣閻の政權授受 圓滿に進む

新春早々には實現か

【北平二十七日發電】蔣閻間の政權授受問題は極めて圓滿に進行しつゝあり、新年早々に實現すべく期待されてゐる、授受の形式は陸海空軍總司令蔣介石氏が北伐完成改組派打倒の功成り名遂げたので政府主席を副司令閻錫山に讓らんとするものである、閻氏は恐らく南京に行かず北平に於て軍務を統轄し政務は胡漢民、譚延闓の何れかゞ南京にあつて處理すべく、時局の變動なき限り此の筋道を進むべしと云はれる、北平にある山西派要人は右協議のため閻氏の召電に依り急遽太原に赴いた

鐵道會議 原案を可決

【東京二十七日至急報】問題の鐵道會議は本日午後二時半より首相官邸で開會、質問應答討論の後原案を可決し、結局五年度以降鐵道建設計畫は政友會側議員反對せるも多數を以て原案可決し六時十分散會した

國勢調査の勅令

【東京二十七日發電】明年十月一日行はれる國勢調査に關する勅令(昭和五年國勢調査施行令)及省令(昭和五年國勢調査施行細則)は二十八日附官報を以て公布する

唐氏討伐以外に 重大目的あるか

山西軍の軍事大規模

【北平二十六日發電】南下出動せる山西軍は頗る大規模にて閻錫山氏從來の態度から見て唐生智討伐の一事のみを以てしては甚だ大袈裟に過ぎると云はれてゐる、即ち山西南部に二ケ師、鄭州に三ケ師、山東省曹州に一ケ師、其他現に平漢線上に動きつゝあるもの二ケ師計八ケ師で山西としては空前の軍事行動である

唐軍包圍

【徐州二十七日發電】山西軍の孫殿英氏の部隊は昨日鄭州に赴き又楊愛源軍は新鄭に到着したので、唐生智軍は今や各軍に包圍され遠く全軍武裝解除の運命に陥る外なしと見られるに至つた、中央側の消息によれば唐生智氏は既に逃亡して天津方面に去り彼の叛亂聲明は發表されたと云ふ

小幡公使問題で 再考を求む

國民政府に對して

【東京二十七日發電】小幡西吉氏の駐支公使任命問題につき國民政府は過日駐日公使汪榮寶氏をして公使館參事官現、領事歲可撤即時撤廢を條件として提出せしめ小幡氏と二十一箇條條約成立當時の折衝とを結び附けてアグレマン拒絶を傳達せしめたが、外務當局は此支那政府の國際信義無視の態度を極度に憤慨し對策を講究中で

仙石總裁 拓相こ懇談

【東京特電二十七日發】仙石滿鐵總裁は二十七日午後三時半拓務省官邸に松田拓相を訪問、約一時間に亘り懇談したが右は上京挨拶を兼ね滿鐵事業其他滿鐵の事業につき近情を大體に説明するところあつたもの〻如く之に對し拓相は目下外務、拓務兩省間に於て調査考究してをる在滿鮮人保護問題、滿鐵附屬地行政改革問題などの審議經過につき詳細に説明し、之に關する總裁の意向を叩き種々重要なる意見の交換をなした模様である

在滿鮮人 保護問題

明春具體案協議

【東京特電二十八日發】目下外務拓務兩省の間に調査講究中の在滿鮮人保護問題に就いては當然齋藤朝鮮總督の意嚮を徴する事が重大であるから來春早々上京する齋藤總督の上京を待つて濱口總理、幣原外相、松田拓相などが會合して其具體的方法に就き協議することになつた、其際朝鮮治安に就いても齋藤總督より種々説明しこの兩問題は同時に解決を圖ること〻大體の豫定を決定した模様である

大連汽船の 造船申請

近く認可されん、

【東京特電二十七日發】大連汽船の汽船新造七隻計畫のうち四隻(何れも四千五百噸級)の新造は山本前滿鐵總裁時代既に決定してゐたが、内閣の更迭により拓務省の認可に就いて行惱み、其儘一時保留の形となつてゐた、然るに最近仙石總裁はその實狀調査の結果これに裁決を與へたので、滿鐵はこの程右新造船の認可申請を拓相に提出し目下審議中で近く認可を見る筈

住宅組合へ 簡保貸付け

昭和四年度第三回簡易保險積立金運用委員會の貸付内定會議は去る十七日遞信省内で開かれたが、各種申込に就き貸付可否審議の結果滿洲からの申込に對しては左記住宅組合住宅建設資金十六萬二千圓を貸付のことに内定した

白菊住宅組合四萬圓▲協和住宅組合三萬六千圓▲記念住宅組合四萬圓▲敷島住宅組合四萬六千圓以上全部大連

昭和製鋼所の 基礎的調査頗る杜撰

その他の整理、職制改革問題で 仙石總裁拓相と意見を交換

【東京二十七日發電】仙石滿鐵總裁は二十七日午後三時半官邸に松田拓相を訪問し懇談一時間にして辭去したが、その内容は滿鐵の經營方針の根本的立て直し問題につき意見を交換したもので、立て替への要ありとの意見に一致したるも具體的問題に就いては明春早々再會見の上更に協議する事となつた、尚關係會社の整理、職制改革昭和製鋼所問題等に就ても意見の交換をなしたが、製鋼所問題は鞍山附近の鐵鑛資源二億噸に過ぎざるを四億噸と見積られてゐる等基礎的調査が杜撰を極めて居り、尚慎重調査の上でなければ該事業を開始すべきや否や態度を決し難き旨を總裁より報告諒解を求めた、關係會社整理、職制改革問題は次會の會見の際總裁から具體案を提示して協議する筈である

五品の株主總會で 櫻内氏理事長に決定

常務理事は水谷氏に内定

大連五品取引所では既報の通り二十八日午後二時から臨時株主總會を開き役員改選の件につき附議したが原田理事長は就任以來不才無能のため株主諸君の期待に添ふことが出來なかつたのは誠に恐縮に堪へない、昨今の勞の爲め健康を害し著しく心身の衰弱を覺へ重任に堪へず甚だ勝手ながら辭任を申出たところ他の役員諸氏も共に辭任の希望であるので總辭職の承認を願ふ次第であるとの挨拶あり千田株主の動議で後任重役の選任は議長を加へたる銓衡委員數氏、小林、河村、辻井の五氏協議の結果左の諸氏に決定した

理事長	代議士	櫻内辰郎
理事	實業家	佐藤喜八郎
同	相撲紡績重役	水谷彪次郎
同	實業家	河村統治
同	同	阪野健次
監査役	同	河村寛裕
同	辯護士	小野實雄

▲小林良一氏(關東廳警務局警務課警部)同上

▲川合又一氏(奉天警察署長)轉任挨拶の爲各所を訪問

▲増田道義氏(警務局衛生課長)同上

▲泉文三氏(關東廳警務局警務課警部)二十八日午後三時四十分發列車にて旅順に赴任す

▲瀧又七郎氏(關東總警務局高等課警部)同上

米大使の着京期

【ワシントン廿七日發電】臨時駐日米大使キヤッスル氏は本日サンフランシスコへ向け當地を出發した卅一日プレシデント、ジャクソン號でサンフランシスコ發ホノルルに立寄り故郷マウイを訪問の上一月廿一日横濱着の豫定である

藤原鐵太郎氏謝電

前旅順民政署長藤原鐵太郎氏より廿八日高柳本社長宛左の電報が到着した

只今着京す在任中の御厚意を拜謝す右、貴紙を通じ在滿各位に宜しく御傳へ乞ふ

太田長官視察

太田東關長官は過般在大連の社會救濟各機關を親しく視察したが、二十七日は午後一時から水谷地方課長の東道にて旅順鐵倉保育院を視察した

辭令

【東京二十八日發電】

任副領事(哈爾賓) 領事官補 重松宣雄

副領事(新民府) 龍山滿次郎

命吉林在勤 副領事(米國大使館) 長岡半六

命間島在勤

人事

安東子

關東廳未曾有の大異動の發表迄は流石官界浮き沈みの常で、下馬評に上ると上らぬと何れも腰の据はらぬ心持だつたが年の關所の潜り戸を見越す二十四日の夜更け、第一次異動發表され警務關係全般に亘つての大異動と二十六日の内務關係の異動を合すると實に異動人員約二百名、三事務官の内地轉出から云つても空前の大異動だつた▲何だ彼だと取沙汰されてゐた異動者の内命云々も全く虚傳で榮轉も左遷も全く寢耳に水の大騷ぎ▲昇進した連中も餘りの唐突さに當惑したのは良かつたが▲一寸來いと呼ばれて出廳し、依願免本官と詰腹を切らされ、茫然として歸る途中自動車に人を轢いた者もあれば▲年の瀬越しの苦勞に夫婦鳩首の處へ州外轉職と辭令が舞ひ込み、旅費手當の數百圓で綺麗に借金を拂つてアイヨと翌日鹿島立ちした某報な男もあれば▲御用仕舞ひのアト一日、轉任挨拶や荷ごしらへで後任者と事務引繼の出來なかつた某々課長等は、二十八日一日仲よく自動車に乘組挨拶廻りの共同戰線を張つて自動車中の事務引繼とスピード時代の離れ業▲保安課の某警部、蹴取り仕度に出來上つたモーニングが轉任挨拶用に使へたと初物の喜びで顔が綻びさう

特產

定期後場(銀建)

▲大豆(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月末	六七〇〇	六七一〇	六七〇〇	六七一〇
二月末	六七三〇	六七三〇	六七三〇	六七三〇
三月末	六八二〇	六八三〇	六八二〇	六八三〇
四月末	六八四〇	六八四〇	六八三〇	六八三〇
五月末	六九〇〇	六九一〇	六九〇〇	六九一〇

出來高 百二十一車

▲普通大豆(出來不申)

▲豆粕(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 一萬一千二百枚

▲豆油(䆸)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一八五五	一八五五	一八五五	一八五五
二月限	—	—	—	—
三月限	一八三五	一八三五	一八三五	一八三五

出來高 一千五百箱

▲高粱(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 百車

▲包米(出來不申)

現物後場(銀建)

	寄付	大引
混保大豆(袋入)	六六八〇	六六七八
大豆(裸物)		
出來高	三十車	
普通大豆(袋物)	六六三〇	六六三〇
出來高	一車	
豆粕	二二三〇	二二三五
出來高	三萬枚	
豆油	一八四五	一八四五
出來高	三百箱	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

錢鈔

定期後場(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	七六九	七七〇	七六九	七七〇

出來高 期近 二百六十四萬圓

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	七六〇	一二六五	一四三五
二時半	七六五	一二〇〇	一四三〇
三時半	七六六	一二〇〇	一四三〇

出來高(銀對金)二十四萬五千圓 (銀對洋)一萬圓

本日廳報を添ふ

滿洲日報

抗爭に暮れんとする支那

本年も早や暮れんとしてゐるが革命支那の政局は依然として走馬燈の如き自己轉換を繰り返してゐるに過ぎない。而して蔣、閻、張の三分鼎立を大勢として有象無象の群小割據が地方の地盤を擁護しつゝ建設更生への道程を壅塞してゐるものと認められる。この四分五裂、紛亂抗爭を以て明年へと繰り越す、四億民衆の爲には氣の毒千萬と申すの外ないが理論は理論現實の事實は如何とも否定すべからざるものであるから、王正廷氏らの如き故意に自國に盲目であつて、ただ徒らに對外的に近代的國家理論を以て臨まんとするものでさへも、すくなくとも共和民國以來の現實に顧みるならば思ひ半ばに過ぐるものがあるであらうと推測される。われ／＼は好んで支那の現實を暴露し、その支離滅裂の事實を云爲せんとするものではないが、否定すべからざる事實に立脚して支那を觀るにあらざれば支那の自國人士は勿論、われ／＼利害關係の密接なる第三者も判斷を錯誤するの危險に陷るからである。

東三省は別とするも、山海關內の支那中原には並立を許されぬ幾つかの大小の中心が存在する。この幾つかの中心は常に求心的に又は遠心的に相反撥して動きつゝある。而して支那の國民性と地域とは寧ろ遠心力を大とさへ感ぜしめられるのである。今日の如き交通機關と國民の腦裡に泌み込んでゐる地方自治的の情勢を以てしては如何に蔣介石氏らの財力、武力を以てしても中央統制は容易の事業にあらずといはねばならぬかくの如き現實に對して國家的理論といふものが働き、編遣會議となり、外交權の統一といふやうなことになつたのであるが、この中央集權事業として一も成功したのはないのに徴するも、事實として支那の遠心力が如何に有力なるかを知り得べきであらうと思ふ。形式だけは中央政府の首腦を以て任じてゐる蔣介石氏は國民政府を背景として、統一といふことに全力を傾け盡しつゝあることに同情すべきものがある。併しながら國家の理論と支那の現實といふものを對照考覈したときに、その骨折りは結局むだ骨折りなることを思はしめられるのである。四億の民衆が五千年來の歷史的惰力から顚脫するまでに自覺向上せねば近代的國家への更生は望み得ず、その內には新なる國家理論が何れかの國民によつて發見されるやうなことにならぬとも限らぬ。

そは兎もかくとして蔣介石氏は誠に幸運なる漢である。石友三氏の叛亂によつて今にも南京は陷落し、さしもの國民政府も顚覆するの外なしと危ぶまれたが、唐生智氏の不評判やら汪精衞氏の不人氣と不準備、それから閻錫山氏が例によつて首鼠兩端を持してゐた結果として頹勢を挽回し、今日となつては閻氏を凌駕するの聲望は喪失したにせよ、兎にかく國民政府の名目だけを保持して越年することが出來るやうだ。併し何といふても閻氏には頭が上らぬ。その閻氏が、京漢線から津浦線にかけて續々と兵を繰り出しつゝあるは果して蔣氏の術策か、それとも閻氏の野心からかは知らぬが、かくの如くにして支那の中原は一渡去つてまた一渡といふ自循己環を繰り返すものといはねばならぬ。そして敗退した廣西派、その後張發奎氏、汪氏らの改組派、それから共產派、その他の不平不滿分子は所在に反蔣氣運を包藏しつゝあるのである。これらの分子が明年になつて如何なる政局を支那に捲き起さうとするか、蓋し豫想するさへ出來ぬところである。さしもに幸運なりし蔣介石氏らにしても理論は理論としてこの現實の支那に臨むときに、果して如何なる方策があるであらうか。閻錫山氏のそれの如くただ徒らに和平通電といふやうな檜り題目を百萬遍するの外はないのではあるまいか。

東四省は恰も昨年十二月二十九日に例の共和五色旗から靑天白日旗に易幟された。併し吾人の評論した如く、その結果は何らの實質的效果を將來することなく、依然たる東四省である。尤も、その間に國民政府は例の長鞭を揮ひ關外東四省の外交權を南京に統一集權せんとして失敗した。張學良氏も張景惠氏らの誤算に誤られ東支鐵道の囘收を企て、一擧にして目的を達成せんとしたが、つひに失敗に歸し非常なる屈服によつて問題を落着せねばならぬ結果となつたことは支那側がまだ自國の世界における如何なる程度にあるかを以て省ざる輕擧妄動の因果應報とも許すべきであらう。幸か不幸か國民政府の王正廷氏は手を引かねばならぬことになり獨り一交涉員たる蔡運升氏に名を成さしめたのみであつた。尤もこの奉露正式會議の將來が如何になるか、單なる國際會議ぐらゐで複雜錯綜せる露支の關係を解決し終るとは思はれない。何らの機會ある每に、また例の如く紛糾を起すであらうけれども東四省の治安を維持しつゝ奉天政府としてはすくなくとも故張作霖氏以來の鐵則たる保境息民といふ精神に立脚し關內への野心などは勿論これを拋擲し、たゞ成るべく消極的に中原の影響を處理し、對外問題に善處し以て治安を保維し、蔣、閻、汪氏らの地盤勢力爭奪に無關心なることが最も肝要ではあるまいか。」

露支交涉と兩國の獲物
管理局長の權限縮小は支那側として成功

【ハルビン發】東支問題は完全に原狀に恢復した、こうしたことなら最初から爭はなくてもよかつたことになる、結局支那は多大の犧牲を拂つた丈けで得る處はない、然しこの紛爭が若しも本年度內に於て解決しなかつたならばハルビンは今頃

安靜の狀態 を保つてをれないだらう、支那が內兜をみすかされて遂に軍門に和を乞ふに至つたのは當然の成行であつた、ソウエート政府の外交は最初の主張を一貫して最後まで徹底した、正副管理局を更迭したことは別にソウエートの讓步ではないこれは支那民衆の希望がさうなつてゐるからこれを容認したまでゝある

とロシヤ側は說明してゐる、これによつて東鐵の大體は（一）一九二四年の奉露協定により第一條第六項を尊重し原狀を恢復し理事會を本年度內に開催し東西兩國境の開通聯絡をすると（二）七月十日呂榮寰督辦が發令した布告以後の採用者は全部解雇し、六月十日以後紛爭のた解雇された勞働者及從業員は復職を希望するものは全部採用し其後の俸給は支給する外、若し退職を希望するものは扶助料、退職手當、俸給は支拂ふ（三）各課長の就任は七月十日前の狀態を守ると云ふので唯支那側として從來主張して來た管理局長の

權限問題で あるが、この點は今回の議定書に人事の缺員補充は管理局及理事會の命令により證認せしめるとあり、從來管理局長が一切の人事行政を振つて來たのを今後は理事會が承認を與へ初めて實施されることに改訂されたのである、露奉協定の一部細目が哈府會議によつて決定し支那側の希望が認められ露支折半の意義が明瞭にされたのである、これは支那としての成功であり、蔡運升全權の其の使命を果した大收穫である、然し其れよりも

內部に多少 の反對者を有してゐる支那が、若しこの儘現狀が續けば東北政權の政治的生命を失ふやも知れない危機に巧に各方面を說得して支那としての面子を保ちながら協定を成立せしめたことは確に蔡氏の手腕であつたことは認めねばならぬであらう、唯拘禁者の釋放に對し公判に附したものを無條件で釋放せねばならなかつたことはこれも三千の捕虜との交換ならば仕方はあるまい、元來共產黨の蠢動の手段が根本に於て支那の錯誤からであつたとすればあきらめねばならぬ、然し支那としては司法權の威信はこれによつて少くとも喪失したことは事實である

神靈療法で日支親善に努力
支那人化して二十餘年 珍らしい日本老人

【奉天發】在滿二十有餘年支那村に入り込み神靈療法を業としてゐる傍ら日支親善に努力してゐる稀に見る日本老人がある內地は靜岡縣に生れ本年六十三歲になる岩井熊次郎氏は明治四十年岩井氏が四十歲の時鄕里から大連に來り翌年遼陽を經て來奉

賣藥行商を 營んでゐたがその中虎石溝を距る一邦里にある大檑村に入り込み同地で行商を營んでゐた、しかる處同地の支那人から好評を受けたのでそこに落付き行商の傍ら神靈療法を研究、之を支那患者に施して意外にも支那村民から多大の信仰を受けるやうな好成績を擧げ今日まで卅有餘年、その間一度も內地には歸つた事もなく親兄弟がどうなつてゐるか判らぬ有樣で、一方大檑村では岩井氏はちやんと支那側の戶籍に入れられ同地は勿論十支里以內は福建省廈門出身日本の醫學校にて勉强すること卅年の老先生なりとして專ら仰がれてゐる、全く

支那人化し た人である廿七日同氏は奉天署を訪れたが語る

私は歸つても籍がどうなつてゐるかさへ判らない、一方大檑村では私を全くの支那人なりとして老先生々々と迎へて吳れるので餘生も同地で送らうと思つてゐる、歲は六十三であるが至つて健康體で九十までは生きられる積りである、渡滿した時は日露戰爭後のことでその當時の人は戰爭の模樣をよく知つてゐる關係上さほどでもないが、その眞意を知らぬ卅歲以下のものは矢鱈に日露戰爭は日本側が惡いやうに解してゐる、私は國のため聊かなりとも

是等若年の 支那人を支那人になり切つて仕業の傍ら善導し日支親善の實をあげることに努めてゐる

匪賊來る！
の想定の下に大演習 ＝夜の撫順を震撼せる砲煙の幕と彈雨の響＝

【撫順發】昭和四年も押迫る十二月二十七日撫順炭礦の各所に約二百名乃至三百名よりなる匪賊團一齊に蜂起し古城子露天掘その他には石炭の大盜團跳梁し、撫順獨立守備隊及撫順警察隊聯合軍との間に壯烈なる市街戰が惹起されたとの想定により同午後六時より同九時まで三時間に亘る大演習が擧行された、正午頃

◇**撫順警察** より二十七日午前有力なる匪賊團は附屬地歡樂園地帶及び日支境界線たる松田橋附近に集中しつゝあるを以て軍隊の出動を要求し來つたので東守備隊長以下三百の獨狐、警察、憲兵隊との聯合軍は午後五時三十分永安大街派出所前に出動、守備隊軍は五條通以北の地區より警察軍は五條通以南の地區より漸次

◇**攻擊に移** り遂に同七時歡樂園附近に於て匪賊の主力部隊と交戰四十五分、辛くも其殘部約百名は松田橋及び製油工場南方に踏み止まつたが聯合軍は大和公園方面より一擧に匪賊團の本據を衝き亦警察軍は本町松田橋方面の匪賊團を攻擊同八時二十分より八時五十五分に亘る大肉薄戰の結果匪賊團を

◇**悉く殲滅** した、斯くて午後九時壯烈な演習を終つた、山西炭礦長以下炭礦幹部及び全市民は新公會堂に於て大慰勞宴を開催して各部隊の勞を犒らつた

北滿避難民山東に送還

【奉天發】吉林省政府當局ではこの程各縣に對し北滿方面から流れ來る避難民救濟のため自治費を以て收容所を設けしめ救濟に努めてゐたが、去る十八日から三日間に亘り一千三百餘名の避難民が吉林に到着したので鄕里山東河南方面に送還すべく準備を急いでゐると

交涉署
奉天哈爾賓は從前の通り

【奉天發】支那側各省における交涉署は本年を以て一律に廢止されるが、奉天及び哈爾賓は從前通り特派交涉署を置く事とし奉天は王鏡寰、哈爾賓は蔡運升氏が繼續することになつたと

靑島引揚げの邦人增加

【奉天廿八日發電】靑島方面の視察を終へ廿五日歸奉せる滿鐵勸業係光井主任は語る

靑島は逐年同地を引揚げる邦人が增し今では見る影もないほど衰頹してゐる、故に商工界もお話にならぬ慘狀である、道路の如きも同地を支那側に還付後は殆ど修理せざる狀態で占領當事の華美は失はれ步行さへ困難である、同地の邦商の經營法を調査するに未だ目醒めざる處多く改善の餘地も充分あると見られた

八ッ相

投書歡迎 中傷を目的とするものは採らず 新聞行數五十行以內のこと

豆信株主の陋態
鈴鹿 三郎

寬仁大度にも度合がある、過度の寬容は世の物笑に止まらず時によりては害毒を流すに至るべし、豆信株主近來の態度が卽ちそれだ曩には會社に對する橫領の罪に依つて刑罰を受けた者に多額の慰勞金を支出したが＝而かも此問題も彼等の行爲の極小さな一部分だけを摘發したのみで、二百四十萬の大金を彼等個人債務の犧牲にせられて今尙年三分の低利しか付かぬ据置預金に固定し、年額十四萬圓づつの利子損を受けつゝあるのは世間公知の事實でないか＝先頃は其本人を會社の相談役同樣の地位に据へ今又御大の意の儘に動く人を監査役に選任した、一體株主は會社利益の增進を望むのかそれとも其蝕滅を圖るのか一寸見當が付かないやうだ、彼等一味の所謂大株主はそれでいゝかも知らぬが、眞面目な株主こそ可哀そうではないか、此に至つて僕は取引所なり關東廳の監督權なるものゝ效果、威力を疑はざるを得ない、規則を見ると六ケしいことが書いてあるそうだが實績から見て何の監督の實ありやと問ひたくなる、單にこの問題に限らず從來信託會社に對する官憲の所置は頗るなつて居ない、明るい政治を標榜せらるゝ新長官に對して此邊の御精察を請ひ制裁觀念の麻痺してゐる連中にピリッとした刺戟を與へられんことを切望す

南征雜錄（70）
難波勝治

富源と其位置

私が案內された三河屋旅館は沙面にあつて、主人山崎君が鄕里三河の國名を附した唯一の日本宿である、君は既に滿洲に渡航し、新嘉坡、彼南等の各地を轉々したのち、十六年前廣東に來住したが、旅館を開業してからそウ十二年、元廣東ホテルと稱して居たのを、二年前沙面に轉居すると共に今の名に改めた、人も知る沙面は

廣東城外 の西南隅にあつて、一千八百五十九年英佛兩國が共同で沼澤を埋立て、一千八百六十二年竣工した居留地である、東西八丁、南北二丁、面積四十四英町步の小區域だが、日、英、佛、獨、米、葡、西等の總領事館は勿論重なる外國銀行、商會、病院、學校など概ね茲に集合して居る大正十四年有名な罷工騷ぎがあつた處で、革國橋の入口で我が博愛會醫院の事務長が殺害され

五千圓入 りの革囊を奪ひ去られたなど、未だ內外人の記憶に新たな出來事である、廣東在住の日本人は目下約三百八十餘、皆通の商賈は市中に散居して居るが居留民會長高田淸三郞君は藥種業で成功した人で、既に二十三四年の永い經驗を有する廣東通である

在住者の言によれば日本人の營業は比較的安全で、右の沙面騷ぎの外別に大した迫害を蒙つた事もない、勿論暴動每に支那人間の爭鬪は相當甚だしく、殊に近來廣西派との政治的軋轢が繼絕え間なく、それが無智の兵士や暴民に掠奪の機會を與へるので、富豪や巨商は

避難準備 に細心の注意を拂つて居る、隨つて商品の仕入も成るべくストックの餘剩を手控へ、非常時の損害を少なくせんとする傾向が、自然貿易上の繁榮を阻礙して居るそうである、併し何といつても廣東は天下の大商業地で、一旦國內の平和が確保された曉には、その發展著しく目を刮して見るべきであらうとは、私の會ふた人々が異口同音に唱へた主張である、六七十年前まで支那全國中の唯一貿易港であつた廣東は

香港開埠 以來對外商權の大部を奪はれたやうだが、多種多產の背景を有する此地の形勝は、依然として南方支那の雄鎭たるを失はぬ、約十萬方哩の面積と、三千二百萬の人衆とを有する廣東省が、如何に豐富な利源を包藏する實庫たるかは言ふ迄もない、農產物には米穀、甘蔗、茶、桑、煙草、豆類、落花生、胡麻、麻、果實及び各種の蔬菜類あり、礦產物には金銀、銅、鐵、錫、鉛、アンチモニイ、石炭等あり、就中曲江縣、花縣及び欽州西部の炭床は

區域廣大 で且つ良質の評を得て居るが、未だ何處にも發達した採掘法が普及して居ない、斯く原料品の豐饒なるに加へて工業の進步は實に驚くべき者がある、最も多額な主要品は生糸で、廣東及び佛山附近の小區域から年額四萬擔の大數を產出し、之に次で巧な花莚は夙に海外に知れて居るが、その他絹扇、葵團扇、綉繡、陶磁器、象牙器、寶石細工、紫檀及黑檀細工、薄荷油、皮膠、銀朱、爆竹、粗夏布、竹器、籐器、紙煙草、麻糸、貝鈿細工、藥品、玻璃鏡、紙類、菓子等殆んど枚擧に遑ない、若し

單に海港 としての貿易額からいへば、廣東の輸出入統計は遙か香港に及ばぬが、集散加工の實際的根抵は到底日を同ふして語る事が出來ない、卽ち本省內は勿論、江西、湖南、廣西、貴州、雲南、四川の諸省幾十萬哩の廣袤に亘つて、商賈と商品との往來は一に此の地方が基調となつて居る、換言すれば廣東なくして香港の繁榮を保持すること至難だが、而も廣東自體が特有する南支に於ける經濟的權威は、香港の有無に係らず儼存すると評して好い【寫眞は中山大學】

滿日地方版

奉天

恩賜財團で十五名を救ふ 八名は歸國せしむ

年末に際し食ふに食ふものなく着るに着るものもない哀れな人々に對し恩賜財團からは慈善養金が支給され又市内篤志家よりの寄贈救濟資金が夫々分與され、これを受けた人々は何れも涙を以て感謝の意を表してゐるが、廿七日まで救濟を受けたものは合計十五人でその中八名は郷里に歸らしめた、猶附近のもので眞に困り切つてゐる人があれば遠慮なく奉天署に届け出られたいと

御眞影到着

廿八日十五時四十八分着の下り急行列車で教專附屬小學校の御眞影到着、猶長春、撫順兩小學校の御眞影も同列車で到着する筈

高女から献金

奉天高等女學校從事員一同廿八名は廿七日奉天署を通じ金百四十一圓卅五錢也を國庫獻金した

國庫に献金

藤浪町八鯉沼もとさんは廿六日奉天署を通じ金百圓也十間房古谷氏は金五十圓也を國庫獻金したこれで奉天における献金總高は七千八十九圓廿三錢となつてゐる

モーターサイレン竣工

既報當地における午砲代用のモーターサイレンは目下中谷時計店屋上に設置中であるが、この程漸く完成したので明春一月一日から滿鐵が管理午砲代用に使用することになつた

遠征團の謝電

廿五日征歐の途についた醫大アイスホッケー部選手一行は廿六日朝京城より左の如き電報を寄せて來た

寒氣凜烈且つ御多用の際熱誠なる見送りを賜り感激に堪へず、市民各位に衷心より感謝の意を表す 醫大アイスホッケー部

小學生徒が商業實習 休暇を利用して

春日尋常高等小學校商業部生徒六名はこの冬季休業を利用し市内各商店（主として市場附近）に商業實習をすることになり、廿五日から夫々年末大賣出しの多忙な商店内に入り込み店員と同樣涙ぐましい努力を續けてゐると

不景氣知らず カフヱーや飲食店 十一月分の賣上高

當地附屬地内におけるカフヱー飲食店六十餘軒の十一月分一ヶ月間の賣上總高は五萬七千七百卅九圓七十二錢に達し、本年最初の調査なるため例年との比較はとれぬが大體時節柄附屬地内の料理店より不況知らずの好成績を擧げてゐる、今茲に一軒につき千圓以上のものを示せば左の通りである

店名	賣上高
玉翠	四〇〇〇、〇〇
改良軒	三二九四、六〇
千代田食堂	二四〇九、〇〇
井筒	二三一三、二七
三光カフヱー	二二三五、〇〇
金六支店	二一九九、〇〇
千成	二〇四三、〇〇
精養軒	一九六五、〇〇
千歳	一九二七、九五
さゝ浪	一四六六、〇〇
すゞらん	一四四七、九五
花月庵	一三八〇、〇〇
白龍園	一三三六、〇〇
つぼみ	一一二五、〇〇

賣上高は尠い 年末の大賣出し

本月初旬開始した市内聯合大賣出しは愈々卅一日を以て締切ることゝなつてゐるが、本年は緊縮の影響を受けて各商店の賣上高は案外尠く廿七日迄の賣上總高は九萬五千餘圓で、卅一日までには十萬圓を突破するであらうと

商議の役員會

奉天商業會議所では廿九日午前十時より役員會を開き更に午後三時より議員會を開催し左の事項を附議すると

一、日本商工會第二回總會の經過報告の件
二、關東廳より諮問に對する答申の件
三、消費組合問題の件

蜜柑の相場

お歳暮として最も重寶がられてゐる蜜柑は今年も昨年の着荷と大差なく、種類も紀州と雲州が多く相場も小箱四個入一箱が四圓四十錢から四圓八十錢位で、殊に今年は林檎が安いため多少影響を被つてゐる模樣である

強盜は狂言か

廿五日午後二時半頃市内春日町新昌洋行店員鷲浦君が十間房金龍亭前を通行中、二人連の支那辻強盜に襲はれ所持金七十圓を強奪されたとの事で、奉天署では犯人捜査中であるが、尤も同店員は所持金を使ひ込み虚僞の屆出をなした模樣があるので目下取調中である

窃んだ品を馬車で運ぶ 不敵な泥棒

廿六日朝窃盜品を馬車に積込んで逃走せんとした大膽極まる支那窃盜犯が逮捕された、山東省生れ住所不定無職王義令（二七）は廿五日夜千代田通廿七番地硝子商松島商店倉庫内に入り硝子箱を五個（一箱時價八圓重量九十斤）を窃取し逃走せんとしたが、餘りに重いので大西關より荷馬車一臺を奉票の卅元で雇ひ返し窃盜品を積込まんとする處を逮捕された、彼は先月一日同店に入り硝子箱四個を窃取し撫順まで運搬して賣却したことがあつたと

町の便り

奉天駐劄步兵第卅三聯隊滿期兵四百五十六名は廿六日午後十時四十分發で市民多數見送裡に離奉大連經由歸國の途についた

◇

市内藤浪町八番地鯉沼もとさんは國庫獻金として百圓を奉天署に屆け出た

◇

廿六日午後七時から總領事館では乾署長、伊藤、片山、菊地各警部のため盛大な送別宴を催した

◇

廿五日午後十一時五十分頃奉天驛中ホームに鐵西方面から馬車を引き込み徘徊してゐる怪支人あるを係員が發見誰何すると矢庭に逃走を企てたので逮捕したが彼は大西關居住李某と稱し廿四日夜浪速通大星ホテル前にて荷馬が放置しあり看守人なきを機として之を窃取し皇姑屯方面に逃走した廿五日午後十一時頃大西關に歸宅の途中道に迷ひ奉天署構内に入り込み遂に逮捕されたものであると

◇

太田前地方事務所長の送別宴は二十五日午後六時から社員倶樂部で滿鐵出入記者主催の下に催された藤曲氏は記者團を代表して送別の挨拶を述べ之に對し太田氏の謝辭あり直に宴に移つたが約四時間和氣靄々裡に名殘を惜しみつゝ散會した

◇

二十六日午前十時半頃小西北關小寺洋行店員楊景亭（二〇）は小西關支那郵便局内で滿洲銀行の小切手二百圓を紛失したと

◇

廿七日午前二時頃青葉町張震東方から出火し大事に至らず消し止めたが原因はペーチカ、損害は約三十圓

◇

日本人利用の詐欺事件があつた二十六日午前十一時半頃十間房第五區金某方に自分は日本人内のボーイであるが、煙草を買ひたいから屆けて呉れと云つたので同店員は煙草十二箱價格廿八圓を怪支那人と共に紅梅町十二番地山崎方に來り只今主人は東拓に出勤して不在中につき代金は東拓で支拂ふからと詐稱して該品を捲き上げ逃走したがこれに類する事件が先月から既に九回に達してゐる

◇

廿六日夜八時十五分着の上り列車に一名の賊が乘り込んだとの文官屯よりの急報により奉天署では直に驛に手配し同列車が到着するや否や車内の大搜査を行つたが遂に發見するに至らなかつた

人事

▲川邊奉天鐵道事務所工務長 廿六日撫順へ
▲龐谷奉天商議會頭 廿九日歸奉の筈
▲乾武氏（奉天署長） 地方警視に榮轉した同氏は廿六日各方面を歷訪挨拶を述べた
▲片山同警部 廿六日各方面關係筋を歷訪し辭任の挨拶を述べた
▲小倉新任奉天地方事務所長 二十七日急行にて着任
▲伊藤留太氏（警部） 三十日二十時半發列車で赴任
▲山本繁雄氏（警部） 同上
▲菊地德三郎氏（警部） 三十日十六時四十分發列車で赴任
▲蔡運升氏 二十七日夜來奉
▲李紹庚氏 同上
▲イズマイロフ氏 同上

國際列車で戰線突破の記（七）

郊外散策に出て見付けた悲慘事

久しぶりで漬物に舌皷を打つ

神藏特派員

二十日、哈爾賓を出發してから一週間が經過した、一行の中から外人二名日本人側一名が哈爾賓に歸つて寂寥を感じてゐた所へ今朝は食料仕入れの爲め高嶺配給主任と小林大佐子が缺けることゝなり、日本人側は六人になつた、何となく淋しさが襲つて來る、しきりに哈爾賓を戀しがるものも出て來た今日は一同

◇郊外散歩に 出掛けることゝなつて、先づ町の北方丘陵地に行く、山の中腹に高射砲が据へてあるのを見た、兵卒が二三人寒そうに立つてゐたが吾々が見物に行くと自分達が退いて見せてくれる、一同方向轉換をして驛の東方高地に赴く、吾々は茲で非常な悲慘事を見た、それは驛から東へ二町程の所に小さな鐵塔があるが、その近くに三頭の駱駝が倒れてゐる、一頭は牛糞に埋もれ一頭は胴體が眞二つになつた屍であるが、その側に前足が折れて地上に坐つたまゝ身動きの出來ないのがゐる

◇此一頭丈け は生きてゐるので體溫の爲め二、三尺の穴がほれてその中に入つてゐるが背中まですつかり凍つて一目と見られない、吾々の姿を見て身體にも似合はない細い聲を出して懷しそうに首丈け振る、枯草を集めて與へてやるとピー〳〵と鳴き乍ら食つてゐた、勞働者らしいロシア人が三人通りかゝつた、彼等は手に枯草を少しづゝ持つて來て駱駝に與へてゐた、彼等の話に依ると赤軍の飛行機が鐵塔を目がけて爆彈を投げ付けた所誤つて

◇駱駝の群に 落ちたのだと、今日まで二十二日間零下三十度の露天にかうして露命をつないでゐるのだと云ふ、戰地なればこそ振り返つて見て呉れるものもない、僅かに通行人の集めてくれる枯草を食つて友の屍を護つてゐるこの駱駝の上に一掬の淚を注いだ、長い滯在中一番困つたのは漬物を用意して來なかつたことである、をまけに野菜はきれるし一同離話許りで青くなつてゐた所今日は耳寄りの話を聞いた、それは札免公司出張所の地下室に

◇漬物が貯藏 してある筈だがあれ許りは支那兵も掠奪はしなかつたらふと云ふのである、早速檢分に出掛けるとある〳〵、大きな樽に一杯ロシア漬が入つたまゝ凍つてゐる、ロシア人を傭つて列車に運び久し振りで舌づゝみを打つた、國際列車が通過する時には當地は從業員以外には一人も居なかつたが今度歸つて見ると住民らしいのがめつきり增えてゐる今日は支那人の商人が押しかけて開店したと聞いたので早速

◇野菜を買ひ に行く、金儲けの爲めには命がけの支那人のことだからやることは早い、彼等は到着するや否や雜貨や野菜生菓等を陳列して置いた、驛前當時巧に引出して店を張つてゐる一日中に二、三十軒も出來た、それに急ごしらへの飲食店が二、三軒ある、久し振りで支那料理を味はふと相談一決したが兵隊向きの黑い饅頭許りでとても口に合はない

開原

驛貨車ホームに砲臺を建設中だ ＝山東通江口方面で＝ ◇途方もない流言◇

東山地方乃至通江口方面より當開原附屬地に來る者の語る處によれば開原附屬地アジア製粉會社内に兵士收容所を設け又遼陽より工兵一個中隊來開し開原驛貨物ホーム内に盛に砲臺を建設中にて貨物ホーム内には支那人の出入を絕對に禁じ極秘裡に其工を急ぎつゝありとの排日的流言が盛に流布され居る爲め實否を見聞に態々來開する者があるといふ爲めにする者の流言か支那側の政略的流言か判明せぬが荒唐無稽の流言蜚語ではあるが東方地方より開原への特產出廻りに影響する處大ならんと

元旦の行事順序 拜賀式は開原校にて

一月一日の諸行事は左の如く決定した

▲午前九時 教化聯盟の國恩感謝デーとして開原神社々頭に國旗を揭揚し君ヶ代を合唱皇居遙拜神社拜禮を行ふ
▲同日午前十時 開原小學校講堂にて四方拜拜賀式擧行
▲同午前十一時三十分 公會堂にて新年互禮會擧行

歲末大祓式 開原神社にて

開原神社にては三十一日午後七時大祓式を嚴修さるゝに付氏子多數の參拜ありたいと尚本年は神職未決定の爲め前記大祓式を行ふのみにて除夜祭及び元旦四方拜は行はないと

御用納め

當地各官公衙は二十八日、地方事務所は三十日午前中を以て御用納めとなる

乘合自動車開通

通江口在住吳振三、汪祉豐兩氏は合同で通開長途汽車公司を設立し二十三日中に開原通江口間の乘合自動車を運行する事になつたが當地扱店は開原大街同義棧內、賃銀は片道現大洋一元四角、出發時刻は通江口發午前七時及午後一時、開原發午後一時及午後三時三十分の各二回宛なりと

迫田巡査逝去

開原警察署巡査迫田彌之進氏（原籍鹿兒島縣揖宿郡今和泉村利永）は過日來滿鐵醫院に入院療養中の處二十七日午前四時永眠葬儀は二十九日午後一時自宅に於て執行すると

旅順

山根病院長朝鮮に轉任 後任は九大の渡邊博士

旅順關東廳病院長山根博士は朝鮮總督府大邱醫院長に轉任することゝなつたので、かねて其後任を物色中であつたが中々適材を得るに困難した結果、山根博士自ら內地に赴き折衝の結果、九州醫大內科の臨床大家渡邊信吉博士が來旅することに內定した、渡邊博士は明治四十三年の九大出身で大正十一年より十四年迄私費海外に留學、研究を積み其間博士となつた內科の權威者で外科には加藤博士あり今又內科の權威者を得て關東廳病院の完璧を期し得るであらうとて關東廳當局者は喜んでゐる（寫眞は轉任する山根院長）

小兒科醫長

腸チブスの爲め旅順療病院に入院中の旅順醫院小兒科醫長田中利雄博士は昨今全く快復期に向つたが尚充分の靜養を要する爲め今回朝鮮總督府醫院より醫長として玉置周介氏が來任する事と成つた

ボーイの盜み

旅順管內柏嵐子生れ當時市內吾妻町二九渡邊盛夫氏方ボーイ祁者富（二七）は去る二十六日午後一時頃家人の不在を奇貨として主家の金六十三圓を窃取し其上御丁寧にも蒲團迄攫つ拂つて同日午後三時頃市中の友人を訪れ一寸大連へ行つて來ると云ひ置いて逃走したのを渡邊氏歸宅後判明し早速旅順署へ屆出たので大連を始め各署へ手配した

撫順

寒風荒ぶ滿洲から花の東京へ榮轉 二十餘年に亙る滿洲生活に名殘を惜む大林署長

滿洲から前例へと前例なき榮轉を見た大林警視は東京下谷警察署長に補せられ明三十日撫順出發大連で滿洲最後の年を越し三日頃離滿の豫定である、二十七日午後旅順より歸つた許りの同署長を訪へば碎けたモーニング姿で語る

撫順はたゞ一年半位だつた二十有餘年の滿洲警察生活からお江戶の眞中に飛込むのは愉快でもある一面亦滿洲を去り難い氣もある、榮轉とか左遷その如き詞は治安維持の大任に當る吾々警察官の問ふ處でない、要は最善を竭して職務に殉ずるのみだ滿分撫順の人々にも御世話になつた、貴紙を通じて官民各位に何とぞ宜敷くと

尙同氏の在任中の枚擧に遑なき功勞を永久に記念すべく炭礦、實業協會、署員記者團その他官民聯合で記念品を贈呈する事となつた

轉任警官離撫

多年功勞あつた大連熊谷、鞍山山本、安東北星、安東小澤の各警部補は昨二十八日それ〴〵赴任したが驛頭は見送り人で埋めつくした

端麗な紳士 寺田新署長

新任撫順警察署長寺田良之助氏は明三十日午前八時二十分着任の筈であるが、氏は廣島の人、大正十四年まで內地官界で洗練された貴公子肌の警察官には惜いやうな瀟洒端麗なゼントルマンであると尙明三十日午前撫順署に於て兩警視は事務引繼を行ふ筈である

長春

州內轉勤で大喜び 署長以下三氏

今回の關東廳大異動に依つて長春警察署からは中尾署長が水上署長に、田中警務主任が衞生課に、田上司法主任が貔子窩に揃ひも揃つて州內に榮轉すると云ふので三氏共大喜びである、中尾署長は語る

僕は在勤一年半だが先づ大過無かつたのは何よりである、今後轉勤する田中、田上兩君とは當地に來る時も一緒だつたが今度去る時も亦一緒になつた、水上は未だ無經驗だが長春に比して仕事が丸で方面違いだから當分勉強せねばならぬ

尚中尾氏は自他共に許してゐる名太公望なので、今から樂しみにしてゐる

石井署長着任

新任長春警察署長石井警視は二十七日午後一時十分着、就任した

南行貨物 減切り減少

長春驛直過北滿貨物の南行數量は東行杜絕の影響を受けて一時は六百車にもとゞく盛況であつたが、最近露支交涉成立の曙光が見えたので外商側大手筋には東行開通を見越して發送を見合せてゐる間も相當あるらしく、早くも昨今南行數量に著しい減少を示し一日二三車程度となつた

クリスマス夜會

當地ヤマトホテルは恒例に依り去る二十五日夜クリスマス夜會を開催したが盛況であつた

安東

多事を豫想される鴨江上の氷滑界 各種大會が開かれる

愈々鴨綠江も凍結し數日前より橇も通ひ出したので大小のスケーターは毎日の如く猛練習を續けて居るが安東スケート部では二十六日午後二時から地方事務所會議室に於て本季のスケジュルを決定したスケート場は鴨綠江鐵橋下手を使用し昨年同樣五百米突のセパレートコースを造る事となり二十七日より工事に着手した今年は昨冬の如く全日本大會が無いので幾分寂しい感がするが州外中等學校選手權大會が安東で開催され一月中旬には安東大會、二月二日には滿鮮大會が開かれる筈で相當多忙を極めるものと見られてゐる尙本年活躍を期待されてゐる安東選手は左の諸氏である

▲スピード 木谷、石原、大澤、小山、關谷（猛）、關谷（綠）、吉岡、宍戶
▲フイツギヤ 成瀨
▲アイスホッケー 上原

足拔娼妓が縊死す 情夫の宅で

二十三日午後一時半頃鷄冠川南町滿鐵社宅八號ノ一初取卯三郎方の六疊の間に於て本溪湖旭町料亭老松樓方抱へ娼妓婦菊松事渡瀨キヨ（二九）が家人の留守中針金を踏臺にしてランプ掛の針金に兵兒帶を掛け縊死を遂げた同女は原籍佐賀縣神崎郡千歲村で四年前々記老松樓方に抱へられ初取が本溪湖の方に在勤中深い仲となつて居たが初取が十一月三日鷄冠山に轉任を命ぜ

公設市場の營業時間

安東公設市場の歲末大賣出し及び新年仕事始めの營業時間は左の如くである

▲歲末大賣出し
▲二十六日より二十八日迄（午前七時—午後十時）
▲二十九日より三十一日迄（午前七時—午後十二時）
▲正月休業日
▲一日三日兩日間全休
▲二日午前中營業

四日より平常通り營業すると

安義巷信

僅か一萬足らずの邦人が住むで新義州は最近カフヱーの續出でスミレカフヱーに續いて櫻町遊廓の中にカフヱー銀座が進出しこれでカフヱーと名のつくのが九軒約十軒に達した朝鮮の一番端に來てゐる爲めでもあるまいが皆んな金離れがよく全部相當の成績をあげてゐるらしい、各店でも美しい所の女給數名を置いて此處暫くは赤い酒、青い酒の戰中でも代表的のは蝶々カフヱーの朝子グリーンのミドリキングの志津子赤切符の靜子▲それに本年開催の朝博に出張して新義州にこの女ありと知られた千歲のシーちやん▲新義州球界で離の賣れてゐる道廳會計の中川柳治君今度の異動で任官して義州郡と言ふとても田舍に追ひやられるらしい任官したのは好いが飯より好きな野球が出來ないとこぼしてゐるとの事野球では何時迄も生活して行くのは難しい好漢野球よりパンが大切だ自重して呉れ▲平北消防組居殘りの頭株今度の大異動でやれ送別會、それ歡迎會それに二次會三次會がたゝつて給料の大半は宴會費でとられて新年を控えて豫算がはづれたとこぼしてゐるエライ人がおる相だ▲行く人。來る人はよいが後に殘つて送迎をする人はなんぼつらいかと言ふ所だ▲今年は緊縮、緊縮で世間は不景氣でこぼしてゐるが今年は憲兵隊長の職にある人々にとつても惡い年らしい▲數ヶ月前には安東憲兵隊長の奥さんがなくなられるし最近は新義州憲兵隊長の奥さんが餘程の重態らしいとの話はほんとに御心配であらう今年の樣な年は早く去つて終へと言ひたくなる

貔子窩

城子疃が寂れ于家店が發展 速に對策を講ぜよ

城子疃市民は支那官憲の重稅に依り復州鄉と云ふ大半の顧客を失ひ次第に窮地に陷り、此まゝ推移せば折角金福線の開通と共に發展しつゝ來た同地も遂には沒落の浮目を見ねばならぬ狀態に在るが、一方城子疃市街續きの復州管內に屬する于家店は之に反して益々發展し從來稅金の關係上酒煙草の販賣者が其半を占めて居たものが、昨今では日用品其他凡てが同地に集中し一商店の一日の賣上げ百圓二百圓と城子疃商人に反比例し將に第二城子疃を形成されん狀態である、或る有力なる同地支那人には之が對策として暗に暗中飛躍を試みて居る者もあるが、當局者としても之が對策は目下の急務で只に城子疃市民のみに止まらず金福公司の社業其他大連方面との取引にも影響する處少からず、一日も早く之が對策を講じ一般の安固を圖られん事を望んでゐる

モーターカー運轉休止

通學兒童及一般の便宜上六月より城子疃午後三時三十分貔子窩午後四時半發モーターカーは昨今の寒氣の爲め客車を運轉してゐたが通學兒童も休暇になつたので本月廿五日より翌年七日迄休轉する事になつた

熊岳城

教化聯盟にて實行項目を決定 二十七日の協議會

先般成立した熊岳城教化聯盟では二十七日早速實行大運動を起し、二十七日午後七時より滿俱各委員各顧問は日本間に集合協議の結果實行第一に依る要目を決議し、各町內受持委員は各家庭に向つて左の實行を促進する事になつた

第一段の實行事項

熊岳城居住民は日本國民たる自覺を喚起せられよ

一、我家は日本國民たるを表徵として必ず國家の祝祭日には日の丸の國旗を立てませう
二、信仰は自由たるべしと雖も日本國民たる自覺のある人は必ず皇祖天照大神を家內に奉祀し每日は能はぬまでも國家の祝祭日又は月初めには一家悉く禮拜しませう
三、日本國民たる自覺を持つ人は居住民のために下賜せられた（熊岳城小學校に安置せられた）御眞影の拜賀式（三大節等）には各戶主は必ず自發的に參列し御眞影の前に低頭して御互に國恩を感謝しませう

一番手取り早く然も一番急務な實行案で一、の國旗の無い家が恥かしながら滿鐵社員側に多く全戶數の三分の一たる五十戶からも有つたといふ報告に一同驚いた、神棚の無い家も相當多いらしい

遼陽

滿期兵母國へ 多數の見送を受けて 二十七日朝出發す

遼陽駐劄步、工兵隊の滿期兵三百十七名は松村大尉に引率されて廿七日午前八時五十分發列車で出發した、驛頭には松井師團長を初め師團幕僚步工兵隊將校下士、山崎副領事、長山署長、見坊所長、福永局長、小學校生徒、在鄉軍人其の他官民多數の見送りがあつた

兩氏に記念品

遼陽警察署の主任警部であつた森彰一郎貔子窩署に榮轉した中村警部補兩氏に對し警察署衞友會から記念品を贈呈したが森氏に對しては在住者の有志からも近く記念品贈呈の計畫があると因に中村警部補は廿八日夜行で赴任した

國庫へ献金

遼陽青年同志會代表龍川嘉一郎氏は金卅一圓五十五錢を、小學生山崎司郎氏は現金二圓五十錢と復興債券十圓とを國庫へ獻納した

荒木氏追悼會

遼陽機關區在勤員であつた荒木初次氏が昨年の本月廿七日白塔寨驛で慘死して一周年に相當した當日正午から機關區員は西本願寺に於て懇ろなる追悼會を催した

中木氏送別會

廣島縣人會有志は中木三次氏のため二十七日午後六時から柳町一樂に於て送別會を催した、同氏は來る一月五日午前九時十五分發急行で離滿歸國すると

鞍山

餅を贈る 濟生會から貧困者達に

鞍山濟生會では年末に際し貧困者に餅を贈る事となり、二十七日鮫島同會幹事之れを持參の上懇ろに慰問する處があつた

警察の各係決定

鞍山警察署では今回の異動に依つて現井上司法係主任が保安係兼衞生係主任に轉じ、司法主任には撫順より來任する山本警部補、上野氏の後任には旅順より來任の西內警部補に決定した

上野氏赴任

警部に昇進大連水上署に榮轉の上野善濟氏は多數官民の見送りを受け二十八日午前九時二十三分發列車で離鞍した

岡前理事 別れの挨拶

岡元滿鐵理事は歸國の途次二十七日來鞍し製鐵所應接室に於て在鞍中の滿鐵關係者に別れの挨拶を述べたが、千秋所長惜別の辭を述べ續いて水津八木吉川氏等がこも〴〵語るにいたく感極まり眼には淚さへ浮べ一言の挨拶も出來ない有樣で一同は無量の感に打たれた、岡氏は滿鐵に二十有餘年間勤めた中で鞍山が一番思出の深き所であつたと語り、官民多數の見送りを受け午後二時九分發急行で離滿した

上野警部赴任

鞍山警察署高等係主任上野警部補は既報の如く警部に進級し、二十八日午前九時二十七分發列車で官民多數の見送りを受け任地大連に出發した

大石橋

寒稽古 柔劍共に來月八日より開始

當地柔道界は三段阿部百三氏一昨年來任以來熱心指導鍛鍊に努めたる結果沿線中優秀なる柔道部として知らるゝに至つたが更に將來の發展策を講ずると共に寒稽古を正月八日より始むる事に決定した、尚劍道部も秋葉三段熱心指導の任に當りつゝあるが柔道部同樣寒稽古を始むるとの事である

飯盛部長送別會

旅順警察署に榮轉の飯盛部長のため同係一同昨夜三吉野に集合し送別宴を開催盛會を極めた

兩巡查入所決定

當地警察署勤務後藤芳雄吉田長衞の兩氏は豫て高等科生試驗に合格して居たが愈々二月五日入所に決定した旨其筋より通知があつた

第八回 滿日勝繼碁戰（乙部氏二回勝三回目）

先二先番 澁田茂介氏 乙部 男氏

●二〇一リ十九 〇二〇二ヌ十九 ●二〇三ヘ十三

二百三手終り澁田氏（四目勝）

▲國崎四段講評 黑七は白六の手を以て（い）に掛かりしときの常用手段にして本局の如く二間高掛の場合は九に受くるをよしとす從つて白八綴じ直に一五に頂くべし黑（ろ）より綽ぬれば一四に引き黑（は）となりしとき其形を見よ白六の手（に）にありてこそ高目の定石に反し其勢ひ互角なれど六と一路進みたるだけ白の方優るべく又白一五と頂けし時黑一四より綽ね出さば白一六黑一七白（に）黑（ろ）白七一黑（は）白（ほ）黑（へ）白七〇黑百九十五となりて同じく黑の方惡し黑一三は對隅白十の大斜走締りなれば三二に控ゆるを定石とす白一四一六は時機尙早し單に一八に打込むべし黑一九はとより詰め白（ち）黑六一白百七十一黑（り）白（ぬ）黑（る）白（を）のとき黑も〇印に飛び百四四の打込みを狙ふ方優るべし白卅二貫れり三五に伸びざるべからず黑三三大に緩し無論三五より綽ね白三六のとき烈しく一九四に二段綽ねすべし變化多々ありと雖も黑の外勢壯厚を來すこと必然にして形勢黑に歸せしならん白四六は百十一に添ひ黑百十五白百十四と打つ可し圖に比して遙に優るものあらん白四八遠筋にして大にあし百五十一を本筋とす黑四九は直に五六に入るべし普通の如く白（わ）に受くるとせんか黑は百五十一に頂け百五三の出と他方五三の突當りありて白如何ともなしがたく白又（わ）の手を以て百三十に打たば黑は五三白五四黑百廿三白百十九黑五五白百二十二黑百廿一黑（か）黑百卅七白（よ）黑（た）白百八一黑（れ）となりて是亦黑の方大に宜しかるべし白五六大に緩し此際百廿二に粘ぎ先手をとり目下唯一の大場たる（そ）の邊に打つに非ざれば大勢におくるゝを如何せん黑五七は百九に打つべく白六〇は（そ）に打たざる可らず黑よりの六七と詰めらるゝに及んでは大勢白を去りたりと謂ふべく以下白奮闘大に勉めたりと雖も黑亦好く應戰し遂に四子を殘し得たるは賞すべし

美顔

精良無比の化粧料

お化粧の節約こう！

—これだけは必ず出來る—

お化粧に使用する品數の節約に就て

—一種でも出來る仕方—

世の中に馬鹿安い物は無いとか申します。これは掘出し物だと飛附くやうにして買つて來た反物を調べてみると、どこかに瑕があつたり尺が少かつたり…、まさか然ういふ物ばかりでもありますまいが、兎に角すべて節約は同時に必ず得である、とは言切れません。が併しまた考へてみますと、節約しても何等差支へないばかりか、却つてその爲良い結果を來す事も少くないものです。日常のお化粧に就ての節約なども其の一つでございませう。先づ皆樣は

化粧品を幾種位御使用ですか？

勿論その方の地肌の狀態などから一樣には申せませんが、併しお化粧こそは、品數を多く使へば使ふ程よい、と云ふものでも無い事の一つでございます。殊に御注意を要する事は、お化粧に

品數を餘り多く使ふといふ事は

また顔をいぢり過ぎるといふ事で、そのため皮膚を虐待して早く疲らせ、年齢から來る容色の衰へを一層速める結果になりがちのものであります。名妓と唄はれたやうな人で、少し年がいくと殆ど昔の面影のない程になる人のありますのも、斯ういふ事が原因の一つになつてゐるものと申せませう。で、お化粧は、どちらかと言へば出來るだけ化粧品の品數を少く使つてするのが皮膚のため殊に容色の長生（年とつても中々容色の衰へない）のためにも宜しいわけですが、けれども

少しの品數で良いお化粧を

するといふ事は可なり六かしい事で、餘程品質が優れ、その目的にぴつたり適合して出來てゐる品をお選びにならねばなりません。此の點から申しまして、最も適當なものとして「美顔」の白粉並びに化粧品をお勧め申し上げたいのです。先づ實例により

一種で美しくお化粧できる仕方

から申しますと、精良な化粧水を兼ねた白粉として知られてゐる白色美顔水でしたら、皮膚のために極めて良い美容成分—皮膚を活々と美しく整へる成分—と、化粧力の優れた白粉（勿論純粹無鉛）とで出來てゐますから、白粉が安々と本當に具合よく附き、そして淸く美しく、これ一つだけでお化粧上りの白さが飽く迄氣持よくお化粧できます。序でに申しますが、

▼色の白くない方及び脂肪性の方

は白色美顔水の代りに肌色美顔水をお用ひになる方が一層適切です。と申しますのは、肌色美顔水は大體の性質は白色美顔水と同樣ですが、特にお化粧の實際方面から研究を重ねて造られた肌色味を含むといふ違ひがあり、この肌色味の作用によつて色の白くないのが自然に隱れ、脂肪のわる光を消し、生地から白いやうに淸く美しくお化粧が出來ますからです。尚ほ相當御年ばいの方や餘り眞白すぎないお化粧をお好みの方にも「肌色」の白さの具合が丁度適してゐます。この「肌色」とそれから「白色」の用ひ方は、

▼非常にお急ぎの場合でしたら

顔を洗つた後、數滴を掌で顔中万遍なくよく撫でるやうにして附けて戴きますが、若し少し餘裕がありましたら刷毛を用ひ、餘り濃くない所を刷毛に含ませて塗り、一寸乾くのを待つて今一度塗つて戴ければ、前の仕方でするよりは一そう美しくお化粧ができます

二種三種でする美しいお化粧に就て

前には一種でするお化粧に就て記しましたが、元來一種でお化粧をすつかり仕上げるといふ事は概して言へば特別の場合（大急ぎの時とか極く〳〵輕いお化粧の時）にする仕方ですから、以下、本當のお化粧らしい仕方として先づ

二種でする美しいお化粧二三を

申しますと、二種になると種々の取合せも出來、お化粧の趣きにも幾分違ひが出來て參りますから、御自分にヨリ多くお似合ひになる仕方をお選び戴きたうございます。

〔一〕

化粧用美顔水で美顔（煉）白粉を溶いて附けます。斯うしますと非常に美しく附き、保ちも殊に確かです。（塗り方は成るたけ薄く溶き、附けた後を牡丹刷毛で押へ、乾くのを待つてまた塗るのがお化粧を一層美しく保ちよくする仕方です。又白粉を化粧用美顔水で溶きますのも同じ意味からで、此の仕方が多く行はれてをります。）

〔二〕

美顔クリームを極く薄く万遍なく延き、よく皮膚にすり込んで、その上から美顔粉白粉をパッフに十分に含ませて刷き附けてから、浮いてゐる白粉を牡丹刷毛で拂ひ落します。これは誠に優しみのある高尚なお化粧です。

〔三〕

白色美顔水（又は肌色美顔水）を前に述べたやうにして附けた上へ、美顔粉白粉（又は肌色美顔粉白粉）を刷き附けます。

美顔粉白粉は〔二〕のやうに粉化粧に用ひられると共にまたお化粧の仕上げにも用ひて

▼お化粧に柔かみ温かみを出し

一層美しく一層保ちをよくします。尚ほ美顔粉白粉には純白と肌色と二種ありまして、肌色の方は矢張色の白くない方や脂肪性の方、御年ばいの方などに多く用ひられます。以上に記しました外にも尚ほ種々の仕方がございませうから、御自分にヨリ多く適するやう御工夫をお勧めいたします。次に

三種でする立派に美しいお化粧

の例を二三申し述べますと…

〔一〕

化粧用美顔水をガーゼの小片に含ませて額から顔をよく拭き、額には美顔の固煉を化粧用美顔水で溶いて附け、顔は美顔（煉）白粉を同じく化粧用美顔水で溶いて附けるか或は白色美顔水又は肌色美顔水を用ひます。

〔二〕

化粧用美顔水で拭いた後へ美顔粉白粉を刷き附け、美顔白粉（煉）を淡いめに溶いて額には二度くらゐ、顔には一度位繰返して附け、その上へまた美顔粉白粉を刷き附けます

〔三〕

化粧用美顔水で拭いてから前に二種でする粉化粧の所で述べましたやうに美顔クリームをよく摩込んでから、美顔粉白粉をパッフに含ませて額から顔へ万遍なく刷附け、牡丹刷毛で浮いてゐる白粉を拂ひ落します。鼻柱などの他の部より濃くしたい所は今一度繰返して刷附けます。

此仕方の御注意はクリームを平均してよく摩込む事です。クリームの附き方に厚薄がありますと折角のお化粧が斑になりがちのものです。總じて

▼丁寧なお化粧には四五種或は五六種

も化粧品をお使ひになる方も多いやうですが、そんなに迄なさらずとも、右に述べましたやうに（勿論御銘々の工夫によつて外にも種々仕方があるわけですが）三種ぐらゐの品數で、美しさといひ保ちといひ、立派なお化粧も出來ます事を御記憶願ひます。

化粧時間の節約

—これで可なり違つて來ます—

平生のお化粧は申すまでもなく、たとへ餘所行の丁寧なお化粧にしてからが、餘り手數や時間が掛りますやうでは種々お差支への起ることもあり、第一そんなになさらずとも仕方によつては手早く迅速に出來ますもので、これは時間の節約から申しましても可なり重要な事と申せませう。

手早く美しくお化粧をなさるのには、優秀な白粉並びに化粧品をお選びになる事、それから常に皮膚をお化粧し易い狀態に美しく整へておく事この二つが必要です。先づ

手早く美しいお化粧の實例

としましては、先に一種及び二種でするお化粧の所で述べましたやうな仕方は、單に化粧品の節約といふだけでなく同時にまたお化粧が非常に手早く迅速にでき、且つ淸新に美しく上る仕方です。

三種でするお化粧となりますと、これは相當入念のお化粧なので幾らか手數も多いわけですが、併し取立てゝ言ふ程ではなく、丁寧なお化粧としては極めて手早く短時間で出來て終ひます。

それは「美顔」の白粉は何れも非常に附き易く出來てをり—勿論何れも純粹無鉛ではありますが—そしてお化粧上りの白さが純な、無垢な、秀でて美しい白さで、生々したツヤを含んでゐるからです。殊に白色美顔水と肌色美顔水とは特殊の白粉と美容成分とで出來てをり

▼若さを保ち地肌を美しく

整へる作用をも備へた白粉なので、特に用ひ易く、手間暇いらずすら〳〵と、淸新に美しいお化粧が出來ますのです。「美顔」の煉や固煉をお用ひの時は、化粧用美顔水で溶けば同じ樣な作用があります。けれども皮膚の美しく整つてゐない方は、お化粧が兎かく早くも美しくも出來にくくて時間が掛り、また少しの品數ではお化粧のでき兼ねるものですから、先づ

皮膚を美しく整へる方法を

お考へになりますのが、お化粧節約の根本でございます。

で、然ういつた効果の優れてゐる化粧品に就て申しますと

〔一〕化粧用美顔水、これはお化粧の下地や白粉の溶き水として使はれると共に、入浴洗面後等に常用なさいますとキメを細かに、ツヤをよくし

▼垢ぬけして美しい素顔に

なります等、美容効果が殊に優れてをります。

〔二〕美顔ユーマー、これは乳白の濃厚美容液で、男子方も顔そり後などにお用ひになります。皮膚を滑らかに軟やかにし、生地を整へ、ツヤを良くいたします。

〔三〕美顔クリーム、これもお化粧の下地に用ひられますが又荒れ止めに殊に有効なクリームとして知られ、皮膚の榮養となり、地肌を整へる力が優れてゐます。

〔四〕美顔洗粉、これは純良な中性脂肪と蛋白質を程よく含んでゐますので、決してお顔の荒れる心配のない、お顔の爲一番の洗顔料です。

〔五〕にきびとり美顔水、これはどなたも御承知ですが

▼頑固なニキビ吹出物にも

奏効確實なので有名です。また美容液として常用なさる方も多く、皮膚、素顔を美しくするので常用されます。脂肪性の方には殊に適します。

斯ういふものの中から適當に選んでお用ひになりましたら、皮膚の美が養はれ、お化粧のし易い地肌になり、多種多樣の品々をお用ひにならずとも、常に手早く短時間で淸新に美しいお化粧が出來るやうにお成りになります。

日曜ページ

正月になくてならぬ お餅の榮養價値

日本人が作つた合理的な食料

醫學博士 佐伯矩氏談

お正月には何處の家庭でも餅をたべる風習が昔から行はれてゐる餅を食べなければとしが取れないかの樣に云はれてゐる。それ程お正月と餅とは切りはなして考へられない位であるが、扨その餅は榮養的に見てどんな効果があるかと云ふ事をその分析の結果によつて述べませう。先づ食物は榮養素を多分に含んでゐると同時に、消化吸收が良いものでなければいけない。それで餅の消化吸收の工合を調べなければならぬ。元來餅はおこはにした糯米をむしてついたものであるが、搗きつぶした結果どんな効果があるかと云ふと

消化吸收率(百分中)

成分	餅	おこは
蛋白質	八五・二	八一・五
脂肪	九二・三	九〇・五
含水炭素	九九・七	九九・六
無機鹽類	九〇・六	八九・四
總カロリー	九六・三	九四・四

此の表によつて判る如く、おこはが餅になると蛋白質や脂肪その他すべて消化吸收率がよくなることを示してゐる。同時にカロリーも多くなることが判るつまり吾々が口で咀嚼しなければならぬ處をすでに杵が咀嚼してゐる事になる。それでは普通の米飯とは成分に於て如何なる差があるかを調べると

米飯と餅の比較

成分	餅	米飯
粗蛋白	七・一	三・二
粗脂肪	〇・二	〇・一
粗含水炭素	六二・〇	三三・三
無機鹽類	〇・一七	〇・一七
(百分中)		
粗蛋白	二六・三	一一・〇
カロリー	一〇・二	五三・一

即ち蛋白質でも、脂肪、粗含水炭素、その他すべて勝るとも劣らぬ榮養價を備へてゐることを示し特に粗蛋白及粗含水炭素の如きは正に倍でありカロリーも亦餅の方が倍に及んでゐる事が判る。これによつて餅は我が日本人によつて考察された食料品として最も合理的に作られたものと云へるのである。米食の儲保存するよりも餅として保存すれば再びにる必要がなく、只やきさへすれば食べる事が出來る。そしてなほ相當長い時日の保存に堪へ得るので甚だ便利な食料品と云へる。何れにしても食料品は榮養素を充分に含んで居ると同時に、消化吸收率の高いものでなければ結局効果が少い譯であるから、吾々が愛用の米飯も亦此の點を考へなければならない、そこで次に麥米の精白度と消化吸收率との關係を次に示さう

種類	含炭	無機	蛋白	粗脂
玄米	九八・六	七七・九	七四・八	五六・三
半搗米	九九・三	七八・三	八〇・九	七九・三
七分搗	九九・五	八〇・三	八二・九	八〇・四
精白米	九九・六	八〇・八	八五・八	八〇・八

即ち右の如く、玄米、半搗米、七分搗米、精白米の四種を比較すると勿論精白に近い程消化吸收の良い事が分る。之は糠が不消化物であるからによるが、最近問題とされて居りすでにその榮養價値を認められてゐる糠を除き去る事は最もよくない事として玄米食が稱へられ、半搗、或は七分搗が獎勵される樣になつたものである。之は試みに良い傾向を云ふ可きであるが、自分の主張する七分搗米が何故最も有効であるかと云ふことはすでに發表した事でもあるから、茲には詳細な説明は略するとして只七分搗米は消化吸收率は玄米及半搗よりもよろしく、それがためたべやすい事、次に精白米の失つてゐるヴイタミンB或はその他の有効成分がなほ保する事その他によつて七分搗を最もよしとするものである。なほ七分搗とは云つても砂を混じて搗いたものは、自然淘洗の必要がありその際糠を洗ひすてることになるからその損失も考へなければならない。そこで無砂七分搗の米を洗はないで炊くことが最も良い譯であるから、これを主張してゐるのである。最後に餅は消化が良いとは云つても、餅につくられたものは、形が少さいので澤山食べたことになる。それで兎角食べすぎになりやすい。餅をたべた爲めに腹にもたれるのは餅の不消化を意味するものでなく、食べおきによるものであることを附け加へておく。

三山島から產れた 水族館の權威

一切の名利を捨てて 漸く酬いられた平田包定翁

ポカ／＼と暖かい小春日和の和やかな陽光を受けて、キラ／＼と反射する玻璃槽を透して見へる暗紫色の巖、濃緑色の海藻、やゝ灰色がかつた海水の中に銀鱗紅鱗を誇らしげに深海魚の浮游するこの頃の水族館ほど陸に住む者に柔かな感じを與へるものはない、滿鐵を通じて唯一の星ケ浦水族館の創設者平田包定氏は數年來本業の時計業を殆ど抛つて

南船北馬 水族館の完成に沒頭してゐたが、物質的にまた精神的に少なからぬ犧牲を拂つた努力の結果が漸く報いられて今回十一月七日附で平田式水族館の新案特許を得るに至つた、日本で最初の水族館の新案特許であり、且つは市會議員、商業會議所議員その他一切の公職、本業及び財力を抛つて收め得た尊い珠玉であるだけに、包定翁が老眼に露さへ浮べて喜ぶのは無理はない、これについて平田氏は語る。

大正 十四年八月大連勸業博覽會の際勸められて場内に特設したのが平田式水族館の濫觴閉會關東廳滿鐵の援助で現在の星ケ浦海岸に常設したのです、その後年年研究の結果、水の循環装置と水槽内の魚族に適する壓力並に濾過槽で酸素を交入し再び水槽内に送る發明を完成、水產界の泰斗故岸上博士より「世界的の發明だ」との讃辭を得て大いに自信を強くし昭和三年三月東京に開催された御大典記念博にも場内に特設して

好評 を博し閑院宮殿下その他の各宮樣の御臺覽及び直接御下問又は御褒めの御言葉を戴いたのでした。その當時水族館の建設に方り事務局から上野に水族館を造るの可否につき各專門家に諮問した所孰れも口を揃へて不可能と答へたのを私が押切つて開館美事に成功したので閉會後感謝狀に添へて金五百圓及び記念品を頂きました。この結果同年六月帝大教授貴族院議員林博太郎伯邸の依頼で同邸水族館に

海魚 を入れ游泳せしめた所非常に喜んで居られたのです上野水族館開館中は岸上博士を始め丸川水產學校教授の勸獎で各府縣の水產專門家二百餘名が實地研究に來られたのでした。而してその水族館は横濱市水產の懇望によつて同年八月同市の磯子游岸に移し、水產會と共同で毎年四月から十月まで開館してゐます。私の最も愉快に堪へないのは今年の九月から十月に亘り開催された朝鮮博の水族館が各道水產專門家の意見で海水魚の游戈は不可能といふに一致し淡水魚のみで

開館 した所鮮人は兎に角内地人側の不評甚だしく、當局者の無能を痛烈に攻撃されたのが、兒玉政務總監の耳に入り會て關東長官當時平田式水族館の特色を知悉して居られたために總督府水產課に命じ私へ出張を電命してきたので四十槽の内二十槽を改造海水魚を入れることに成功したので絶大の好評を博し開期中八十萬人の入場者を見たことです。斯樣なわけで同地仁川月尾島遊園株式會社でも明年平田式水族館に改めることに決定、その他東京、大阪、宮島二見等より水族館の建設方を

希望 してきて居りますまた先日米國の新聞記者團が來滿した際佐原盛京時報社長の通譯で詳細説明した所「かういふ六魚の入つてる水族館は米國にもないが何故大水槽を造らぬか」との質問があり返答に窮したのですが、全く經費の關係で充分の設備が出來ぬのですが來年はもつと擴張したいと思つて居りまた最近洋行から歸つた人の話によると米國にもこの種の水族館がないといふことですから、機會を見てその方面にも進出したいと思つてゐます

以上のごとく平田包定翁の水族館は日本の

水產界に 一大センセーシヨンを起したのであるが、その特色は從來不可能とされてゐた海水魚の永續飼育を可能ならしめたのにあり、この發明動機は同氏が二十年近く經營してゐる三山島の漁場に於て漁師相手に鰮や鯖の友達となつて過してきた十數年の經驗から得たものださうだ

初春のお化粧

メイ・牛山女史談

除夜の鐘鳴り若水を汲めば新生の響き各戸を訪れ、身も心も初日の出の如くなごやかに萬歲の身振も一入又春めくお正月こそは若き婦人の身だしなみは一層常の時に比して立派に、この新しい力に添ふものであつて欲しいとの願ひは必ずしも無理ならぬ事と思はれます。お正月のお化粧は、むしろ濃厚であつてもよろしいが、濃厚といつても、餘りに濃厚すぎ、かすかに斑の子斑が見える等は正月の化粧にはさけ出來るだけ清楚に…

◆

先づ化粧の順序として普通の化粧法を申上げます。お顏、襟、手のよごれを油氣のない樣にむしタオルで拭ひ去るか、お湯でお洗ひになるか、最も完全な方法としては、クレンジングクリームを萬遍なくそれをガーゼで拭ひ取り、その後を熱くしぼつたタオルで押へる樣にしておく。植物性の化粧水のさらつとしたものを手の平にたらして全體にすりこむ。ヘチマコロン、四季の花、ミルキーローシヨン、オレンヂ、ドロップス等の化粧品がこれに適して居ります。でこれを塗る時手の平で塗らずに脱脂綿を少さくちぎつてそれにその液をしめして、それでこする樣にしますと、毎日幾つて居た脂等もすつから拭はれて、一そうすが／＼しくなります。

◆

さて下地が出來ればお化粧にかゝります。洋裝の時は普遍的でよいのですが、和服の時は襟を濃くなさらなくてはなりません。殊にお正月は白襟の場合が多いから、さうした場合には、殊にこくします。最初はバニシングのリームの小量をとりましてうすくむらなく襟全體へ引ます。煉白粉、固煉白粉は和製がよろしい。が殊に信用ある店のよい品をえらばなければなりません。

◆

板刷毛、水刷毛、牡丹刷毛を用意します。出來れば白粉をとくには化粧水を使ひますが贅澤と思ふ方は硼酸抹を五十倍にとかし込んだお湯、乃至水、それで白粉をときます。板刷毛で耳の後あたりから竪に一刷毛、もみあげから頸へかけて一刷毛、反對の側の同じ場所から一刷毛づつ、首、それから手をのばして、後へ竪に。ぼたん刷毛を右手に、乾いたタホルを左手に持つて、タホルで牡丹刷毛を拭乍らつけた順序に押へるのですが、時に注意しなければならないのは、白粉は濃くつける時も一度にこいのを塗るのでなく、うすいのを何度にもしてつける。先づ二回乃至三回で襟をつけ終りましたら顏にかゝります。

◆

水白粉か、煉白粉のうすくといたのをつけるのですが、出來れば黄色のがいゝでせう。筆刷毛にたつぷりと含ませて鼻筋から、兩方の目の下、あご、鼻の下、額へあけてサアット刷きまして、ぱたん刷毛でつけた順序にむらのない樣につけます。この時に襟と顏の境目のあごにクッキリと濃淡が出來ない樣にぼかします。

◆

つけ終りましたが、眉毛、睫、目のふち、唇等を脱脂綿の一片又はガーゼで輕くなで白粉を落します。眉墨は煉、水、粉、棒の四種ありますが、いづれも上等の品を用ひませんと有毒で、毛髮を脱落させるものが往々ありますから注意しなくてはなりません。

滿日漫一画

ことしもこれでおしまいです

悪い了簡　斯文

妻君「貴方、何時まで寢てるでんす。いゝ加減にして起きて下さい。」
亭主「今日は日曜だ」
妻君「日曜だつて暮の廿九日ぢやありませんか。どこか悪いんですか」
亭主「うん、了簡が少し悪い」

○「ヤア、今度はおばさんのサンタクロースがやつてきた」
△「なんだ、お隣りのうちへだ」

賀正々々つて同じ字を何枚も書くのは面倒だな―同じく／＼と書いてやらう

兄さんは字がうまいナ

初春向きの「帶の結び方」

勅題に因み立矢の字風に

來年のお正月を樂しく迎へる爲に今年の勅題「海邊巖」に因んで新案の帶の結び方を御紹介いたしませう。大體は立て矢の字の結び方と同じでありますから、その氣持ちでお結び願ひます、先づ手と垂れを同じ位の長さに取つて、一つ卷いて後に廻し、結びますと縱になりますから、手と垂れをもぢり合せます。そして垂れの端の方にひだを取ります。その場合紐でくゝるよりもゴムバンドを以つて結んだ方が便宜のやうです。これを立て矢の方向に從つて挾みます。次に垂れの餘りの部分で水平に左右の扇形を作るのですが、そのひだの取り方は前と同じ事で、それをもぢり合した處に重ねて、細ひもで襷にして前で締めます。そして今度は手の方を同じくひだをとつて、矢の示すやうに一番下から挿こんで、殘りの部分を以つてお太鼓となる處これにしよい上げと帶止めとを以て巖を形づけるのであります。出來上りは丁度眞ん中が巖の型をし、周圍に扇を重ね合せた方に青海波を象徵させたものであります。

お正月の遊戲 不思議な數

積俵の數のあて方 面白い數字の組合

お正月の團欒に、加留多も取りつかれた、麻雀はさばけが悪い、それかてラヂオもお正月には好みがごつちやで困る――と云ふ樣な時には、どなたか一人奇想天外より落つる態の奇問を發してごらんなさい。忽ちにして一座清新の氣が溢り、何？何？そりや子供にでも分らアと申さるゝ方さへが、仲々の御苦勞樣に見受けられて御愛嬌千萬。

◇

萬堂の諸君、茲に米屋の番頭君があつたとおぼしめせ、その番頭君米俵を積むに、先づ一番下に十五俵並べて杉積みにいたし――いや此の杉積みとは二段三段と一俵づゝ數を少くしつまり、三角形につみ上げて最上に一俵積む方法でござる。そこで番頭君、幾段かによつて杉積みを終へた處、扨俵數はいく俵ぞと、數へむとして些か面倒、即ちおたづね申す萬堂の諸君、沢山くお答へなされませ、當りますも、當りませぬもお慰み。さあ／＼。

◆

いかゞで御座います。此の數へ方は、一番下の俵の數と、それに一を加へた數とを掛け合はせた數を二で割れば、立ち處に表るゝ俵の數。即ち十五に十六を掛けて二百四十。それを二で割つて百二十俵と解けました。

◇

もう一案お願申します事は、先づそこなる紙に大きく正方形を描いて下さいませ。そこで更にその中に井桁の形に線を入れますと、竪も三つ、横も三つ、全部九つの桝型が現れませう。そこでその桝型一つ宛に一から九までの數字、各一字づゝ入れて、どの方面から數へても、すべて十五の數になる樣、はめこんでいたゞきませう。さあ／＼お早く至急に願ひます。

◆

これが解答は覺え樣によつては至極簡單、

二 九 四
七 五 三
六 一 八

これにて竪も横も十五とはなり申す。特に斜に數へて二、五八及び六、五、四も亦十五となるはなか／＼面白いではありませんか、そこで歌に曰く

二九四とおもへ七五三
六一八は十五なりけり

◇

扨もう一案、これは極めて簡單ながら一興。

二十五に二十五かけて答はいくつ。六百二十五。

三十五に三十五かけていくつ。千二百二十五、はてどうしてそう早く解けるのでせう。

◆

二十五に二十五の場合は先づ三に二をかけた數に二十五をつけ、三十五の場合は四に三をかけた數に三十五を付ければ立ち處に答となり申す。他の數は之に準じて行へば間違ひなし。

◇

凡そ數種不思議にして不思議ならざるはなし。世の算術下手の小童もすべて、この神秘合理の氣合ひを呑みこませなば、忽ちにして數學者の玉子とはなりぬべし。いやお正月早々こんなお理窟は禁物。この樣な解釋の仕方を心得たら、近頃はやる疑獄となん云ふ難事も立ち處に解決いたしませう。はてこれにもいらぬ當てこすり。先づ樂しく遊ばしていたゞきました。はいさやうなら。

お正月の重詰

お正月の重詰から榮養教育の第一歩を出發しやうと云ふ目論見で、一の重、二の重、三の重を作らうと思ひます。一の重には蛋白質食即ち吾々の肉體を組立て又は修繕するに必要な成分を含む食品を盛二の重には含水炭素及脂肪食、即ち吾々の體溫や活動力として役立つ成分を含む食品をもり、三の重には無機質及びビタミン食、即ち吾々の榮養の如何なる場合にも無くてはならぬこの二種の成分を含むものを盛ることに致します。

一、蒲鉾 蒲鉾一枚(五三・三匁)牛月形に切る。
二、茹で玉子 大二個(三六・六匁)常の如くゆで輪切りにする
三、牛肉ボール 牛肉(二八・七匁)玉子(四匁)挽肉に玉子及少量の鹽を混ぜ、小塊とし砂糖醬油にて煮込む。
四、煮豆 黑豆(一五・九匁)常の如く煮込む。
五、ゴマメのアメ煮 ゴマメ四〇匁、砂糖、鹽、飴にて煮る。
六、數の子 數の子(二一・三匁)鰹節(〇・五匁)醬油に漬けておいたものに削り鰹節をかける。
七、燒豆腐の煮染 燒豆腐(一三・〇匁)適宜に切り砂糖、醬油にて煮込む。
八、貝柱の甘辛煮 貝柱(一三・三匁)晝夜間水に浸しおき軟かくなつた時砂糖、醬油にて煮る
九、牛乳のゼリー 牛乳一合(五三・三匁)ゼラチン(約五・三匁)牛乳を煮沸し、豫め水に浸しおきたるゼラチンを混ぜて溶かし少量の砂糖鹽にて味をつけ流し箱にこかし入れ冷やす。
一〇、鷄肉の附け燒 鷄肉(二六・〇六匁)鷄肉を醬油と味淋の混合液につけ後竹串にさし遠火でやく。
一一、玉子燒 玉子中三個(或は三・一九匁)玉子をよくかき砕き砂糖、鹽にて味を付け玉子やきでやく。
一二、蒸し鮑 鮑中等大一個(一三・三匁)鮑を殼より出してむしてから小口切りにする。

逐年ふえてゆく 家政婦を志望する女性
毎年この月は目の廻る忙しさ 師走を行く（27）

大連の女學生が母國に旅行して行商姿の日本人の女を見て驚いたといふ話は度々聞かされてゐる事ではあるが、生存競爭の荒浪はやがて大連にも押し寄せて職業婦人が次第々々に増して行く。

▽――△

スチームに温められた會社の一隅でタイプライターを打つ婦人の姿からはさまで生存苦の生々しさは感じさせられないが、他家の薪所で家に病む失職の夫、或ひは母の乳を求めてゐるであらう託兒所に預けた乳兒の姿を偲びながら一心に働らいてゐる家政婦の姿を思つたとき、私達はソコに深く考えさせられる或物を感じるであらう。

▽――△

家政婦といつても仕事は多い、病人付添ひ、洗濯、冠婚、葬祭、お産、お留守居、等々々……そして大連での家政婦の需要は女中の不足に影響されて年々素晴らしい勢で増加して行く、市内十一ヶ所の看護婦會でも病人の付添として家政婦を取扱つてゐるし、家政婦專門のところもあるやうだし、滿鐵家庭研究所でも社會事業の一つとしてこの事業を取扱つてゐるが、この二十日ごろからはとても需要に應じ兼ね、斷るのに忙しいといふ狀態である、平月で需要供給が平均されてゐる樣な狀態だから需要が增加する十二月の忙しさの程が偲はれる、勿論家政婦志望の婦人の數も年々增加して行くが、何分身許調査や健康等の關係から家政婦として合格する數に制限があるため、毎年末になるとこの狀態を繰返すといふ。

▽――△

現在滿鐵の家庭研究所に籍を持つ人の約半數は夫を亡くして獨立の生計を立てねばならぬ不運な人その次は夫の失職のため上一家を支へる不幸な人、その他家計の助けに働らく人等何れも運命の荒浪に捲き込まれながら勇敢に生活の第一線に立つ人々である。

▽――△

或る看護婦會での話
今年は昨年に比して家政婦の希望者が多い樣です、それも夫が失職しましたからとか、夫が死んで子供を養ふためとか氣の毒な人ばかりです
としんみりした調子、家庭研究所では
忙しいのは十二月で、十、十一月ごろの二倍その次は七、八月ごろでこの頃は需要者に斷らねばならぬ狀態です、仕事としてはお産の時、奧さまの病氣の時が一番に多いんです
との話である。

▽――△

大連の失業者約三千といはれる今日、そして大連の婦人にもやがて生活戰線で戰はねばならぬ人が增して行くのではあるまいか、果して喜ぶべき現象であらうか？悲しむべき現象であらうか？時代はそしてドン〳〵と進む。

まづ百圓紙幣を モダンなのと替る
表に聖德太子の御肖像を掲げ 少し小さくなる

【東京二十七日發電】日本銀行では兌換券發行高と實際の流通額を一致させるため、昭和二年三月公布された兌換銀行券整理法に依り一圓紙幣を除き百圓、五圓、十圓二十圓の順序で新樣式の紙幣に改める事となつてゐるが、その手初めとして來る一月十一日の

金解禁　當日を期して新らしい百圓紙幣を全國十七の本支店から發行し舊紙幣と交換する事となつた、新百圓紙幣は縱九十三粍横百六十二粍で舊紙幣に比し縱十二粍、横十八粍小さく表には聖德太子の御肖像を掲げ、裏表とも太子に關係深き法隆寺の風景その他同時代の佛像佛具の模樣を執つて考案された圖案が施されてゐる、大體に於て舊紙幣に比し明るい感じのするモダーン紙幣で一枚の製作費は五錢見當であるなほ目下

流通中　の百圓紙幣は二億圓見當で、昭和十四年四月一日以降は政府及び日銀への納入を除いては强制通用力を失ふ事になつて居る、この點は他の紙幣も同樣でそれまでには全部新らしいものが印刷される筈である

即時撤廢には 絕對に反對
合法的武力の保護も辭せぬ 列國は同一行動に出づ

【北平二十八日發電】明年一月一日に發せらるべき國民政府の治外法權撤廢宣言に對し主要各國は大體左の如き立前を以て同一行動を採る事に諒解されてゐる

一、漸進的撤廢に同意するも來年一月一日より即時撤廢に絕對反對す

一、國內統一を完成し完全なる司法權を獨立を見たる時列國は撤廢の商議に應ずべし今は尙ほ其の時期に非ず

一、數ヶ所の大通商地に外支混合裁判所を設置し其の地方の治外法權を撤廢すべしとの過渡的辯法に對しても時期尙早と認む

一、但し今後三年若しくは五年を限り撤廢に關する商議開始の約束を爲すことあるべし

一、萬一支那側が治外法權撤廢の立前にて在留外人の權利を犯す如き事あらば各國は斷乎として之に反對し場合に依つては合法的武力の保護を辭せざるべし

明年から專賣局で 鹽の値下げ
葉莨買上は引下げる

【東京二十七日發電】最近煙草の賣行は一般の不況に伴つて上級品の賣行惡く此のまゝでは上級原料の生産過剩を來す虞あるに加へて物價殊に肥料の値段の低下少からぬ有樣なので專賣局では明年度より葉莨買上價格を引下げることゝなつた

卽ち二等以下九等以上に對し平均半下等級の引下に相當する上位等級の減少をなし、又アメリカ種も內地種との均衡上二等以下六等以上に於て一凹目宛り十錢づゝの引下をなし內地種の等級區分の多きため起る不便を除きかねて上級種の生産緩和を圖ることゝなつた

なほ專賣局では明年一月一日より鹽の賠償價格及賣渡價格の引下をなし、種類に依り率は異るが、百斤につき最低十錢、最高二十錢程度の引下額となる模樣で此の値下は物價勞銀の下落に依る生産費の低減に基くものである

社會、衛生 臨時委員會
大連市で新設

大連市參事會員協議會は二十七日午後市役所に開かれ協議の結果、社會及衛生兩臨時委員新設を申

暗い旅順市が 愈よ明るくなる
廿七日變電所の修祓式

旅大送電線工事並に旅順變電所完成に伴ひ、旅順民政署では二十七日午前十一時から元寶町旅順變電所に於て修祓式を擧行した、主なる參列者は關東廳代表永谷地方課長、旅順市代表永山市長、臼井土木技師、今井滿電技師外約四十名今村神官の神事執行後參列者一同場內に設けられた神壇に

玉串を　捧奠し、次いで西山署長の式辭、工事責任者たる中里技師の嚴肅な工事報告あり、今井滿電技師の祝辭あつて修祓式を終へたが、西山旅順民政署長は語る

暗い〳〵とお叱言を頂戴した旅順の電燈も、この送電線の完成と同時に完全に明るくなつて、市民各位の御期待に添ふ事が出來るやうになりました、供給者たる滿電からは無盡藏な電量を送電してゐますから、ドシ〳〵之を利用して商工業の施設一般に使用し電氣文化を完成して

欲しい　と思ひます、高いといはれてゐた電燈料も目下關東廳で使用料改正を進めてゐますから來春には皆さんの御希望に添へる樣になるでせう、兎に角暗い旅順が明るくなつた事は何より愉快なことです

埠頭關係者 新年懇親會
正月　日に開く

大連海務協會では昭和五年の新春を迎へるに當り大連港を中心として活躍してゐる海務局、水上署、陸軍運輸部、埠頭築港並びに埠頭記者俱樂部を一丸とし、これに海運に關係せる各船會社の陸員に在港船舶乘組の海員を併せ一月五日午後六時から海務協會海員會館で新年懇親會を開催して親交を溫むると共に將來の健康を祈福する事

基督敎青年會の Xマス祝祭
廿八日賑やかに

大連基督敎青年會主催で二十八日午後六時半から敷島町同會館においてクリスマス祝祭が行はれる、當日のプログラムは第一部奏樂ハレルヤに始まり讃美歌、聖書朗讀祈禱、挨拶あつて讃美歌、第二部は「主は來ませり」合唱についでハーモニカソロ、喜劇、奇術、獨唱と合唱、セーラーダンス、劇「箱根の仇討」合唱、ヴァイオリンソロ、インデアンクラブ、獨唱、劇「父歸る」トイシムフオニー、喜劇、サンタクロース訪れ、頌榮に次いで默禱の順序である

角田町退役陸軍中尉河野富一郎氏方に廿七日夜十一時五十分頃一人の賊が忍び込み富一郎（五一）妻モト（四二）の頭部を鐵を以て亂打しモトに瀕死の重傷を負はせた富一郎は重傷を負ひ鮮血に塗みれながらも賊と格鬪し賊は之にひるんで逃走した

滿期兵千二百名が きのふ御用船で內地へ
柳樹屯へ廻航し今朝離滿する

關東倉庫に一夜を明した海城砲兵二十二聯隊、遼陽二十聯隊、奉天三十三聯隊、遼陽工兵第一中隊の滿期兵約千二百名は今春四月來の滿洲警備の重任を果し廿八日午後三時半埠頭九番バース繫留の御用船呂宋丸で內地への歸還の旅に立つ事となり午後二時全隊はバース前の廣場に整列し見送りの師團副官德久中佐より懇篤な送辭を受けついで保々滿鐵地方部長立つて「諸兄が殘された幾多の業績はこの滿洲において働いてゐる同胞を力づける意味で頗る意氣があつた今更賞を聚され目出度歸還される事と喜ぶ」旨を述べ臨席在鄕軍人第一分會長の諸勇士を送る萬歲の聲を最後としてこれに對し鈴木輪送指揮官答辭をのべるところあり夫々懷しい母國への旅に立つた、尙これより先橫田三重縣人會長は特に三十三聯隊の諸期兵に對し鄕土愛の滿ち〳〵た惜別の辭を贈つた、尙同船は柳樹屯に廻航し同地より除隊兵を乘せ廿九日朝愈よ內地へ向ふ筈である

洮昂齊克兩線 時刻變更

洮昂、齊克兩鐵路局では旅客列車の運轉時刻短縮の結果一月一日より運轉時刻を左の如く變更することに決定した

洮昂線　▲洮南發八時四十分昂々溪着十五時十五分▲昂々溪發九時五十五分、洮南着十六時二十分

齊克線　▲昂々溪發五時二十五分龍江着七時一分、龍江發八時十分、昂々溪着九時三十一分

廿八日御用納
大連各官廳

廿八日は御用納めであるが大連民政署、遞信局、大連市役所では、午前十時よりそれ〴〵署長、局長市長より挨拶があつてのち各員事務を整理し正月三日まで休暇に入ると

怪我した大汽 社長頗る元氣

【東京特電二十七日發】上京の途中、沼津附近で頭部に負傷した大連汽船社長安田柾氏は東大久保の自宅で語る

相當血が出たが大したことはない、傷口は縫ひ合すほどのこともないのですぐ癒るだらうと思ふ、餘り大袈裟に傳へられたので却つて迷惑な位だ

と元氣だつた

强盜の兇行

【仙臺廿八日發電】宮城縣伊具郡

となつた、會費一圓出席者の名簿作製の都合上陸員は十二月末海員は一月三日までに同協會まで申込まれたいと

敷金に利子
民政黨から提出した 借家法の改正法律案

【東京二十七日發電】民政黨は二十七日午前院內に代議士會を開き黨議に諮り借家法中改正法律案を衆議院に提出したが、其の要領左の如し

一、借家契約の最短期限を設定し營業店舗は五年、住宅は三年とす

二、敷金は最高六ヶ月とし三分六厘の利子を附すること

三、造作權其他の權利金を標せざること

四、明渡し要求の際は裁判所に於て事情を酌量して相當猶豫を與へること

淺野セメント門司工場 愈よ總罷業か
職工側要求容れられず

【門司二十七日發電】淺野セメント門司工場の爭議團對會社の交涉は本日午後一時より開始され職工側代表七名と工場長代理、井町庶務課長と會見の結果、會社側の態度頗る强硬にて解雇職工の復職は容れられざるほか要求事項も殆ど一蹴されたので愈々罷業を決行するものと見られてゐる

淺野罷業 持久戰
會見は不調

【門司廿八日發電】罷業に至つた淺野セメント門司工場の罷業團代表と山內支店長代理との最後の會見は廿八日朝九時より開始されたが山內氏に誠意なき爲め罷業團代表は席を蹴つて本部に引揚げ愈々深刻化し持久戰に入つた

過失致死罪で 公判に附す
伊達順之助

【奉天特電二十八日發】今年の四月九日、自宅應接間において友人阿部喜太郎を自己の拳銃で誤殺した元支那陸軍少將伊達順之助はその後收監され豫審に附されてゐたが二十七日豫審終結、過失致死罪として起訴され旅順地方法院に送局、公判に附せられることになつた、なほ伊達は昭和二年四月、張宗昌氏の軍資金調達のため東京において大木伯らと天津交通銀行鈔の僞造を企て既に鋼版まで製作した事件の關係者として豫審されてゐたが該事件は證據不充分のため免訴となつた

滿蒙色橫溢 新春の滿日紙

昭和五年、新春の滿日紙は勅題「海邊巖」をオフセット版グラフイツクにて竹の園生の御繁榮を壽ぎ奉ると共に新進作家三上於菟吉氏の「戀の地獄」（鶴田吾郎氏挿繪揮毫）の封切り、滿蒙色を橫溢さすべく左の諸大家の執筆を煩はし讀者各位の要望に奉仕することになりました。

新春號執筆者（順序不同）

石本鏆太郎氏　田中千吉氏　兒玉秀雄氏　吉田辰秋氏　森本與次郎氏　畑英太郎氏　實吉吉郎氏　田中定一氏　渡邊軍醫部長氏　石射猪太郎氏　松田源治氏　太田政弘氏　仙石貢氏　大平駒槌氏　井上準之助氏　貝瀨謹吾氏　中西敏憲氏　倉賀野晋氏　石森延男氏　中澤不二雄氏　岡部平太氏　大塚幹一氏　富永能雄氏　森章男氏　宗光彥氏　小林胖生氏　中尾國次郎氏　仙波久良氏

若竹文男氏　伊澤信一氏　升巴倉吉氏　島野三郎氏　井手正壽氏　竹內克巳氏　本間久吉氏　伊藤清造氏　大村卓一氏　池田季穗氏　安藤忍氏　笹原忠男氏　稻葉亨二氏　中谷政一氏　山田武吉氏　八木沼丈夫氏　網谷佐次郎氏　橋本八五郎氏　高津敏氏　大野斯文氏　芥川光藏氏　日向保良氏　小谷百合子氏　今西ツネノ氏　辻忠治氏　石原巖徹氏　井田潤三氏　南次郎氏　今村武志氏　加藤□□氏　石田禮助氏　野田四水氏

高橋武夫氏　高見三吉氏　霍山忠雄氏　橫田多喜助氏　伊藤久太郎氏　加藤敬三郎氏　森廣藏氏　鈴木嶋吉氏　來栖健四氏　土方久徵氏　村井啓太郎氏　神成季吉氏　長山節氏　小倉圓平氏　今尾松翠氏　谷山知生氏　馬場鍈一氏　川口四郎氏　石田吟松氏　伊藤順三氏　宮本柳芳氏　塚本孝氏　紙谷□太郎氏　平島信氏　小坂準三氏　圓山孝治氏　坂本高氏　山西恒郎氏　宮尾舜治氏　西山勉氏　高橋勇氏

婦人方の喜び

『結婚及婚禮一式並に夫婦生活』『流行新裝、家庭實用編物』右は立派な書籍、どう見ても二圓以上の値打、之を『婦人俱樂部』新年號に添付し三册で八拾錢！

近藤中將男爵拜受

【東京廿八日發電】書き漏りでは廿六日豫備造船中將近藤基樹氏に對し其多年の功勞を嘉せられて男爵を授けさせられたが同氏は病床にあるため次男の造船少佐近藤行雄氏が廿八日午前十時三十分宮內省に出頭し一木宮相を經て拜受した

都さくら働く

無許可の儘座敷に出て藝者のエキストラで去る二十六日大連署保安係より大目玉を頂戴した北村席の都さくらは二十七日愈々目出度正式に許可され藝名を都と名乘り一人前の藝者となつた

鮮魚鐵道輸送
種目增加割引

【東京廿八日發電】鐵道省では明年四月一日を期し鮮魚の內特に下級品にして然も比較的貨切扱ひに纏まり易い鯖、秋刀魚、鰯、鱈等の十一種に限り鮮魚の等級より一級下げ七級として此の結果從來の一割運賃低下もあつて約二割强の割引をする事となつた

大連民政署 新年拜賀式

大連民政署の新年拜賀式は午前九時、署員一同參集して御眞影奉拜式の後祝宴場にて祝杯を擧げ、萬歲を三唱して退散する筈であるが、同十時より十時半まで各國領事、稅務司及び一般の參賀を受けると、なほ遞信局及大連市役所でもそれ〴〵例年の如く拜賀式を行ふ筈

本社會計事務

明三十日にて〆切りますから同日中に本社納品代金その他の支拂をいたします

小さな同情

市內沙河口霞町十四南十六霞町小學校三年生田中滿雄（十歲）は二十八日朝沙河口署へ父親より貰つた小遣ひにて菓子三袋を買ひ貧困者に與へて下さいと届け出でた

けふのラヂオ

昭和四年十二月廿九日（日曜日）
自午後〇時三十分　ニュース
自午後三時三十分　ニュース
自午後七時
一、ニュース
二、料理獻立
三、天氣豫報

廣告

第貳拾五期決算報告
貸借對照表（昭和四年十一月三十日）

資産ノ部	
未拂込株金	五〇、〇〇〇・〇〇
支店固定資金	七、六三一・五三
所家屋	一三、八〇〇・〇〇
什器	一、五九〇・〇〇
池金	一五三・一五
現金	三三三・七二
振替貯金	一四九・五五
正隆銀行	五、八五〇・五五
滿洲銀行支店	八〇、三九九・一九
赤峰支店	三三、一五〇・三八
商品	四、八六五・〇〇
受取手形	一〇、〇五二・三二
假拂金	一六、一五三・七六
取引先	
合計	三〇一、一六一・七四

負債ノ部	
株金	一〇〇、〇〇〇・〇〇
假受金	四、八六五・一一
借入金	六〇、〇〇〇・〇〇
較差金	八、一〇八・六五
假勘定	七、一六〇・八〇
法定積立金	二、六〇〇・〇〇
前期繰越金	九〇三・〇五
當期純益金	八、三七五・八六
合計	三〇一、一六一・七四

利益金處分	
前期繰越金	九〇三・〇五
當期純益金	八、三七五・八六
合計	九、二七七・七一
之レヲ處分スル事左ノ如シ	
法定積立金	五〇〇・〇〇
固定資金償却	一、三〇〇・〇〇
役員賞與金	八〇〇・〇〇
株主配當金（年七分）	五、二五〇・〇〇
後期繰越金	一、四二七・七一
合計	九、二七七・七一

右之通リニ御座候也
昭和四年十二月廿八日　滿蒙興業株式會社
追テ取締役並ニ監査役全員任期滿了ニ付改選ノ結果取締役齋藤之助氏退任シ兵卿兵衛氏當選他ハ悉ク再選重任セリ

愛慾の窓 (202)

戸川貞雄 作
淺枝次朗 畫

審判 (三)

「……わたくしは今、我身を切りさいなむ如き苦痛と闘ひつゝ、亡父英太の非を暴き、墓を發いて、死屍に笞打つの不孝を敢て犯しました！大義親を滅すといふ、わたくしは敢て事實の眞相を縷述することのうちに、草野久彦その人を冤罪から救ひたいといふ感情以外に、社會的正義を見出さずにはゐられなくなつた！わたくしは義務を履行したのであります！一個の社會人として、當然の義務を果したに過ぎない。これは疾にわたくしのなすべきあたりまへの義務であつたのでありますが、しかし一個の社會人たる自覺をば、放縱に我儘にブルジヨアの家に生れて、不幸人となつてきたわたくしは、不幸にして今日まで自らの胸に懷くことが出來なかつた。わたくしは人間として恥べき行爲の數々を、今日まで、あらゆる方面に向つて犯して來ました。男女の關係に於いて、または資本家として雇傭の勞働者達に對して！然し、わたくしは今日この公判廷を、草野君に對する地上の裁判所とは思はず、小森英輔に對する最後の審判の庭と思つて、僞らざる懺悔告白を致したのであります！」

傍聽席の片隅から、その時、歔欷の聲が聞えた。美知子が、そこに手帛を眼にあてゝ、ぢつとさしうつむいてゐた。黒田も來てゐた彼はやゝもすると涙でかすむロイド眼鏡を外しては、何度も〳〵手帛で拭つてゐた。

「……立派な陳述だつたね、あれで草野さんは救はれる！いや、草野さんの救はれるのは當然なことだが、何うかしておれはあの人をなお身體で、助かるものでせうか？」

「……さうですわね、でも、あんなお身體で、助かるものでせうかね！」

――小森さんを、救ひたいと思ふんだよ！」

「助けたいものだなあ……」

黒田と美知子とは、その歸途に何度も〳〵同じやうな言を繰返した。

だが、たゞそのためにのみ緊張し切つてゐた精神が、一度無事に義務を果したと思ふと、張り切つてゐた弦がゆるんで、ばら〳〵にほぐれてしまふやうに、小森英輔の體の節々も、力無くどつと臥つてしまつた。

「……駄目ぢや！もうわしにも力及ばない」

と、村山博士は眉をひそめた。いよ〳〵英輔危篤の報が、杉崎の手で八方へ飛んだ。すると何うだ、生前彼を取卷いたり、ブルジヨア交際したりしてゐた連中は、お義理一返の見舞に使を寄越すぐらゐのもので、心から心配して駈つけたのは、黒田達をはじめとして、小森銅山の坑夫組合の代表者等であつた。それに美知子、それに倭文子、さらに英輔にとつて百萬遍の回向よりもすぐれた悦びであつたのは、釋放された草野久彦が、取るものも取り敢ず、駈つけて來てくれたことであつた。

「……おゝ、草野君だね？よかつたね、ほんとうに氣の毒な目にあはせてすまなかつたね。何うか堪忍してくれたまへよ」

英輔は、手を伸ばして、久彦の手を握り占めながら、涙の一杯にたまつた眼で、ぢつと久彦の顏を瞶めた。

「何をいふんだ！僕こそ君に苦い陳述をさせてすまなかつたと思つてゐるんだよ」

久彦の眼も涙でうるんでゐた。

「いや、うれしい、うれしい！みんな僕に誠を見せてくれ！倭文子はゐるのか？倭文子！僕はお前にだけは純眞な氣持だつたが……何もかも許してくれ！許して僕の最後の願ひを容れてくれ」

英輔は、倭文子の手を執ると、自分の胸の上で、久彦の手とかさね合せた。

「……お願ひだよ、二人は改めて仲好く暮してくれ！恐らく友永君もそれをよろこんでくれるだらう！これが友永君に對する僕のお詫だ、これを手土産に、僕は地下で友永君を訪ねるつもりなんだ……はゝ、友永君も、僕を許してくれるだらうなあ！」

それから彼は手を放して、輕く眼瞼を合せたが、やがて半獨語のやうに

「……黒田君！君は美知子さんを愛してゐるだらうなあ……。正しく、強く、明るく、さうだ！僕みたいな人間が消えてゆけばゆくほど、世の中は……」

さう云ひ終らぬうちに、臨終は來た。(完)

新刊紹介

▲滿洲經濟時報(第十年第百十號) 社長が更迭して本紙は柔か味やうになつた(定價金五十錢 大連市對馬町七滿洲經濟時報社發行)

▲浮世繪概說(田中喜作氏著) 浮世繪發達の史的徑路を迎りその興隆と性質に關して全般的な概念を傳へんと試みたもので浮世繪の鑑賞を試みんとする人には充分に豫備智識を與へ得るものである、多數の代表的浮世繪の寫眞も挿入してある(定價金一圓廿錢、東京市神田區一ツ橋通町三番地岩波書店發行)

▲ひさご猿蓑林(露伴學人著) 芭蕉七部のうち、ひさご、猿蓑二部より佳句を拔きて、一々感想を加へたもので俳句に趣味を有する人達には此上なく喜ばれることであらう(定價金二圓三十錢、東京市神田區一ツ橋通町三番地岩波書店發行)

▲刀と歷史(十二月號) 定價金五十錢、東京府下瀧谷町若木一番地羽澤文庫發行

▲支那代表の觀たる第三次太平洋會議當時の支那新聞に現はれた余日章、張伯苓、徐淑希、陳衡哲、陶孟和、鮑明鈴六氏の報告論說を譯述したものである(非賣品、奉天隅田町九番地滿京時報社發行)

▲關東州貿易月報(十月號) 非賣品、旅順關東長官官房文書課發行

▲露西亞事情(第九十三號) ウスリー地方における野人(下)定價金二十錢、東京市麴町區丸ノ内ビルヂング八九一區露西亞通信社發行